

令和4年度 みやぎ女性応援プロジェクト実態調査業務

宮城県内大学・短期大学学生就職等調査  
企業等女性活躍実態調査  
報 告 書

令和4年10月

宮 城 県

調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター



## はじめに

---

宮城県においては、若年層が大学等への進学などで、県外からの転入が多い一方で、就職時には県外への流出が多くなる状況が見られます。

今後、人口減少や少子高齢化の進展に伴う人手不足や県内経済の縮小など、地域経済・社会を取り巻く様々な課題への対応が必要になる中、本県では、若年層の県内就職・定着が大きな課題となっています。

この報告書は、若年層、特に女性の県内への就職・定着を目的に、令和4年度からスタートした「みやぎ女性応援プロジェクト」の一環として、県内の大学や短期大学の学生を対象に、卒業後の就職先や将来の暮らし、宮城県に対するイメージなどについて調査した「宮城県内大学・短期大学学生就職等調査」及び、県内企業を対象に、女子学生の採用の状況や女性活躍の推進などについて調査した「企業等女性活躍実態調査」の結果をまとめたものです。

今後の若者の県内就職・定着を進めるうえでの基礎資料として、関係者の皆様にも広く御活用いただければ幸いです。

最後に、本調査に御理解と御協力をいただいた学生や企業の皆様をはじめ、大学、短期大学など関係者の方々に心から感謝を申し上げます。

令和4年10月

宮城県環境生活部長 佐藤靖彦

## 目 次

---

調査の目的及び内容 .....	1
<b>宮城県内大学・短期大学学生就職等調査</b>	
1 調査の概要 .....	3
2 アンケート調査の結果 .....	6
(1) 回答者属性 .....	6
(2) 県内への就職及び定着に関する意識 .....	8
(3) 就職活動に関する意識 .....	16
(4) 宮城県内企業や産業に関する意識 .....	28
(5) 将来展望に関する意向 .....	42
3 インタビュー調査の結果.....	45
(1) 県内就職及び定着に関する考え方 .....	45
(2) 就職活動の実態.....	52
(3) 就職活動における企業の印象.....	57
(4) 就職活動の情報収集.....	60
(5) 働き方・暮らし方に関する考え方 .....	64
<b>企業等女性活躍実態調査</b>	
1 調査の概要 .....	69
2 調査結果 .....	71
(1) 回答企業属性 .....	71
(2) 女子学生の採用の現状 .....	74
(3) 採用活動の状況.....	83
(4) 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取り組み状況.....	85
<b>資料編「アンケート調査票」</b>	
宮城県内大学・短期大学学生就職等調査 .....	93
企業等女性活躍実態調査 .....	104

## 調査の目的及び内容

### 調査目的

人口減少や少子・高齢化が進む中、若年層の県内定着が重要な課題の一つとなっているが、宮城県では、大学・短期大学を卒業した学生の半数近くが就職を機に県外に転出している状況にある。こうした現状を改善するため、多くの若年層が県内に定着しやすい環境の整備を推進することが求められている。

そのため、本調査は県内の大学生・短期大学生及び県内企業を対象にアンケート調査等を実施し、大学生等に対するアンケート調査及びインタビュー調査では、就職に対する考え方や就職活動、就職先に求める要件などを、県内企業を対象としたアンケート調査では、女性採用と女性活躍の取組などの実態を把握した上で、双方の調査結果を分析し、若年層、特に女子学生の県内への就職及び定着をはじめ、様々な施策の検討に活用するための基礎資料とするものである。

### 調査内容

- (1) 宮城県内大学・短期大学学生就職等調査  
宮城県内の大学生・短期大学生に関する就職や生活等の調査分析
- (2) 企業等女性活躍実態調査  
宮城県内の企業等に関する女性採用や女性活躍等の調査分析

### 調査の概要

	(1) 宮城県内大学・短期大学学生就職等調査		(2) 企業等女性活躍実態調査
	アンケート調査	インタビュー調査	
調査目的	県内大学生・短期大学生の就職と定着に関する意識等の把握		県内企業の女性採用と女性活躍の取組みなどに関する実態の把握
調査対象	県内の大学及び短期大学（19校）に在籍し、翌年、翌々年に就職を控える学生約25,000人	アンケート調査から抽出した学生	従業員数10名以上の県内企業から抽出した1,525社
回答数等	1,882人	20人	543社
調査時期	令和4年6月3日～26日	令和4年7月23日～24日	令和4年6月6日～26日
調査手法	インターネットアンケート	オンライングループインタビュー	紙面アンケート

学生編

## 宮城県内大学・短期大学学生就職等調査

---

## 1 調査の概要

### ■ 調査目的

県内の大学生・短期大学生を対象に就職に対する考え方や就職先に求める要件などを調査し、宮城県への定着に向けた行政施策の検討等のための基礎資料とする。

### ■ 調査の方法

#### (1) アンケート調査

##### 対 象

県内の大学及び短期大学（19校）に在籍し、翌年、翌々年に就職を控える学部生及び短大生（約25,000名）

##### 調査方法

- Webアンケートシステムを活用したインターネット調査を実施した。
- 学生への周知は、仙台学長会議及び加盟校に協力依頼を行い、各校の電子掲示板やメールシステムを通じて学生に調査に関するチラシを配布した。その他、可能な限り、各校の教員等の協力を得て授業やゼミなどの機会を活用し、協力への周知を行った。
- 調査内容及び個人情報の取扱い周知方法等については、仙台学長会議より選出された2校の学長(アドバイザー)より助言、指導を受けた。
- アンケート調査に協力する学生には、チラシに記載されているURLからWebアンケートシステムにアクセスし、宮城県の個人情報の取扱いに同意の上で、質問に回答してもらった。

##### 主な質問項目

- 県内への就職及び定着に関する意識
- 就職活動に関する意識
- 宮城県内企業や産業に関する意識
- 将来展望に関する意向 など

##### 実施期間

令和4年6月3日（金）から6月26日（日）

##### 回答者数

1,882人

(2) インタビュー調査

<b>対 象</b>	(1) のアンケート調査の際にインタビュー調査参加への同意が得られた学生のうち、県内就職意向の有無や就職活動の意識などの回答傾向を踏まえて抽出した男女
<b>調査方法</b>	Web 会議システムを活用したオンライングループインタビュー調査（1 グループ 4 名、全 5 回、各 2 時間）を実施した。
<b>主な質問項目</b>	<p>アンケート調査では把握できない県内就職、及び定着の意識などについて学生への理解を深め、課題を明らかにするため以下の定性情報を把握した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内就職及び定着に関する考え方</li> <li>・ 就職活動の実態</li> <li>・ 就職活動における企業の印象</li> <li>・ 就職活動の情報収集</li> <li>・ 働き方・暮らし方に関する考え方 など</li> </ul>
<b>実施期間</b>	令和 4 年 7 月 23 日（土）から 7 月 24 日（日）
<b>参加者数</b>	20 名

■ 記述について

- ・ 構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計値が 100%にならない場合がある。
- ・ 男女別分析では性別無回答者（「答えたくない」）を除いている。
- ・ 学校（学年）は次のとおり学年をまとめて集計している。

学部 4、6 年生	「4 年制大学の 4 年生」「6 年制大学の 6 年生」
学部 3、5 年生	「4 年制大学の 3 年生」「6 年制大学の 5 年生」
短大生	「2 年制短期大学の 2 年生」「2 年制短期大学の 1 年生」「3 年制短期大学の 3 年生」「3 年制短期大学の 2 年生」

- ・ 学問分野は次のとおり学部をまとめて集計している。

文系	「法律・政治」「経済・経営・商学」「社会・メディア」「国際関係」「文学・人文・人間・心理」「外国語」「教育・福祉」「家政・生活」「教養・総合」
理系	「理・工」「農・獣・畜産・水産」「医・歯・薬」「看護・保健・衛生・リハビリテーション」
その他	「芸術・表現」「健康・スポーツ」「この中にあてはまるものはない」

アンケート調査の対象（五十音順）

	学校名	学年
大学	石巻専修大学	4年制3、4年生
	尚綱学院大学	4年制3、4年生
	仙台白百合女子大学	4年制3、4年生
	仙台大学	4年制3、4年生
	東北医科薬科大学	4年制3、4年生及び6年制5、6年生
	東北学院大学	4年制3、4年生
	東北工業大学	4年制3、4年生
	東北生活文化大学	4年制3、4年生
	東北大学	4年制3、4年生及び6年制5、6年生
	東北福祉大学	4年制3、4年生
	東北文化学園大学	4年制3、4年生
	宮城学院女子大学	4年制3、4年生
	宮城教育大学	4年制3、4年生
	宮城大学	4年制3、4年生
短期大学	聖和学園短期大学	2年制1、2年生
	仙台赤門短期大学	2年制1、2年生
	仙台青葉学院短期大学	2年制1、2年生及び3年制2、3年生
	東北生活文化大学短期大学部	2年制1、2年生
	宮城誠真短期大学	2年制1、2年生
対象学生数※		25,540名

※ 原書房「全国学校総覧2020年度版」各校入学定員より算出

インタビュー調査の対象

4年制大学生 20名	
内訳	性別：男性（8）、女性（12）
	学年：4年生（16）、3年生（4）
	出身地：宮城県（13）、東北（宮城県除く）（6）、その他（1）
	希望する就職先地域：宮城県内（8）、宮城県外（12）

## 2 アンケート調査の結果

### (1) 回答者属性

Q5 あなたの性別を教えてください。



- 回答者の性別をみると、男子学生が40.4%、女子学生が56.5%、答えたくないが3.0%となっている。

Q6 あなたの出身地を教えてください。※生まれてから入学までに、最も長く過ごした場所を出身地としてください。



- 回答者の出身地をみると、県内出身者が52.7%、宮城県を除く東北出身者が28.4%、その他出身者が19.0%となっている。

Q4 あなたの学年を教えてください。



- 回答者の学校（学年）をみると、大学生（「学部4、6年生」「学部3、5年生」）が91.7%（47.2%、44.5%）、短大生が8.2%となっている。

Q3 あなたの学部の分野を教えてください。



※「その他」は芸術、スポーツなど

- 回答者の学問分野をみると、「文系」が53.8%、「理系」が37.0%、「その他（芸術、スポーツなど）」が9.2%となっている。

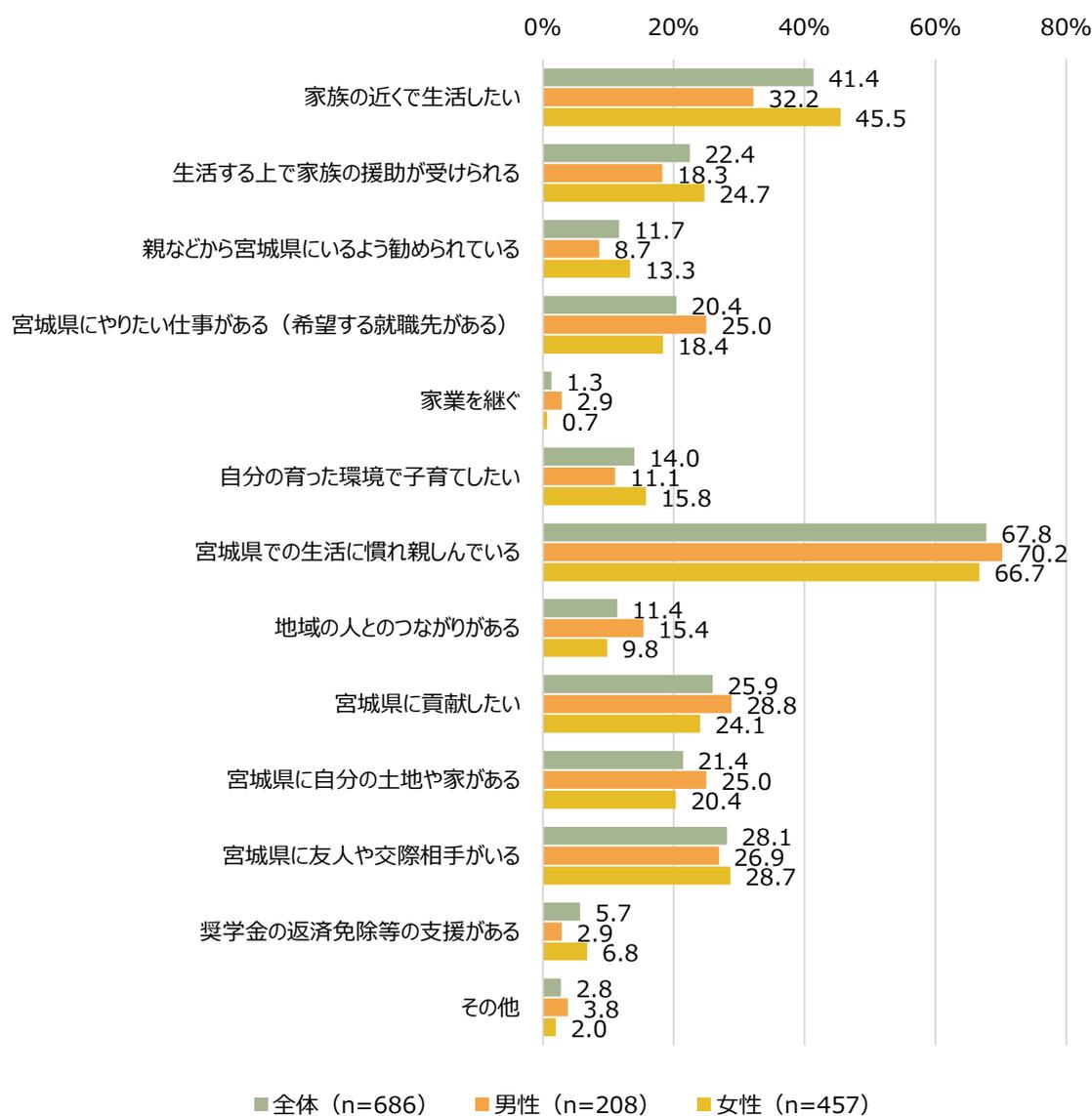
(2) 県内への就職及び定着に関する意識

Q7 現時点で希望する就職先の場所をお選びください。

	n =	■ 宮城県内	■ 宮城県外	■ どちらでもよい	(%)
全体	1882	36.5	29.9	33.7	
男性	761	27.3	33.1	39.6	
女性	1064	43.0	27.8	29.2	

- 希望する就職先地域についてみると、「宮城県内」(36.5%)が最も多く、「どちらでもよい」(33.7%)、「宮城県外」(29.9%)の順となっている。
- 男女別でみると、男子学生は「どちらでもよい」(39.6%)が最も多く、「宮城県外」(33.1%)、「宮城県内」(27.3%)の順となっている。女子学生は「宮城県内」(43.0%)が最も多く、「どちらでもよい」(29.2%)、「宮城県外」(27.8%)の順となっている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「宮城県内」(43.0%)が10ポイント以上高く、「どちらでもよい」(29.2%)が10ポイント以上低い。

Q11 就職先の場所として宮城県内を選ぶ理由を教えてください。以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。



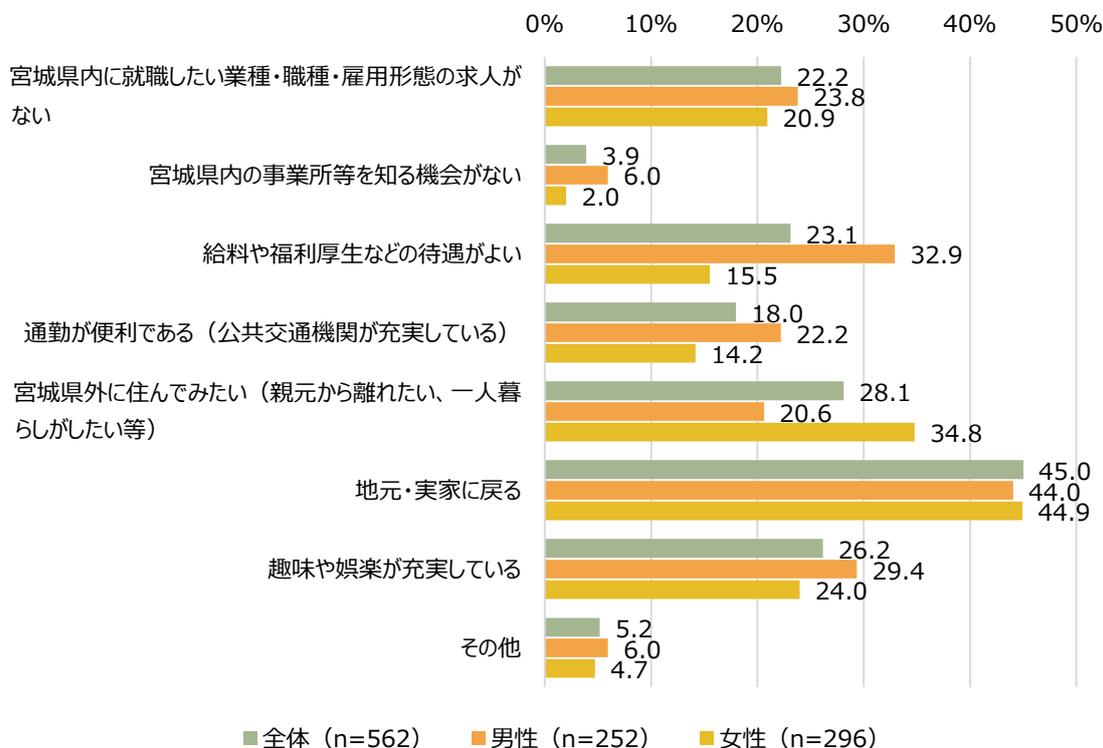
[Q11 「その他」 自由記述回答]

宮城から出たくない
お金がかからないから
出身地は田舎すぎるから、適度な都会である宮城県が良い
宮城より都会に行きたくない
地元に戻る気がなく、宮城のほうが生活しやすいから
仕事に慣れるまでは住み慣れている宮城で仕事をしたいから
全国転勤が嫌だ。宮城が住み良いのはもちろんだが、定住できればよかった。
本当は宮城を離れたいが、親や親戚の介護などで土地を離れられない
通院中のため、宮城県から離れられない
習い事を続けるため
就活の資金が底をついたので交通費を節約するため。
故郷を離れたい

勤務地は関東希望だったが、県内の店舗で働いてから異動するかたちになるため。
県外に出たあとの各種手続きが面倒、思い入れは特にない。
奨学金
場所は選ばない
宮城から出たくない
お金がかからないから
出身地は田舎すぎるから、適度な都会である宮城県が良い

- Q7で「宮城県内」と回答した学生に就職先として宮城県内を選ぶ理由について尋ねると、「宮城県での生活に慣れ親しんでいる」(67.8%)が最も多く、「家族の近くで生活したい」(41.4%)、「宮城県に友人や交際相手がいる」(28.1%)が続いている。
- 男女別でみると、男子学生は「宮城県での生活に慣れ親しんでいる」(70.2%)が最も多く、「家族の近くで生活したい」(32.2%)、「宮城県に貢献したい」(28.8%)が続いている。女子学生は「宮城県での生活に慣れ親しんでいる」(66.7%)が最も多く、「家族の近くで生活したい」(45.5%)、「宮城県に友人や交際相手がいる」(28.7%)が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「家族の近くで生活したい」(45.5%)が10ポイント以上、「生活する上で家族の援助が受けられる」(24.7%)が5ポイント以上高く、一方で「宮城県にやりたい仕事がある(希望する就職先がある)」(18.4%)、「地域の人とのつながりがある」(9.8%)が5ポイント以上低い。

Q8 就職先の場所として宮城県外を選ぶ理由を教えてください。以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。



[Q8「その他」自由記述回答]

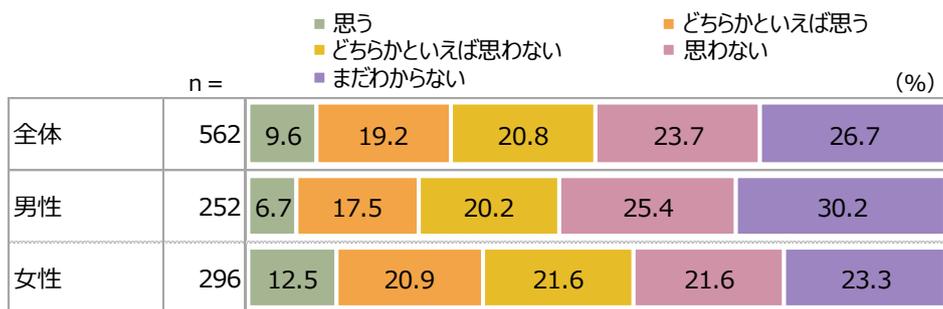
希望の本社が宮城県外にある
やりたい仕事が大都市圏にしかない
働きたいところがある。
内定もらった企業が県外だったから
先進医療に携わる機会が多いため
日本を代表する大企業が少ない
農家を継ぐため
日本の中心に当たる関東圏に居住し、日本人として経験したい。
スポーツチームがある職場がいいから
チームが県内にない
気候が合わない
宮城県に飽きたから。寒いし何も無い。
冬の時期に住みにくいとを感じるから
降雪量の多い地域が良い。また、太平洋側は乾燥しているので、日本海側に住みたいと考えている。
地震が多い
宮城県や仙台市に同性パートナーシップ制度がない為
宮城の親戚にもう二度と会いたくない(親、兄弟以外の人間)
宮城県外にいる人と結婚するため
好きな人のところに行く
出身地に戻りたい
地元が好き
地元の奨学金制度を利用している
友達が多い

奨学金を返済するにあたり、余計な支出を増やさないため。
-----------------------------

海外希望
------

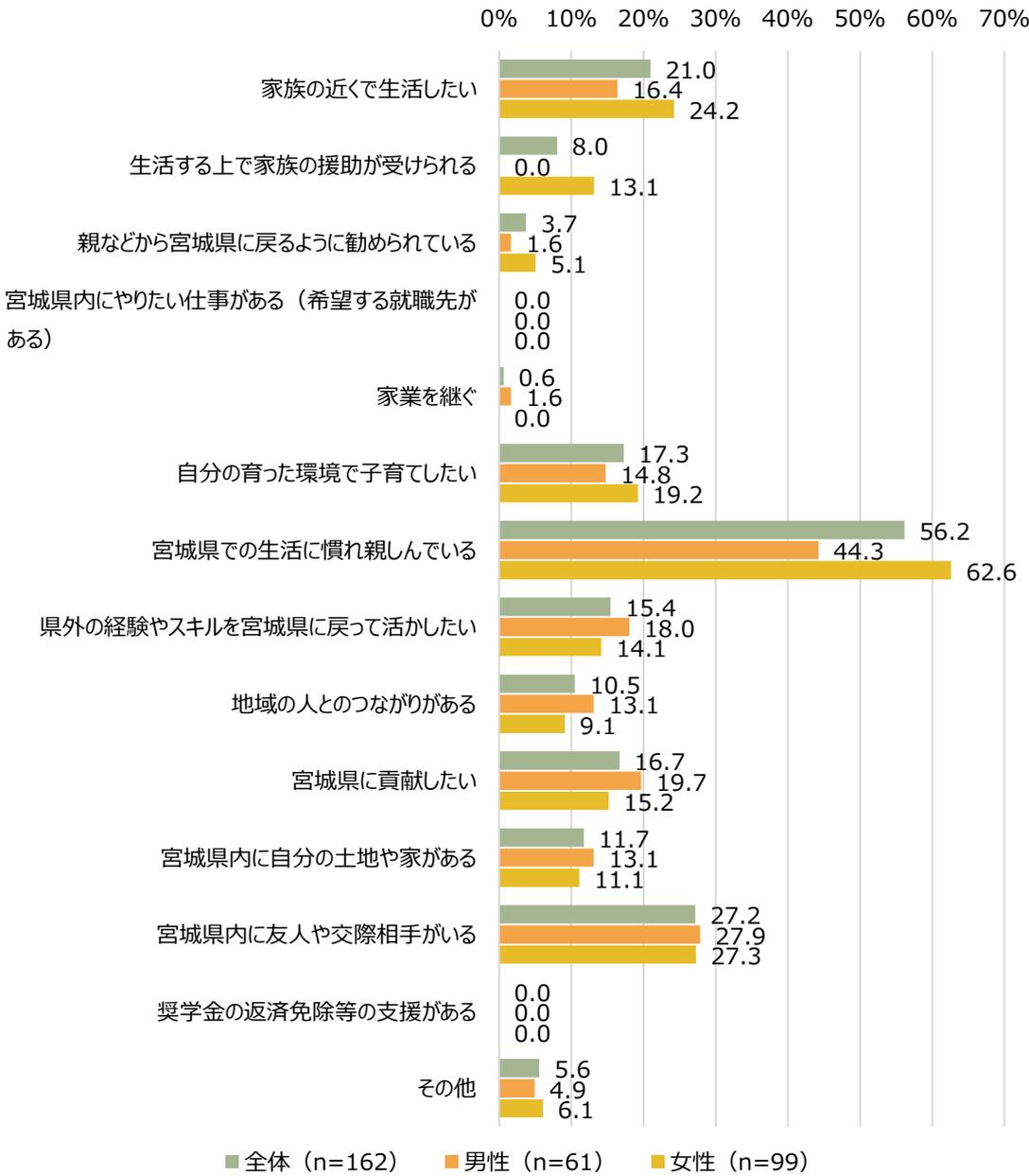
- Q7で「宮城県外」と回答した学生に就職先として宮城県外を選ぶ理由について尋ねると、「地元・実家に戻る」(45.0%)が最も多く、「宮城県外に住んでみたい(親元から離れたい、一人暮らしがしたい等)」(28.1%)、「趣味や娯楽が充実している」(26.2%)が続いている。
- 男女別で見ると、男子学生は「地元・実家に戻る」(44.0%)が最も多く、「給料や福利厚生などの待遇が良い」(32.9%)、「趣味や娯楽が充実している」(29.4%)が続いている。女子学生は「地元・実家に戻る」(44.9%)が最も多く、「宮城県外に住んでみたい(親元から離れたい、一人暮らしがしたい等)」(34.8%)、「趣味や娯楽が充実している」(24.0%)が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「宮城県外に住んでみたい(親元から離れたい、一人暮らしがしたい等)」(34.8%)が10ポイント以上高く、一方で「給料や福利厚生などの待遇がよい」(15.5%)が10ポイント以上低い。

Q9 あなたは一旦宮城県を出た場合、いつかは宮城県に戻りたいと思いますか。



- Q7で「宮城県外」と回答した学生に対して、一旦宮城県を離れて、その後に宮城県に戻りたいかを尋ねると、「戻りたい」（「思う」「どちらかといえば思う」の合計）が28.8%、「戻りたくない」（「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計）が44.5%、「まだわからない」が26.7%である。
- 男女別でみると、男子学生は、「戻りたい」（「思う」「どちらかといえば思う」の合計）が24.2%、「戻りたくない」（「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計）が45.6%、「まだわからない」が30.2%である。女子学生は「戻りたい」（「思う」「どちらかといえば思う」の合計）が33.4%、「戻りたくない」（「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計）が43.2%、「まだわからない」（23.3%）である。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「戻りたい」（「思う」「どちらかといえば思う」の合計）が10ポイントほど高い。

Q10 一旦宮城県を出た後に戻りたいと思う理由を教えてください。以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。



[Q10「その他」自由記述回答]

娯楽が多い
宮城県は住みやすいから
子育てで親に頼みやすい
都会でもあり田舎でもある住みやすさ。
交通面が便利だから
程よく栄えていて程よのどかで住みやすい県だと実感しているから
緑が多く、ちょうど良い都会さがある
仙台が良いところだと思ったので
好きな人がいるから

- Q9で「戻りたい」（「思う」「どちらかといえば思う」と回答した学生に戻りたいと思う理由について尋ねると、「宮城県での生活に慣れ親しんでいる」（56.2%）が最も多く、「宮城県内に友人や交際相手がいる」（27.2%）、「家族の近くで生活したい」（21.0%）が続いている。
- 男女別でみると、男子学生は「宮城県での生活に慣れ親しんでいる」（44.3%）が最も多く、「宮城県内に友人や交際相手がいる」（27.9%）、「宮城県に貢献したい」（19.7%）が続いている。女子学生は「宮城県での生活に慣れ親しんでいる」（62.6%）が最も多く、「宮城県内に友人や交際相手がいる」（27.3%）、「家族の近くで生活したい」（24.2%）が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「宮城県での生活に慣れ親しんでいる」（62.6%）、「生活する上で家族の援助が受けられる」（13.1%）が10ポイント以上、「家族の近くで生活したい」（24.2%）が5ポイント以上高い。

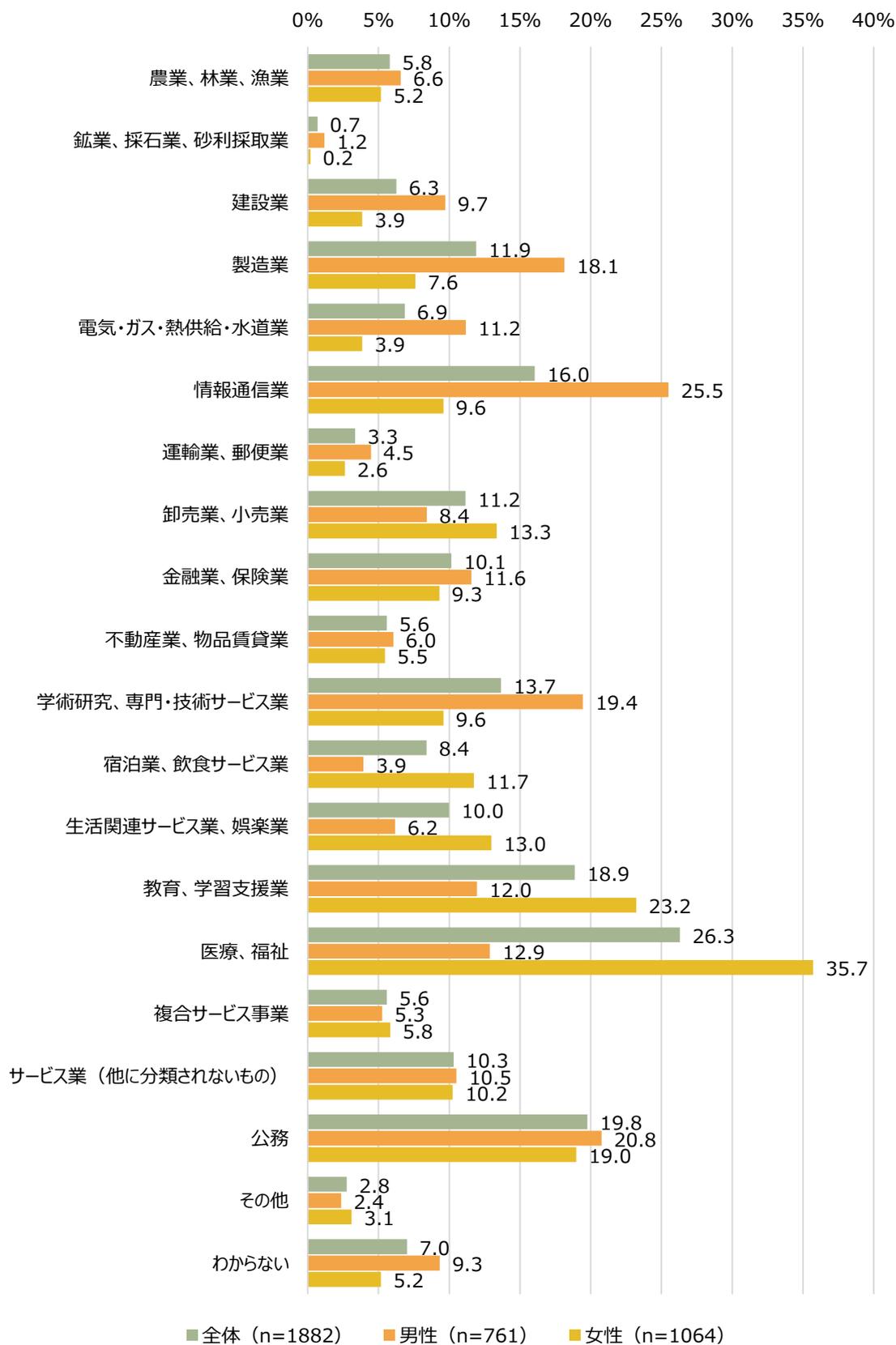
(3) 就職活動に関する意識

Q18 あなたが希望する就職先の規模について教えてください。

	n =	■ どちらかといえば大企業	■ どちらかといえば中小企業	■ 規模はこだわらない	(%)
全体	1882	34.6	14.2	51.2	
男性	761	45.5	8.7	45.9	
女性	1064	27.5	17.9	54.6	

- 希望する就職先の規模についてみると、「規模はこだわらない」(51.2%)が最も多く、「どちらかといえば大企業」(34.6%)、「どちらかといえば中小企業」(14.2%)の順となっている。
- 男女別でみると、男子学生は「どちらかといえば大企業」(45.5%)と「規模はこだわらない」(45.9%)がほぼ半々となっており、次いで「どちらかといえば中小企業」(8.7%)の順となっている。女子学生は「規模はこだわらない」(54.6%)が最も多く、「どちらかといえば大企業」(27.5%)、「どちらかといえば中小企業」(17.9%)の順となっている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「どちらかといえば中小企業」が10ポイントほど高く、「どちらかといえば大企業」(27.5%)が15ポイント以上低い。

Q19 あなたが希望する就職先の業種について教えてください。以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

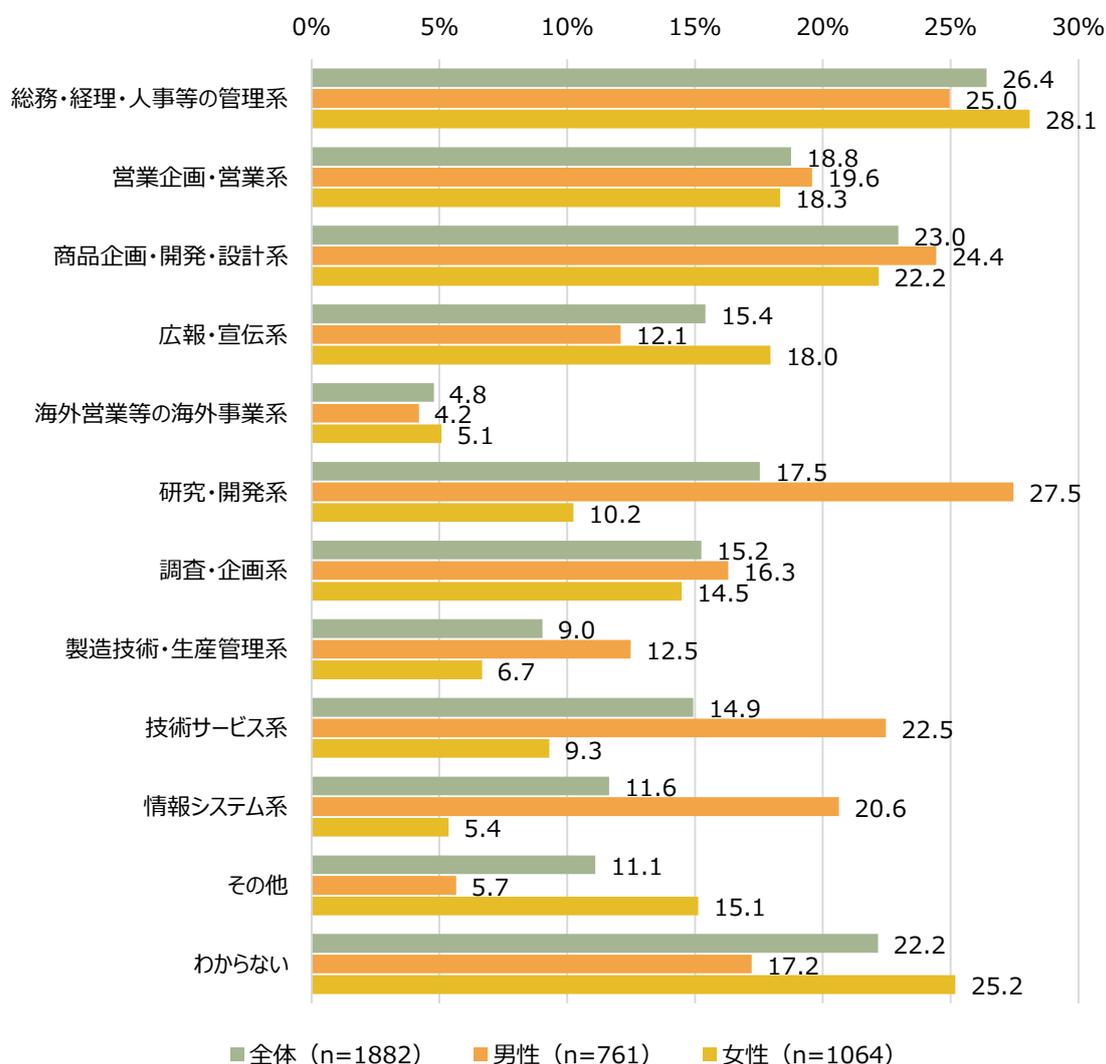


[Q19 「その他」 自由記述回答]

IT	出版
アニメーター	出版業
カレンダー通り以上の休みがある業種	商社(自動車関連)
クリエイター	醸造業
クワイティブなもの	食品開発
コンサル	食品系
スポーツ	食品事業
ドラッグストア	図書館司書
マスコミ	清掃
メディア業	製菓
医療事務員	総合商社
栄養、健康	弁護士業
栄養系	保育
監査業務	保育関係
監査法人	保育士
看護	保育士、幼稚園教諭
管理栄養士	放送
芸能	放送、広告
広告	法曹
国家公務員	臨床開発
士業	

- 希望する就職先の業種についてみると、「医療、福祉」(26.3%)が最も多く、「公務」(19.8%)、「教育、学習支援業」(18.9%)が続いている。
- 男女別でみると、男子学生は「情報通信業」(25.5%)が最も多く、「公務」(20.8%)、「学術研究、専門・技術サービス」(19.4%)が続いている。女子学生は「医療、福祉」(35.7%)が最も多く、「教育、学習支援業」(23.2%)、「公務」(19.0%)が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「医療、福祉」(35.7%)が20ポイント以上、「教育、学習支援業」(23.2%)が10ポイント以上高く、一方で「情報通信業」(9.6%)、「製造業」(7.6%)が10ポイント以上低い。

Q20 あなたが希望する職種を教えてください。以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。



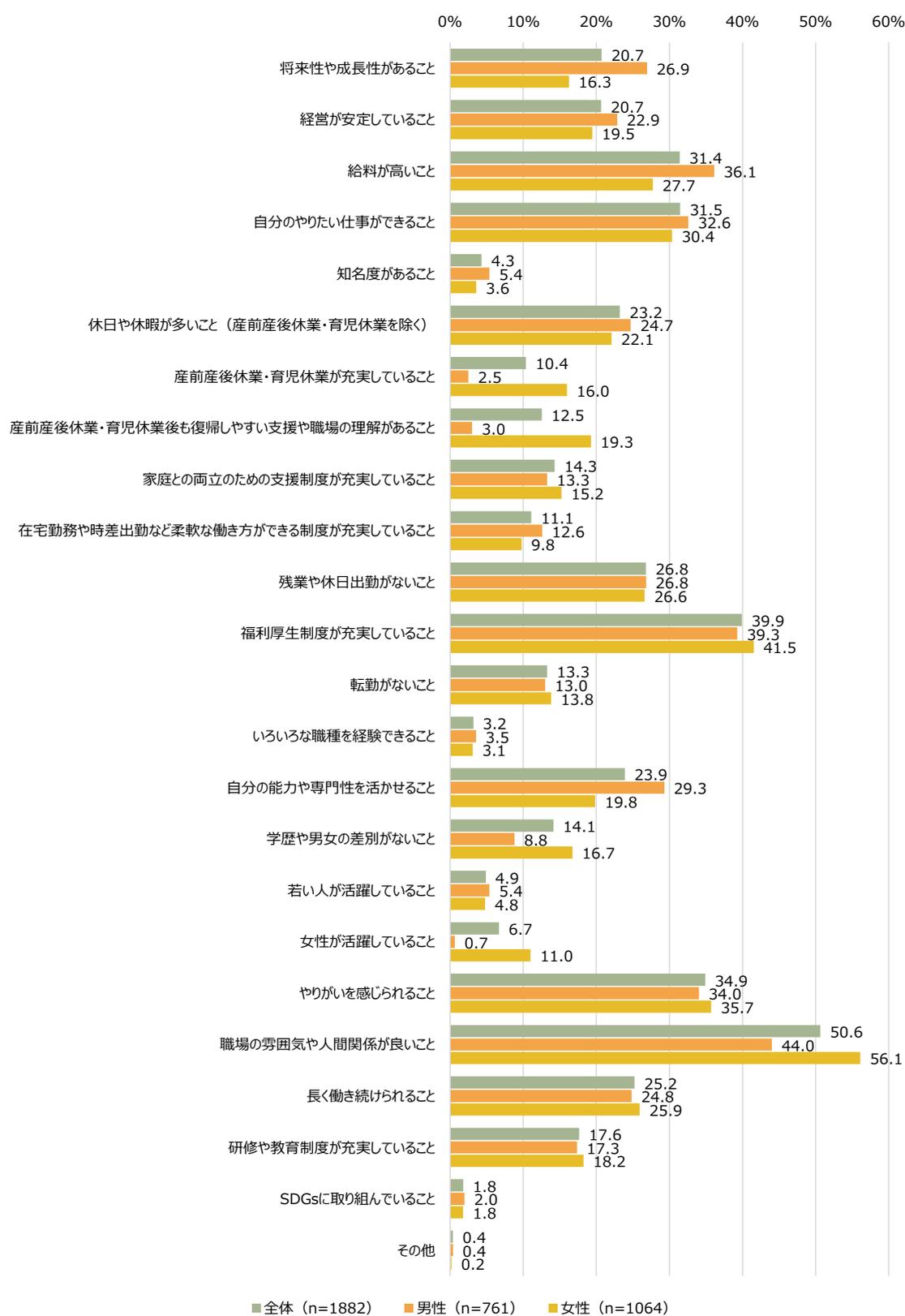
[Q20「その他」自由記述回答]

IBD	管理栄養士	知財管理
アナウンサー	給食経営	中学高校の教員
イラストレーター	教育	調理
インストラクター	教育、医療、福祉	店舗スタッフ
キャリアエージェント	教育・保育系	電気系
サービス	教育系	投資銀行業務
サービス、秘書、インフラ	教育公務員	番組制作
バイヤー	教育者	病院
リハビリスタッフ	教員	品質管理
リハビリテーション	教師	福祉
リハビリテーション系	教職	福祉系
医師	警察・消防	福祉系、医療系
医師、歯科医師	警察官	福祉事業所

医療	交通警備	物販
医療・看護	公認会計士	編集
医療・福祉	公務	弁護士、検察官
医療サービス	公務員	保育
医療ソーシャルワーカー	講師、指導員、事務系	保育、幼稚園系
医療系	高校教員	保育関係
医療事務員	作業療法士	保育教諭
医療専門職	施工管理	保育系
運転	歯科医師	保育士
映像制作	事務	保育士、教員
栄養や食事の管理	事務系	保育士、幼稚園教諭
栄養系	社会福祉士	保育者
音響エンジニア	助産師	放送
介護系	小学校教員	法務
監査	醸造	薬剤師
看護	接客	幼児教育
看護、保健	専門職	幼稚園教諭
看護系	専門職 管理栄養士	理学療法士
看護師	専門職(リハビリ)	臨床検査技師
看護職	相談員	

- 希望する就職先の職種についてみると、「総務・経理・人事等の管理系」(26.4%)が最も多く、「商品企画・開発・設計系」(23.0%)、「わからない」(22.2%)が続いている。
- 男女別でみると、男子学生は「研究・開発系」(27.5%)が最も多く、「総務・経理・人事等の管理系」(25.0%)、「商品企画・開発・設計系」(24.4%)が続いている。女子学生は「総務・経理・人事等の管理系」(28.1%)が最も多く、「わからない」(25.2%)、「商品企画・開発・設計系」(22.2%)が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「わからない」(25.2%)、「その他」(15.1%)、「広報・宣伝系」(18.0%)が5ポイント以上高く、一方で「研究・開発系」(10.2%)、「技術サービス」(9.3%)、「情報システム系」(5.4%)が10ポイント以上低い。

Q14 あなたが就職先を選ぶときに重視するポイントを教えてください。以下の中から、あてはまるものを5つまでお選びください。

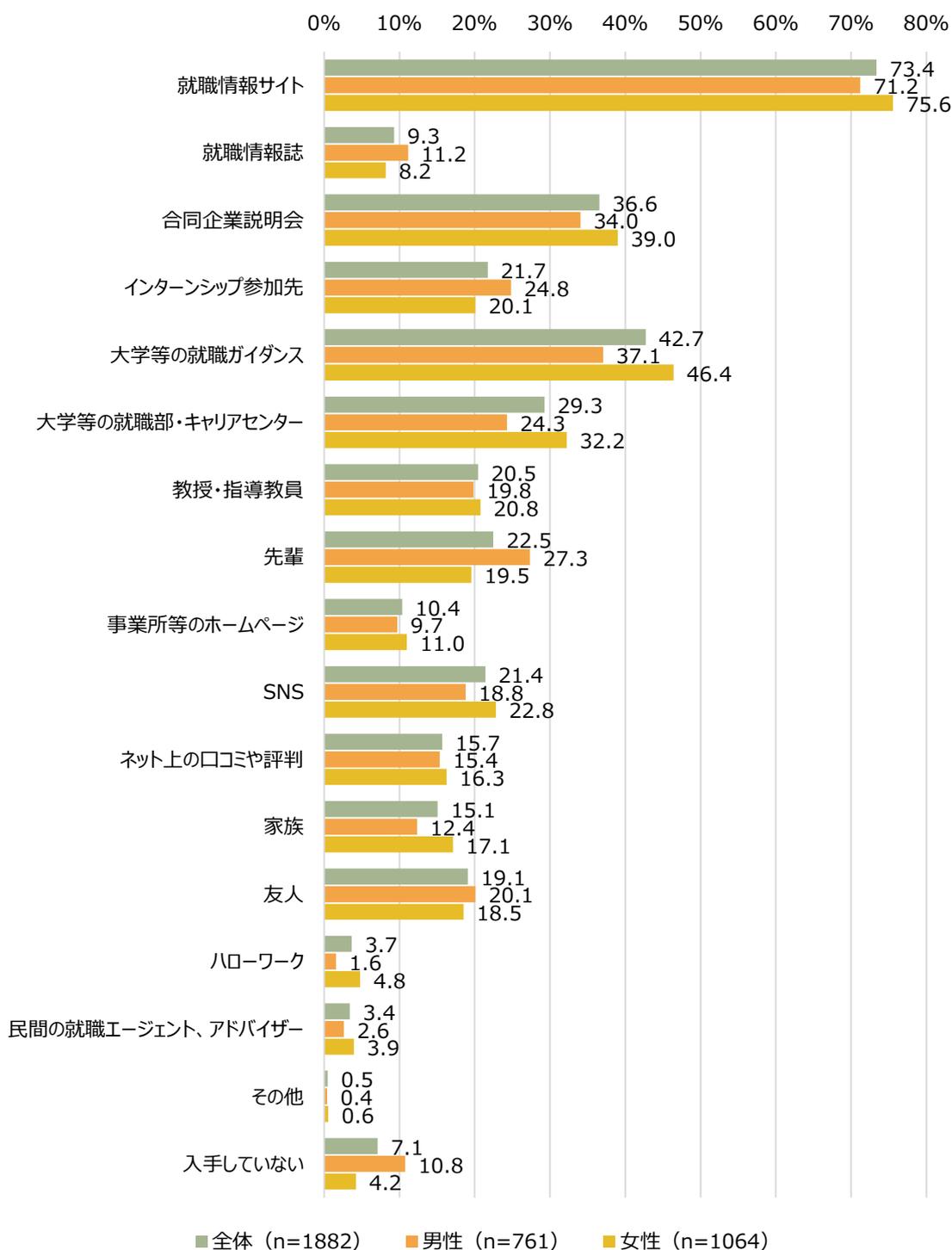


[Q14 「その他」 自由記述回答]

事業の社会的価値
過労死や自殺者が頻繁に出ていないこと
通勤時間が短い
服装に制約がないこと
仕事が簡単
会社のある場所に自然災害などが多くないか
その時の勢いで決める

- 就職先を選ぶ際に重視するポイントについてみると、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」(50.6%)が最も多く、「福利厚生制度が充実していること」(39.9%)、「やりがいを感じられること」(34.9%)が続いている。
- 男女別でみると、男子学生は「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」(44.0%)が最も多く、「福利厚生制度が充実していること」(39.3%)、「給料が高いこと」(36.1%)が続いている。女子学生は「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」(56.1%)が最も多く、「福利厚生制度が充実していること」(41.5%)、「やりがいを感じられること」(35.7%)が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」(56.1%)、「産前産後休業・育児休業後も復帰しやすい支援や職場の理解があること」(19.3%)、「産前産後休業・育児休業が充実していること」(16.0%)、「女性が活躍していること」(11.0%)が10ポイント以上高く、一方で「給料が高いこと」(27.7%)、「自分の能力や専門性を活かせること」(19.8%)、「将来性や成長性があること」(16.3%)が10ポイントほど低い。

Q15 あなたの就職関連情報の入手先を教えてください。以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

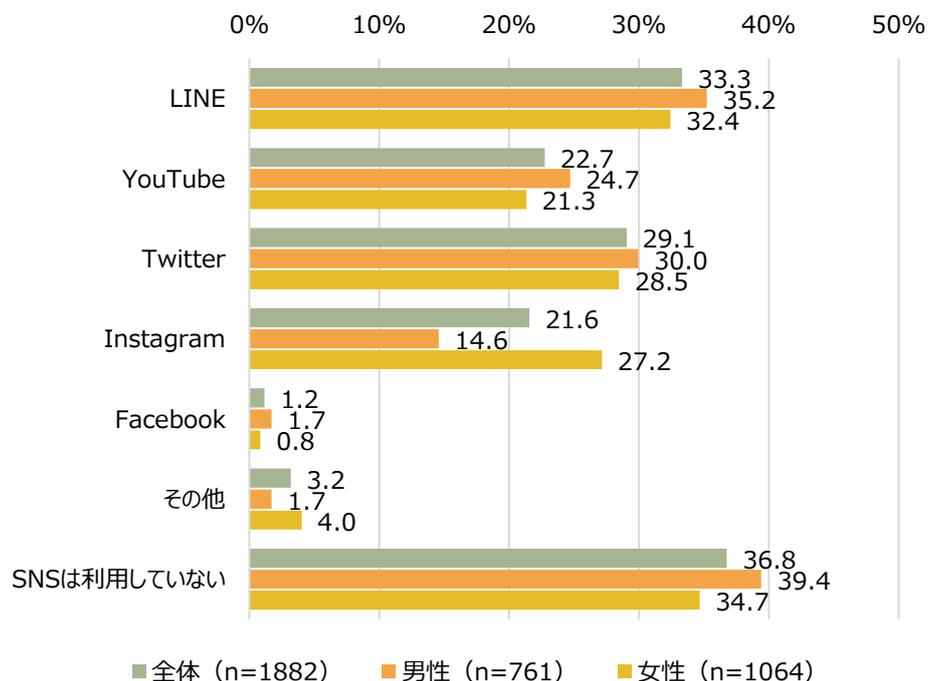


## [Q15 「その他」 自由記述回答]

就職希望先の Web サイト
ホームページと実際の見学
スマホアプリ
実習
NewsPicks
教育委員会
塾・通信教育の HP や教材
現在の勤務先

- 就職関連情報の入手先についてみると、「就職情報サイト」(73.4%) が最も多く、「大学等の就職ガイダンス」(42.7%)、「合同企業説明会」(36.6%) が続いている。
- 男女別でみると、男子学生、女子学生とも「就職情報サイト」(71.2%、75.6%) が最も多く、「大学等の就職ガイダンス」(37.1%、46.4%)、「合同企業説明会」(34.0%、39.0%) が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「大学等の就職ガイダンス」(46.4%)、「大学等の就職部・キャリアセンター」(32.2%) が5ポイント以上高く、一方で「先輩」(19.5%)、「入手していない」(4.2%) が5ポイント以上低い。

Q16 あなたが就職活動でよく使用している（使用する予定の）SNS を教えてください。以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

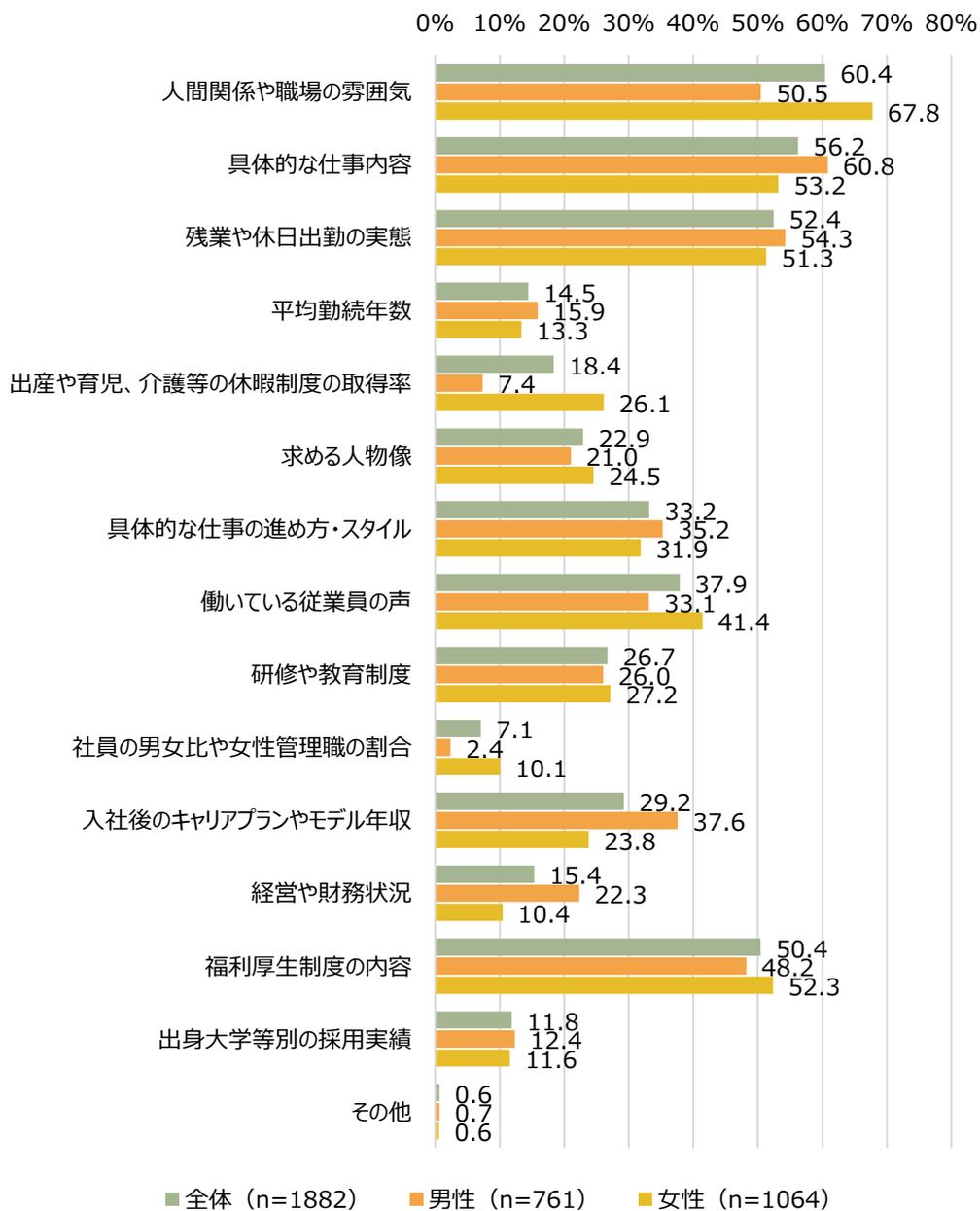


[Q16「その他」自由記述回答]

Discord	マイナビアプリ
Gmail	メール
Google	リクナビ
HP	ONE CAREER
LinkedIn	自治体のホームページ
safari	就職先のHP
Tiktok	就職サイト
Yahoo	就職活動アプリ
インターネット	就職活動で SNS を利用する気がない
オフアボックス	就職活動は行わないため利用しない
キャラタスなどのアプリ	まだ就職活動をしていない
マイナビ	

- 利用している SNS についてみると、「SNS は利用していない」（36.8%）を除き、「LINE」（33.3%）が最も多く、「Twitter」（29.1%）、「YouTube」（22.7%）が続いている。
- 男女別でみると、男子学生は「SNS は利用していない」（39.4%）を除き、「LINE」（35.2%）が最も多く、「Twitter」（30.0%）、「YouTube」（24.7%）が続いている。女子学生は「SNS は利用していない」（34.7%）を除き、「LINE」（32.4%）が最も多く、「Twitter」（28.5%）、「Instagram」（27.2%）が続いている。
- 男女別でみると、女子学生は男子学生に比べ「Instagram」（27.2%）が 10 ポイント以上高い。

Q17 あなたが就職先を選ぶときに知りたい情報を教えてください。以下の中から、あてはまるものを5つまでお選びください。



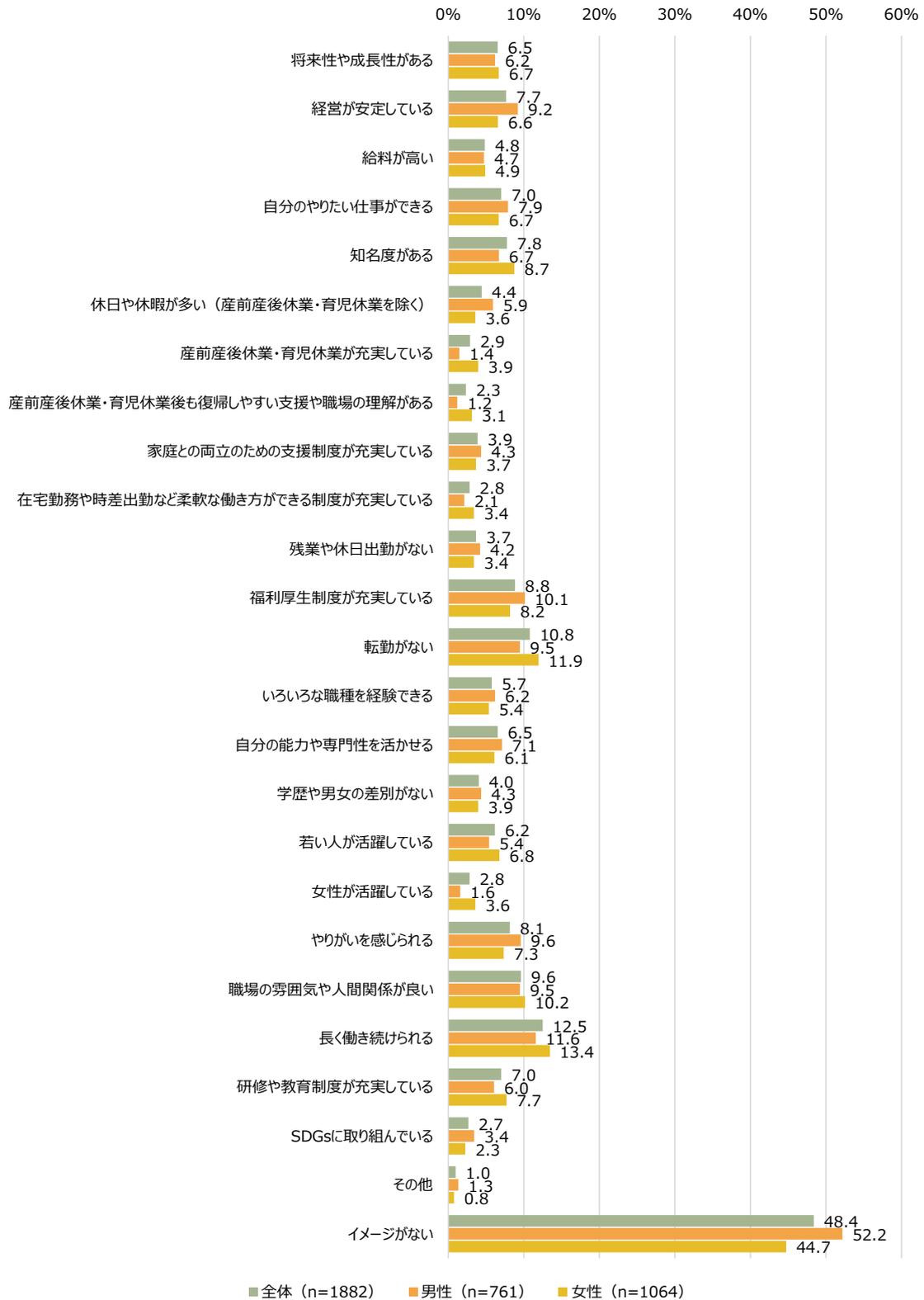
[Q17「その他」自由記述回答]

給料	年間の退職割合
勤務地	採用試験の内容
職場の施設や利用可能な制度	監査法人
売上高、市町村等が使える税金の額	災害時の行動マニュアルや、避難経路について
新卒離職率	ハリと勢い
離職率	

- 就職先を選ぶ上で知りたい情報についてみると、「人間関係や職場の雰囲気」(60.4%)が最も多く、「具体的な仕事内容」(56.2%)、「残業や休日出勤の実態」(52.4%)が続いている。
- 男女別でみると、男子学生は「具体的な仕事内容」(60.8%)が最も多く、「残業や休日出勤の実態」(54.3%)、「人間関係や職場の雰囲気」(50.5%)が続いている。女子学生は「人間関係や職場の雰囲気」(67.8%)が最も多く、「具体的な仕事内容」(53.2%)、「福利厚生制度の内容」(52.3%)が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「人間関係や職場の雰囲気」(67.8%)、「出産や育児、介護等の休暇制度の取得率」(26.1%)が15ポイント以上高く、一方で「入社後のキャリアプランやモデル年収」(23.8%)、「経営や財務状況」(10.4%)が10ポイント以上低い。

(4) 宮城県内企業や産業に関する意識

Q22 あなたが就職先として宮城県内の事業所等を持っているイメージを教えてください。以下の中から、あてはまるものを5つまでお選びください。



[Q22 「その他」 自由記述回答]

多くが大企業の支店で、転勤が多い。
大企業の本社がない
大企業が少ない
中小企業が多い
仙台市以外の就職先はほぼ無い
関東方面より募集がある職種が少ない
通っている大学から進む人が少ない
規模が小さい
残業が多い、給与が低い
勤務時間通りに帰宅できず残業がつかない
給料が安く、閉鎖的で嫌な人が多い。
給料が安い
活気がない
視野が狭い
県内にもいろいろな病院(企業)があり県内の事業所として共通で選べるものではない
まだ得られている情報が少なくイメージがつかえません。
わからない

- 県内企業に対するイメージについてみると、「イメージがない」(48.4%)が最も多く、「長く働き続けられる」(12.5%)、「転勤がない」(10.8%)が続いている。
- 男女別でみると、男子学生は「イメージがない」(52.2%)が最も多く、「長く働き続けられる」(11.6%)、「福利厚生制度が充実している」(10.1%)が続いている。女子学生は「イメージがない」(44.7%)が最も多く、「長く働き続けられる」(13.4%)、「転勤がない」(11.9%)が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「イメージがない」(44.7%)が5ポイント以上低い。

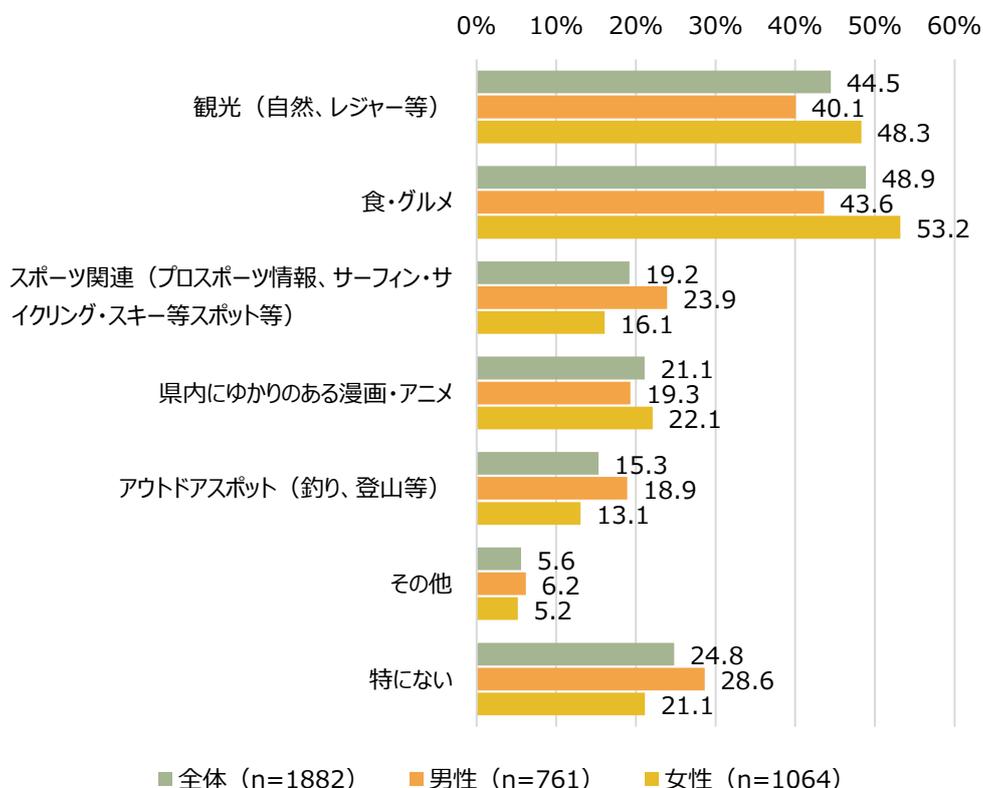
Q21 あなたは宮城県内の事業所等への就職に関する必要な情報を得られていますか。

- 必要な情報は十分得られている
- 必要な情報はある程度は得られている
- 必要な情報が全く得られていない
- 情報収集は行っていない

	n =	(%)			
全体	1882	5.7	43.9	16.1	34.3
男性	761	6.4	39.8	13.0	40.7
女性	1064	5.5	47.0	18.0	29.5

- 県内企業への就職に関する情報収集の状況についてみると、「必要な情報が得られている」（「必要な情報は十分得られている」「必要な情報はある程度は得られている」の合計）（49.6%）が最も多く、「情報収集は行っていない」（34.3%）、「必要な情報が全く得られていない」（16.1%）の順となっている。
- 男女別でみると、男子学生、女子学生とも「必要な情報が得られている」（「必要な情報は十分得られている」「必要な情報はある程度は得られている」の合計）（46.2%、52.5%）が最も多く、「情報収集は行っていない」（40.7%、29.5%）、「必要な情報が全く得られていない」（13.0%、18.0%）の順となっている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「情報収集は行っていない」（29.5%）が10ポイント以上低い。

Q23 宮城県内への就職を促す上で、合同説明会等で提供すると効果的と思われる情報を教えてください。



[Q23「その他」自由記述回答]

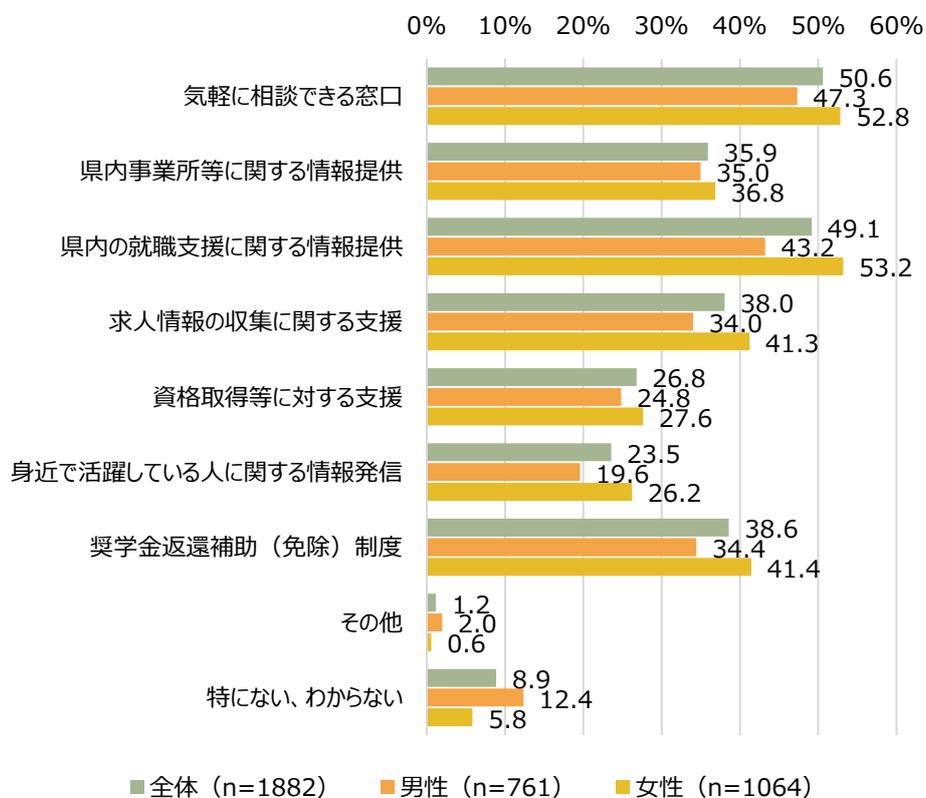
住みやすさ
生活のしやすさ・暮らしやすさ
生活のしやすさ (公的支援等)
生活のしやすさ(治安、物価、各種支援など)
生活のしやすさ(物価や交通について)
都会と自然が共存している、住みやすさ
県内での生活環境。東京・大阪等と比較した「住みやすさ」としての利点。自治体の政治・制度状況。
生活のモデル
物価や地価の安さなど生活に直結する住みやすさ
過ごしやすさ
家賃の統計
宮城県での生活、人生設計
宮城県に住むメリットを伝える、若しくは新卒の人向けに定期券の割引などのサービスをやる(もうやってる?)
首都圏と比較した物価及びそれに伴う可処分所得の違い
収入-物価比による金銭的余裕
住宅関連
地価
街がコンパクトで仙台駅周辺でなんでも揃うこと
街の雰囲気、治安、特徴。
宮城が今後社会に出て行く若者にとってどのような県に変わっていくのかという総合的な情報
宮城県に人が集まるような環境を作る

宮城県内の不動産価格や物価に関する情報
経済的利点(もしあるならば)
県内の利便性
公共施設
災害に強いとか
人も物もある程度ある丁度いい街
生活するための環境(店、交通など)
田舎らしさ。娯楽や利便性では都会に敵わないので、別のところで勝負した方がよい。
美術館や博物館などの施設情報
美容用品
その企業にしかない経営戦略を見せる
会社の待遇などの魅力や、利便性など
休暇の情報
宮城県内の企業の福利厚生で県内の観光やグルメが割引になるといったもの
給料
経営が安定しており、働きやすい会社の情報
実際に職場で働いている人の声をまとめたパンフレット、差別やセクハラの防止に対する取り組みでどんなことをしているか、女性の管理職登用についての取り組みなどを書いたパンフレット
女性の活躍
宮城県で就職した人のロールモデル(活躍している人)
社員寮の有無や斡旋可能な賃貸などの住環境の情報
将来性、企業の野心
待遇の良さ
地域に魅力があるからという理由よりはその企業に就職したいという理由で宮城に残る人が多いと思うので、企業の良さが伝わる機会があれば良いと思う。
ライフプラン等々
福利厚生
福利厚生、職場環境
福利厚生サービスがどれだけ充実しているか
福利厚生の良さ、休日の取りやすさ、県外へのアクセスのしやすさ
別に観光をしに来ていたわけではないので、上記のような点はいらない。給料やキャリアが良いかを述べるべき。
良い労働条件 転勤無しの職場
労働環境の良い点
宮城県の行政で行っている就職後に役に立つサービス
県が行う子育て支援について
県による企業の監視体制
県や市による生活の補助の情報
行政のサービス
子育て、介護、災害時の対応など暮らしていく上で重要なポイントがどの程度保証されているか
子育てなどの生活支援の実施状況、実施内容
子育て環境が整っているか、住みよい町かなどの、地域の持続可能性についての情報
治安
他県にはない政策等
知事や仙台市長のメッセージ
保育
高収入
最低自給を上げるといいと思います。
交通、買い物等の利便性
交通アクセス

交通アクセス、福利厚生等
交通インフラについて
交通の便
交通の便や環境
交通の便や商業施設について
交通の便や様々な不便なところ
交通の便利さ、買い物のしやすさなど住みやすさ
交通面、住宅補助
主要都市へのアクセスの良さ
首都圏へのアクセスの良さ
防災への取り組み状況・都市計画
ライブやイベントごとなどと自然の共存
震災関連
医療施設
気候、公共交通機関の発達度、ショッピングセンターなどの消費活動の利便性
気候や交通アクセス等
宮城県で働くメリット
実際に県民の方々がどのように生活しているか、いくつかの項目・地域別でインタビューし、紹介する。メリットもデメリットも紹介する。上記の娯楽関連の情報だけだと、良さは伝わりますが、現実味のない情報ばかりになってしまうので、県内で「生活」することへのイメージを持てる情報がプラスされると効果があると思います。
東京で就職することを上回る利点
利便性の高さ
奨学金の返済支援制度など金銭面で役に立つ宮城県の情報
お笑い
このような小手先ではなく、どのような人がどの程度の裁量をもって働いているのかなど真面目な情報が欲しい
なんとなく
わからない
上記以外

- 県内企業への就職を促す上で、合同説明会等で提供されると効果的だと思われる情報についてみると、「特にない」(24.8%)を除き、「食・グルメ」(48.9%)が最も多く、「観光(自然、レジャー等)」(44.5%)、「県内にゆかりのある漫画・アニメ」(21.1%)が続いている。
- 男女別でみると、男子学生は「特にない」(28.6%)を除き、「食・グルメ」(43.6%)が最も多く、「観光(自然、レジャー等)」(40.1%)、「スポーツ関連(プロスポーツ情報、サーフィン・サイクリング・スキー等スポット等)」(23.9%)が続いている。女子学生は「特にない」(21.1%)を除き、「食・グルメ」(53.2%)が最も多く、「観光(自然、レジャー等)」(48.3%)、「県内にゆかりのある漫画・アニメ」(22.1%)が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「食・グルメ」(53.2%)、「観光(自然、レジャー等)」(48.3%)が5ポイント以上高く、一方で「スポーツ関連(プロスポーツ情報、サーフィン・サイクリング・スキー等スポット等)」(16.1%)、「アウトドアスポット(釣り、登山等)」(13.1%)、「特にない」(21.1%)が5ポイント以上低い。

Q24 就職先として宮城県内の事業所等を選ぶ学生を増やすために、県や市町村に取り組んで欲しい支援について教えてください。以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

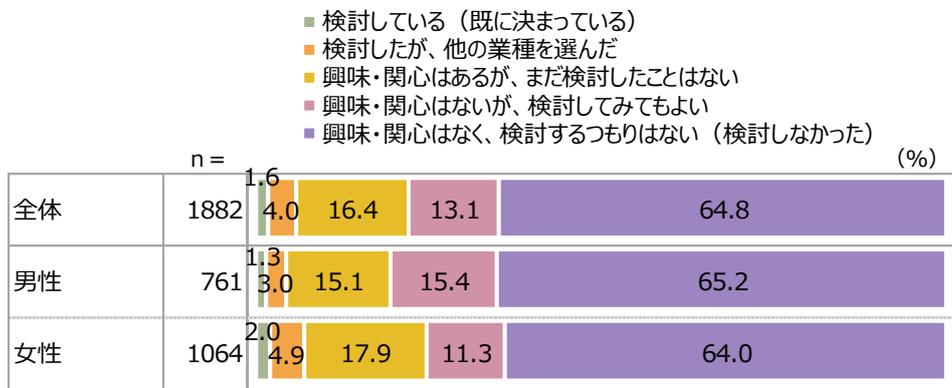


[Q24「その他」自由記述回答]

企業の本社誘致
大企業か官公庁の誘致
大企業や先端産業の誘致
各企業へのエリア別採用導入の呼びかけ
給与の改善
最低賃金の金額を上げる
最低賃金の増加、物価の低下
宮城県内の労働環境の改善
採用枠を増やす
福利厚生
住宅補助
働き方の改善
リモート環境の整備(東京にある企業の仕事を宮城県で行えるならば、流出人口を減らせるはず。)
交通網の整備
障害持っている人向けの支援
地方創生などに興味がある若者をフォーカスして募る
どんな使命を感じてほしいかの、基本的なメッセージの発表
オンラインで閲覧できる情報を充実させること
各企業の経営支援
精神科やカウンセリングの充実
大企業か官公庁の誘致

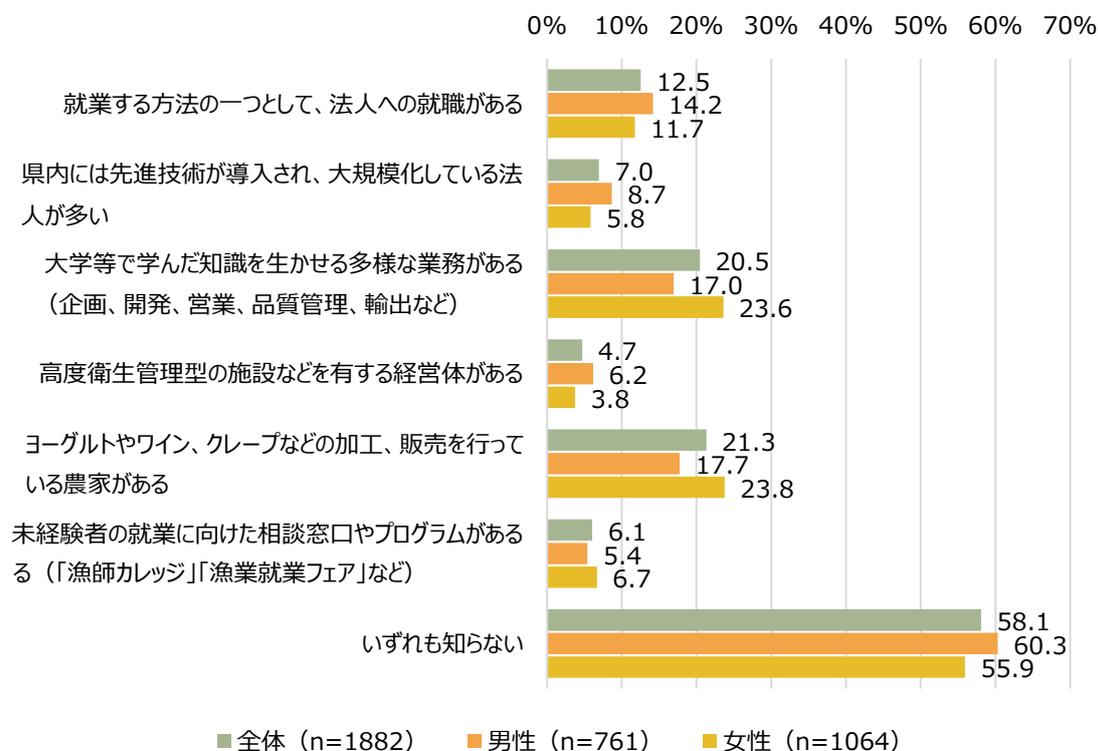
- 行政に期待する支援についてみると、「気軽に相談できる窓口」(50.6%)が最も多く、「県内の就職支援に関する情報提供」(49.1%)、「奨学金返還補助(免除)制度」(38.6%)が続いている。
- 男女別でみると、男子学生は「気軽に相談できる窓口」(47.3%)が最も多く、「県内の就職支援に関する情報提供」(43.2%)、「県内事業所等に関する情報提供」(35.0%)が続いている。女子学生は「県内の就職支援に関する情報提供」(53.2%)が最も多く、「気軽に相談できる窓口」(52.8%)、「奨学金返還補助(免除)制度」(41.4%)が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「県内の就職支援に関する情報提供」(53.2%)、「気軽に相談できる窓口」(52.8%)、「奨学金返還補助(免除)制度」(41.4%)、「求人情報の収集に関する支援」(41.3%)、「身近で活躍している人に関する情報発信」(26.2%)が5ポイント以上高く、一方で「特にない、わからない」が5ポイント以上低い。

Q25 あなたは宮城県内の農林水産業、食品加工業への就業を検討していますか（検討しましたか）。



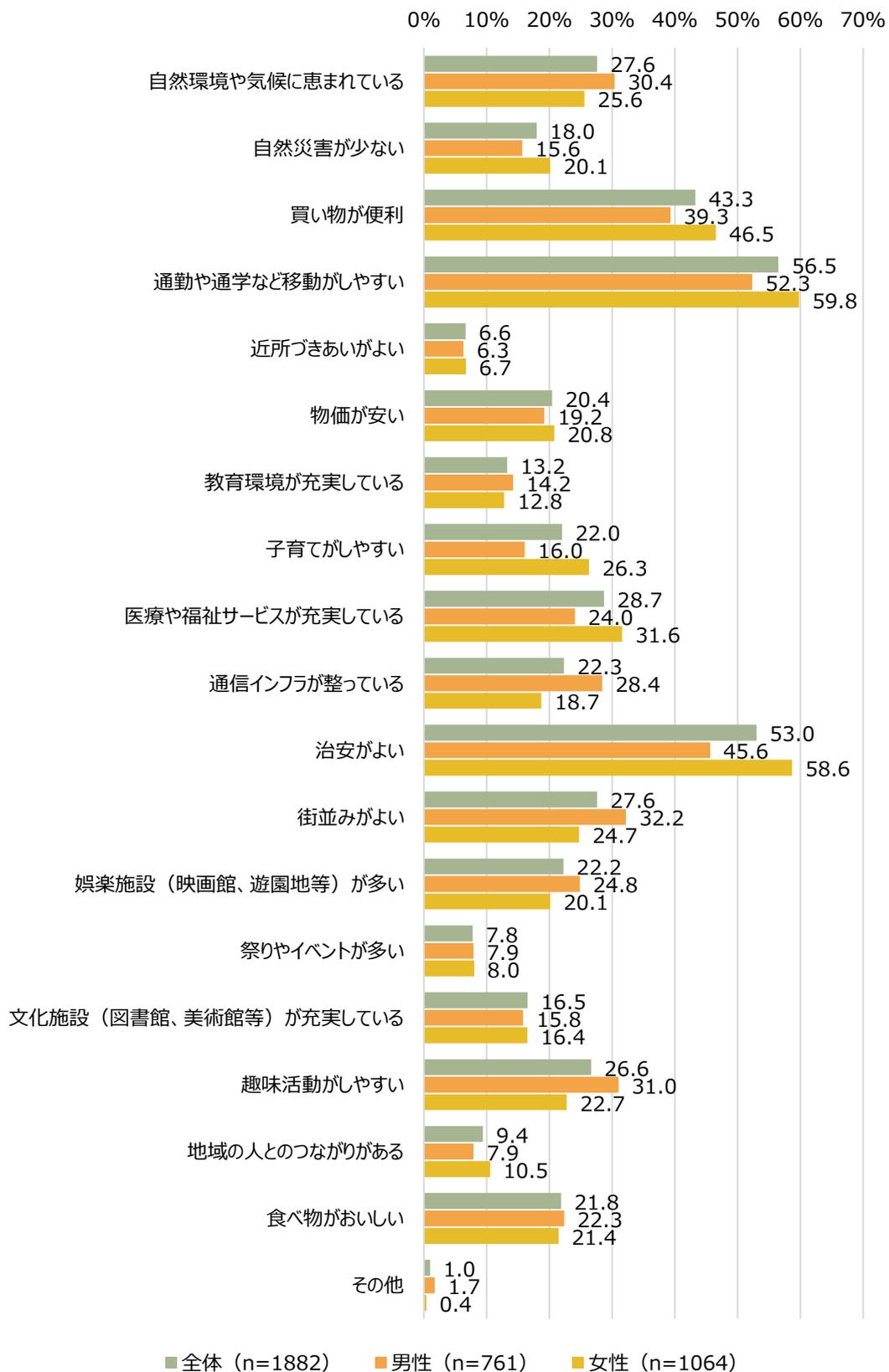
- 県内農林水産業、食品加工業への就業意向についてみると、「興味・関心はなく、検討するつもりもない（検討しなかった）」（64.8%）が最も多く、「検討の可能性がある」（「興味・関心はあるが、まだ検討したことはない」「興味・関心はないが、検討してみてもよい」の合計）（29.5%）、「就業意向がある、またはあった」（「検討している（既に決まっている）」「検討したが、他の業種を選んだ」の合計）（5.6%）の順となっている。
- 男女別でみると、男子学生、女子学生とも「興味・関心はなく、検討するつもりもない（検討しなかった）」（65.2%、64.0%）が最も多く、「検討の可能性がある」（「興味・関心はあるが、まだ検討したことはない」「興味・関心はないが、検討してみてもよい」の合計）（30.5%、29.2%）、「就業意向がある、またはあった」（「検討している（既に決まっている）」「検討したが、他の業種を選んだ」の合計）（4.3%、6.9%）の順となっている。
- 男女別で比較してみると、大きな違いは見られない。

Q26 宮城県では県内の農林水産業、食品加工業への就業支援や産業への理解を深める様々な取り組みを実施しています。農林水産業や食品加工業に関して、あなたが知っていることをすべてお選びください。



- 県が実施する農林水産業、食品加工業への就業支援策の認知状況についてみると、「いずれも知らない」(58.1%)が最も多く、「ヨーグルトやワイン、クレープなどの加工、販売を行っている農家がある」(21.3%)、「大学等で学んだ知識を生かせる多様な業務がある(企画、開発、営業、品質管理、輸出など)」(20.5%)が続いている。
- 男女別でみると、男子学生、女子学生とも「いずれも知らない」(60.3%、55.9%)が最も多く、「ヨーグルトやワイン、クレープなどの加工、販売を行っている農家がある」(17.7%、23.8%)、「大学等で学んだ知識を生かせる多様な業務がある(企画、開発、営業、品質管理、輸出など)」(17.0%、23.6%)が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「ヨーグルトやワイン、クレープなどの加工、販売を行っている農家がある」(23.8%)、「大学等で学んだ知識を生かせる多様な業務がある(企画、開発、営業、品質管理、輸出など)」(23.6%)が5ポイント以上高い。

Q12 あなたはどのようなまちに住みたい（住み続けたい）と思いますか。以下の中から、あてはまるものを5つまでお選びください。

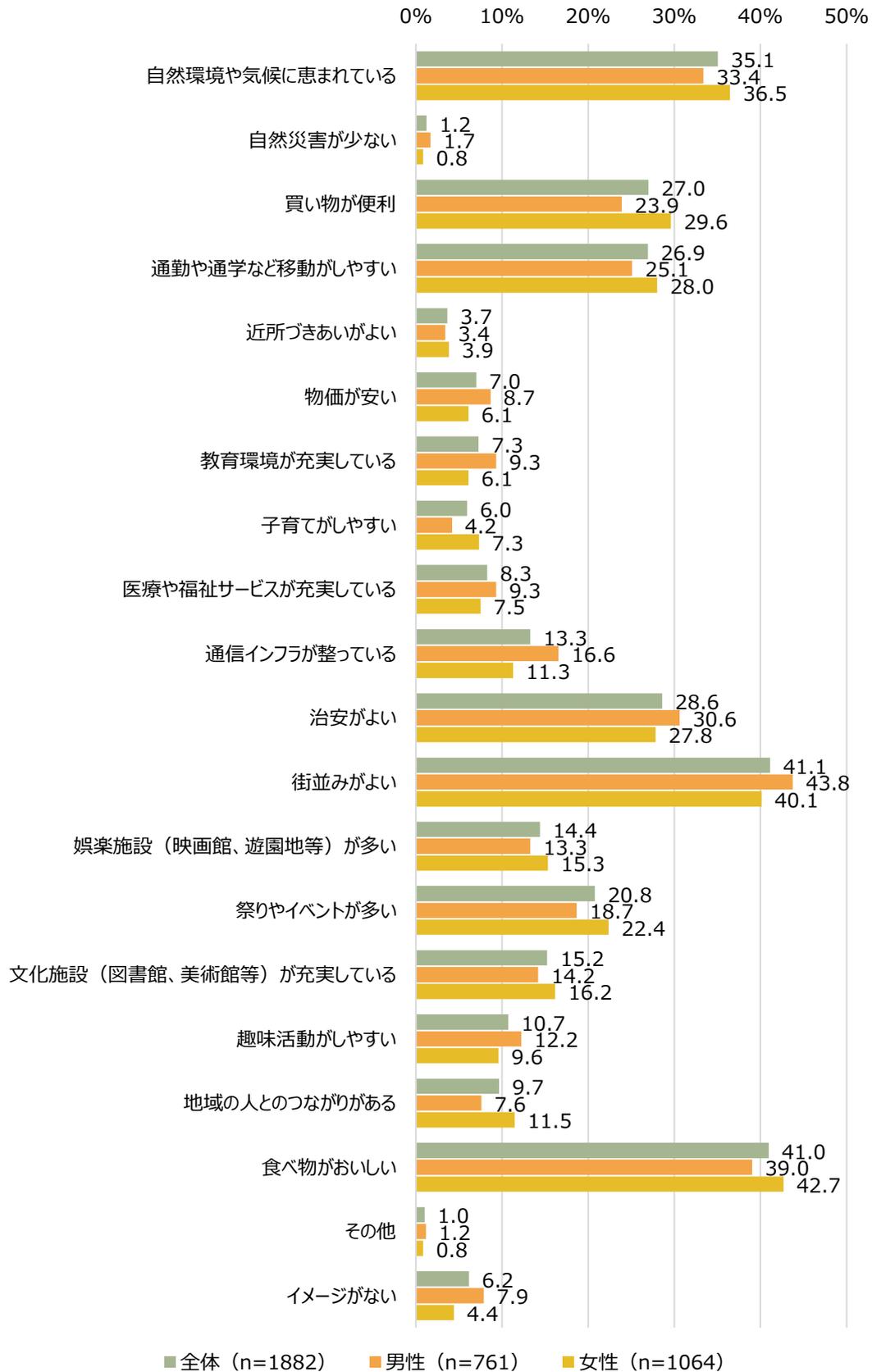


[Q12「その他」自由記述回答]

人が優しい
多様性に依った制度や公共施設のつくりかたをしている
街が賑わっている（ある程度の人口があり、今後急速に人口が減少する可能性が比較的低い）
都会
首都圏
人混みがない
人口が多すぎず少なすぎず適度である
勤めたい企業がある
広くて手頃な住まいの十分な供給がある
ライブの遠征がしやすい or ライブ会場が近い
友人が住んでいる
面白い
なんとなくいい感じ
人間関係が希薄な地域
気候が暖かい場所
自分が幸せだと思えるかどうか

- 住みたい（住み続けたい）と思うまちの要素についてみると、「通勤や通学など移動がしやすい」（56.5%）が最も多く、「治安がよい」（53.0%）、「買い物が便利」（43.3%）が続いている。
- 男女別でみると、男子学生、女子学生とも「通勤や通学など移動がしやすい」（52.3%、59.8%）が最も多く、「治安がよい」（45.6%、58.6%）、「買い物が便利」（39.3%、46.5%）が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「治安がよい」（58.6%）、「子育てがしやすい」（26.3%）が10ポイント以上、「通勤や通学など移動がしやすい」（59.8%）、「買い物が便利」（46.5%）、「医療や福祉サービスが充実している」（31.6%）が5ポイント以上高く、一方で「街並みがよい」（24.7%）、「趣味活動がしやすい」（22.7%）、「通信インフラが整っている」（18.7%）が5ポイント以上低い。

Q27 あなたが宮城県に持っているイメージについて教えてください。以下の中から、あてはまるものを5つまでお選びください。



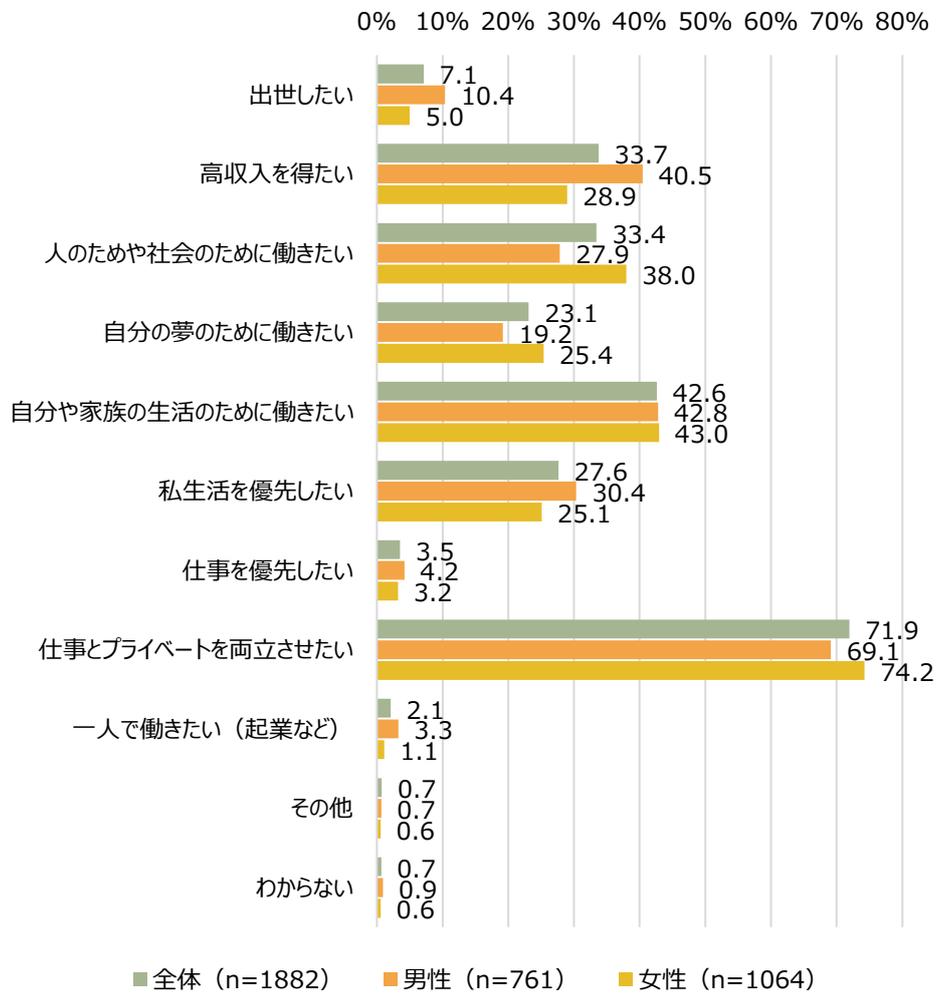
[Q27 「その他」 自由記述回答]

東北の中では都会
東北地区で一番栄えている。
プロスポーツが多い
不便
車がないと移動しづらい
仙台市の他は何もない田んぼのイメージしかない。
給与に対しての物価、家賃が高い
寒い・最低賃金が低い
教育に関する環境がよくない分、学生が県外に出ている
アニメや特撮のイベントが少ない
風が強い、地震が多い、電車が少ない、駅前(西口)しか栄えてない
公共交通機関が少なく、インフラも整っていない。住みづらい。変な人が多い。
災害が多く、冬寒い。嫌いじゃないがもういいかな。
災害が多い
程よい田舎
電車が通っている
仙台
杜の都

- 宮城県に対するイメージについてみると、「街並みがよい」(41.1%)が最も多く、「食べ物がおいしい」(41.0%)、「自然環境や気候に恵まれている」(35.1%)が続いている。
- 男女別でみると、男子学生は「街並みがよい」(43.8%)が最も多く、「食べ物がおいしい」(39.0%)、「自然環境や気候に恵まれている」(33.4%)が続いている。女子学生は「食べ物がおいしい」(42.7%)が最も多く、「街並みがよい」(40.1%)、「自然環境や気候に恵まれている」(36.5%)が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「買い物が便利」(29.6%)が5ポイント以上高く、一方で「通信インフラが整っている」(11.3%)が5ポイント以上低い。

(5) 将来展望に関する意向

Q13 社会人になったときに、あなたの考えで近いものを教えてください。以下の中から、あてはまるものを3つまでお選びください。

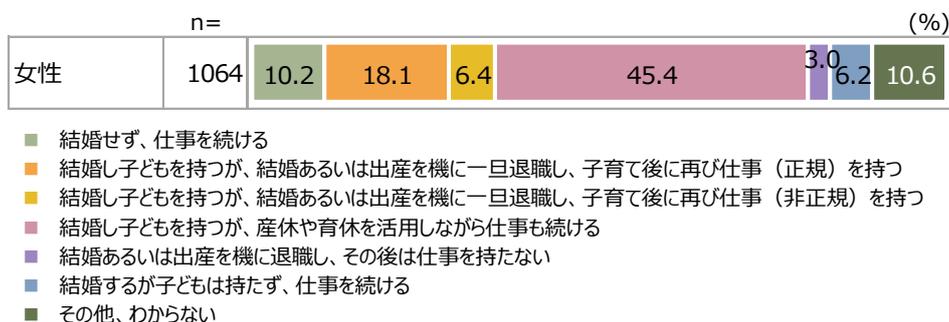


[Q13「その他」自由記述回答]

楽しいと思えることをやりたい
同期と楽しく働きたい
好きなことを仕事としてやりたい
新しいものを世に放ちたい
健康を害さず、生活に余裕がある状態で働きたい
持病があるがそれでも一人で生計を立てられる程度に稼ぎたい
持病があっても働きやすい所で働きたい
趣味を優先したい
趣味のためにお金を稼ぎたい
猫のために働きたい
できれば働きたくない
その時の気分とノリ

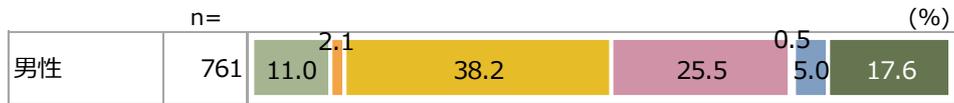
- 希望する働き方についてみると、「仕事とプライベートを両立させたい」(71.9%)が最も多く、「自分や家族の生活のために働きたい」(42.6%)、「高収入を得たい」(33.7%)が続いている。
- 男女別でみると、男子学生は「仕事とプライベートを両立させたい」(69.1%)が最も多く、「自分や家族の生活のために働きたい」(42.8%)、「高収入を得たい」(40.5%)が続いている。女子学生は「仕事とプライベートを両立させたい」(74.2%)が最も多く、「自分や家族の生活のために働きたい」(43.0%)、「人のためや社会のために働きたい」(38.0%)が続いている。
- 男女別で比較してみると、女子学生は男子学生に比べ「人のためや社会のために働きたい」(38.0%)が10ポイント以上、「自分の夢のために働きたい」(25.4%)、「仕事とプライベートを両立させたい」(74.2%)が5ポイント以上高く、一方で「高収入を得たい」(28.9%)が10ポイント以上、「私生活を優先したい」(25.1%)、「出世したい」(5.0%)が5ポイント以上低い。

Q28 あなたが将来希望する生き方について教えてください。



- 女子学生が希望する将来のライフコースについてみると、「結婚し子どもを持つが、産休や育休を活用しながら仕事も続ける」(45.4%)が最も多く、「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産を機に一旦退職し、子育て後に再び仕事(正規)を持つ」(18.1%)、「その他、わからない」(10.6%)が続いている。なお、結婚を希望する割合は79.1%、結婚を希望しない割合は10.2%となっている。
- 結婚あるいは出産を機に仕事を辞めた後に再就職する割合は24.5%となっている。

Q29 あなたが将来希望する生き方について教えてください。



- 結婚せず、仕事を続ける
- 結婚し子どもを持つが、子育てはパートナー（妻）に任せて、仕事を中心とした生活を送る
- 結婚し子どもを持ち、仕事を続けながら、できるだけ子育てに参加する
- 結婚し子どもを持ち、仕事を続けながら、育休を活用して積極的に子育てに参加する
- 結婚し子どもを持つが、仕事はパートナー（妻）に任せて、仕事を辞めて家庭を中心とした生活を送る
- 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける
- その他、わからない

■ 男子学生が希望する将来のライフコースについてみると、「結婚し子どもを持ち、仕事を続けながら、できるだけ子育てに参加する」（38.2%）が最も多く、「結婚し子どもを持ち、仕事を続けながら、育休を活用して積極的に子育てに参加する」（25.5%）、「その他、わからない」（17.6%）が続いている。なお、結婚を希望する割合は 71.3%、結婚を希望しない割合は 11.0%となっている。

■ 積極性の程度に関わらず子育てに参加したいと考える男子学生は 63.7%である。

### 3 インタビュー調査の結果

#### (1) 県内就職及び定着に関する考え方

##### ① 県内で就職を希望する理由

- 県内就職を希望する理由については、「宮城県、特に仙台市が好きであること」、「宮城県での生活に慣れ親しんでいること」、「県内もしくは東北で暮らす家族との心理的、物理的距離が近いこと」などの声が聞かれる。
- 一方、一部には「県内企業の多くは支店・支社のため、勤務地を県内に限定することでキャリアアップをあきらめざるを得ない」といった声もある。

##### 主なコメント

- ・（宮城県は）自分の故郷、馴染みがある。自分は慣れない環境に行くのはストレス。馴染みのある場所で働きたいと考えて、就職先を県内にした（4年生・男性・県内出身）
- ・もともと県内に就職したいという思いは強かった。祖父母も宮城県にいる。現在、祖父母の介護を母と協力してやっているので、就職しても何かあればすぐに行ける距離にいたいと思っていた（4年生・男性・県内出身）
- ・慣れ親しんだ土地から移動したくない。あまり変化は求めない。今まで成長したところで暮らしていきたい。あとは両親が好きだから離れたくない。できれば家から県内に通いたい（4年生・女性・県内出身）
- ・東京とか都会に出たら普通に生きているだけで疲れると思った。宮城も好きだし宮城県がいいと思う。自分はひとりっ子だから両親の介護が気になっていて、宮城県内にいればすぐに対応できて不測の事態にいいと思う（4年生・女性・県内出身）
- ・地元が好き。あまり都会過ぎるところ、田舎過ぎるところには行きたくない。都市もあってちょっと行けば山も海もある宮城県がちょうどいい。宮城県が好きだから出たくない（4年生・女性・県内出身）
- ・祖父母の家が岩手と東京にある。帰省するときに時間とお金がかかり、それが面倒くさい。宮城県なら帰省しやすいからいい。近くに両親、家族がいてくれるのは快適。東京は都会だからというのも共感するが、自分は家族との距離で宮城県、仙台がいいと思っている（4年生・女性・県内出身）
- ・大学進学で岩手県から仙台に来た。仙台は好きで来たが、新しい土地に一から関係性、土地を覚えて馴染んでいくのは大変だった。見知らぬ都市を転々とする生活は自分には難しい。転勤はない方がいい。仙台に長くいられたらいいと思う。岩手県に戻らないことについて、（宮城県は）仮に両親に何かあったときにすぐに戻れる環境だからいいと思った。隣の県だし、新幹線を使えば1時間かからない。1つの場所にとどまるのなら宮城県以外でもよいと思うけど、実家との距離も考えた（4年生・男性・県外出身）
- ・もともと東北の企業で探していた。それから出身地の山形と、宮城に絞って行って宮城県の

企業になった。希望する業種を山形と宮城で比べたら山形にはほぼなかったので宮城になった（4年生・男性・県外出身）

- ・ 仙台に住みたいから。自分は岩手出身。大学と同時に仙台に出てきた。とにかく仙台というまちが好き。これからもここに住みたい。その思いだけで仙台市内、宮城県内で就職したいと思った。実家はすごく田舎だから都会に憧れていて、仙台はちょうどいいまちだなと思っていた（4年生・女性・県外出身）
- ・ 自分は就職の勤務地を選ぶときに地元の福島市を出られればどこでもよかった。仙台は都会だし、大学にも通っていて馴染みがあった。東京以外で目につく都会というのは仙台だから仙台になった（4年生・女性・県外出身）
- ・ 大学から仙台に来た。仙台で一人暮らしを始めて、交通の便がいいし、物価も高すぎず、住みやすいまちだと思った。仙台が住み慣れているから仙台かなと思う。田舎で育ってきたからいきなり都会に行っても慣れない。便利だけど親しみのある街がいいから仙台を選んだ（4年生・女性・県外出身）
- ・ 会社説明会では転勤がある総合職と転勤がない地域職があって、総合職として地域から離れないとキャリアアップ、高い給料をもらえないんだとそだけ納得がいかなかった。このことは就活で何度も企業に言われた。地域にいてキャリアアップの幅がなくなることは納得がいかない。そこは気になる（4年生・女性・県内出身）
- ・ 東北は結局支店支社なので、役員になるような出世はそうそうできないだろうなとは思っている。役員になるなどチャンスがあれば挑戦はしたい（4年生・男性・県内出身）

## ② 県外で就職を希望する理由

- 県外就職を希望する理由については、宮城県が嫌いなわけではなく「一旦出てみたい」という変化を希求する声が多く聞かれる。さらに、県内企業では首都圏企業に比べ「給料・待遇が良くない」、「就きたい業種、職種の求人がない」、「成長、キャリアアップができない」などの意見がある。
- 将来宮城県への定住や戻るタイミングについては、定住する場所として宮城県を好ましく思っており、両親の介護のためのUターンを想定する声がある。

### 主なコメント

- ・ 宮城県の自分がやりたい業種は東京と比べて待遇が悪かった。もともと最低賃金が違う。同じことをやってもなぜこれだけしかもらえないんだろう？と思う。待遇が悪い。資格の支援制度もない。宮城県では途中まで成長できてもそこから先は成長できない。大規模なシステムにも触れられない。だから東京の企業がよかった。住む場所としてはめちゃくちゃ宮城はいいと思うが、仕事面では制約が多すぎる（4年生・男性・県内出身）
- ・ アパレル業界を希望していて、会社は圧倒的に首都圏の方がいい。自分が魅力だと思う会社、ブランドは仙台には出店、進出してない。だったら自分から行くしかないと思って県

外を考えている（3年生・男性・県内出身）

- ・ 数理統計学を使えるところは宮城県内にはなかったから県外にした。数理業務を担当する専門職がある保険、信託、コンサルなどは東京に集中しているから県外になった。その仕事ができるのなら宮城県も選択肢に入ってくるけど、クオリティにもよる。リモートでも対面の効果もある。専門職が集まっている東京には強みがあると思う（4年生・男性・県外出身）
- ・ （地域をよくするために）一旦外に出ないといけないという意識がある。それがないまま地元に残っていて何ができるのかといたら微妙。外で何かやって戻ってきた人にならないと残っていても何もできないと思う。外で働いてきて、肩書があれば、話を聞いてもらえる。仕事面では選べる職種の幅に制約がかかる。ほとんどの会社、大きい会社の本社機能は東京。キャリアアップ、昇進を考えると東京が選択肢になる。意図して変えられることではない。仕事では東京に天秤が傾く（3年生・男性・県内出身）
- ・ 宮城が嫌いということはない。でもこれからの人生を考えたとき、今までずっと宮城に住んでいたから出てみたいという気持ちがあって県外の就職先を希望した。今まで住んでいないような都会とか、逆にすごく田舎とか、極端なところに住んでみたい。自分の環境を変えてみたい（3年生・女性・県内出身）
- ・ どちらかという宮城を出たい。いろいろなところに住んでみたい。できるのなら都会に行きたいと思っている。今まで自分が住んでいたところは田舎。都会だと遊びに行ったり、いろいろなアクセスが充実しているから楽しそうだなという単純な考えで志望した。宮城は友達もいるし住みやすい。逆にここにいる理由もないという気がする。宮城でもいいけど他でもいいという感覚。絶対に宮城に帰りたいというわけではない。今まで住んできて、学生生活での友達、人脈もある。過ごしやすいなというものもある。もし定住するときは候補の1つになると思う（4年生・女性・県内出身）
- ・ 宮城を出てみたい。自分1人で生活をしてみたい。宮城県だと給料が安くなる。だったら宮城県にこだわることはないと思った。宮城県が嫌というより都市部の方が自分のやりたい仕事で取り扱える量、幅が多いと思って県外を志望した。金融系を志望している。宮城県では地銀が中心。今後の展望、見通しが立たなかった。都市部に行けば人口が多いし、扱えるお金の額も増えるから都市部の方がいいと思った。仙台は嫌いではない。むしろ住みやすく好き。可能なら将来的には仙台市に戻ってきたい。自分はひとりっ子なため、両親が高齢になったら戻るのがかなと思う（4年生・女性・県内出身）
- ・ 自分としては、特に首都圏が良いとか宮城が良いとかいった希望があったわけではない。企画という職種がやりたかった。宮城は支社や営業所ばかりで、本社があまりない。そのためキャリアを積むうえで宮城はデメリットが多いと感じた。やはりキャリアを積んでいきたいし、昇進もしたい。全国転勤のある東京本社の企業を選んだ。戻ってきたとき（転職）のためにもしっかりキャリアを積んでおきたい。宮城県は両親が最終的に住む場所だと思っているので、介護をきっかけに地元、宮城県で転職することもあり得るかと思っている（4年生・女性・県内出身）

## ③ 住む場所としての宮城県のメリット・デメリット

- メリットについては、「宮城県は都市としての“仙台市”と自然、観光地を擁する“仙台郊外”のバランスが良いこと」、「(仙台市の)都市機能が充実していること」、「街がコンパクトなこと」、「東京ほど混雑していないこと」、「家賃・物価がそれほど高くないこと」、「自然・観光地へのアクセスが容易なこと」などの声が多く聞かれる。
- 一方、デメリットについては、「仙台市郊外の交通の便が悪いこと」、「仙台市街地以外には車がないと何もできないこと」、「大規模なイベント会場が仙台市街地から離れているため移動が不便なこと」などの声が聞かれる。

## 主なコメント

## ■ メリット

- ・ 住む場所としてはめちゃくちゃ宮城はいいと思う。自分は人混みは苦手。疲れてしまう。宮城はそこまで人はぎっしりいない。快適に移動ができる。店も不自由はしていない。駅前に行けばだいたいある。満足している (4年生・男性・県内出身)
- ・ 住むという点では宮城は魅力的。住むという良さが宮城にはあると思う。自分がいいなと思っているのは町、市ごとに特徴があること。東京は渋谷、新宿、どの街に行っても機能は整っているけど特徴があるわけではない。何かしようと思ったら近場ですませればいい。それはつまらない。宮城は大都市的な機能を求めるときは仙台。観光的要素では松島、秋保。まちごとに推しているポイントが明確にあるから自分の移動圏が増えた楽しさがある (4年生・男性・県外出身)
- ・ 仙台は交通の便がいいし、商業施設、病院、大学病院もある。住む場所として便利。何かあっても行ける場所、遊べる場所がありながら適宜自然にも触れたい。東京、大阪で自然豊かな場所に行くのは一大イベントになってしまうのかなと思う。仙台ならすぐに自然豊かな場所に行けるのが魅力的 (4年生・男性・県外出身)
- ・ 仙台は都市だけど都市の場所がコンパクト。すぐに閑静な住宅地になったり、自然、観光地にもすぐに行ける。東京にも行ったことがあるが満員電車はダメ。地下鉄の路線地図も複雑。そのすべてが通勤では満員電車。身の置き場所がない。仙台は交通は整っているがバスも電車も東京ほどぎゅうぎゅうにならない。人は多いけど多すぎないというのが大都市にとっては珍しく魅力的だと思う (4年生・男性・県外出身)
- ・ 東京だと都会すぎて自分が住みたいまちではない。混んでいたり、並んでいたり、人が多くてあまり好きではない。その中間で仙台がちょうどよかった。家賃や物価がそこまで高くない。ちょっと移動すると温泉、海、山がある。それで自分が住みたいまちになっていった。住むのに適している。旅行とかではなく、自分の生活基盤をおくのに適しているという意味。いいまちだなと思う (4年生・女性・県外出身)
- ・ 仙台は暮らしやすそう。物価、家賃も高くない (4年生・女性・県外出身)
- ・ 仙台はほどよく都会。忙しすぎない。何もないわけでもないから好き (4年生・女性・県内出身)

- ・ ほぼ都会なのも住みやすくいいと思う（3年生・女性・県内出身）
  - ・ 仙台は駅前に商店街があるからめっちゃくちゃ買い物をしやすい。まちも密集している。買い物をしたあとにホールがあってイベントにも行ける。ライブハウスは仙台駅から 500m の間に密集している。プライベートも充実する。仙台はイベントもあってほどよく都会（4年生・女性・県外出身）
  - ・ まちがあって山、海があって自然が豊かというのがちょうどいいと思っている。宮城県は東北の中では一番栄えている。ライブ、イベントも東北だったら仙台、宮城。会場が近いのがいいと思う（4年生・女性・県内出身）
- デメリット
- ・ 電車の本数は少ないしアクセスは悪い。（アクセスの良さとして）本数とか乗り換えの数が気になる。自分の地元から仙台駅に行くとき、乗り換えが 1 回ある。仙台から全然距離はないのに乗り換えがある。乗り換えも本数が少ない。車を持っていない学生が休みの日も遊びに行けるようになると宮城も魅力的になるのかなと思う（3年生・女性・県内出身）
  - ・ 少し郊外に行くだけで、交通の便が悪くなる（4年生・女性・県内出身）
  - ・ アクセスの良さは時間より本数だと思う。あとは複数路線があって 1 つ止まっても代替手段があるということだと思う（4年生・女性・県内出身）
  - ・ 場所によってはバスの本数が少なくて交通の便が悪い。大学とかの地下鉄も東西線は運賃が高い（4年生・男性・県内出身）
  - ・ 宮城県は市街地以外は車がないと何もできない（4年生・女性・県内出身）
  - ・ 生活するとき仙台市付近は栄えているけど、そこから離れると欲しい物を取りそろえられないことが弱みだと思う（4年生・女性・県内出身）
  - ・ 宮城県の郊外には住みたくない。仙台に住んでいて遊びに行ける距離としては郊外は魅力。郊外があることが仙台の魅力になっている。そこにアクセスしやすいことが仙台に住みたいと思わせる魅力になっていると思う（4年生・女性・県外出身）
  - ・ 宮城県でのライブはセキスイハイムスーパーアリーナ。でも遠い。東京とか千葉は駅の近くにライブ会場がある。会場の近くに駅ができたりする。宮城県でエンターテインメントを展開する場所のアクセスが悪いと気軽に追いかけるられない（4年生・女性・県内出身）

#### ④ 定住したいと思うまちの条件

- 定住したいと思うまちの条件については、「交通の便が良いこと」、「災害が少ないこと」、「治安が良いこと」、「買い物がしやすいこと」などの声が多く聞かれる。
- 一方、子育てのしやすさについては、「性別関係なく子どもを育てやすいまちだったらいい」という声がある。

#### 主なコメント

- ・ 公共交通機関の便がいいこと。治安がよくてうるさすぎないで安心して過ごせるところがいいと思う（4年生・男性・県内出身）
- ・ 最近は豪雨とか災害が頻発している。災害が頻発しないまちが住みやすいと思う。災害が多い日本という国だからこそ災害が少ないまちに住みたいと思う（4年生・男性・県内出身）
- ・ 都市としての便利さを持ちながら自然に近い環境がいい（4年生・男性・県外出身）
- ・ 安全で便利なまちというコンセプト。そもそも日本は危険な国ではないけど、便利なまちがいい。犯罪、事故が少なく、安全で平和に暮らしていけるまちがいい（4年生・男性・県外出身）
- ・ 飽きがこないことと交通の便がいいこと。飽きがこないのは魅力的なスポットがたくさんあること。でも交通の便が悪くて行きにくかったら意味がない。魅力的なスポットがいっぱいあって交通の便がいいと愛着がわいてきて長く住もうと思うのだと思う（3年生・男性・県内出身）
- ・ 愛着を持てるかどうか大きいと思う。まちの一員だと実感できる場が必要だと思う。コミュニティスペースの場とかまちが一丸となって動く場とか。何かしら自分が構成員の一員だと思える場があれば愛着を持って結果的に長く住めるようになるのだと思う（3年生・男性・県内出身）
- ・ 住むのなら静かで落ち着いたところがいいなと思っている。都会にもアクセスしやすく、自分が住むところは落ち着いている。そういうちょうどいいところに住みたいと思っている（4年生・女性・県内出身）
- ・ 交通のアクセスがいいところが住みやすいと思っている。治安のいいところに住みたい（4年生・女性・県内出身）
- ・ 交通の便が良いこと、街の景観が良いこと、これらのバランスが取れているまちが良いと思う（4年生・女性・県内出身）
- ・ 交通の便がいいこと。1つのところで買い物、趣味のことが全て短時間に終わるまち。人が多すぎない。家賃、物価が高すぎないまち。そういう規模感が自分が定住したいまち（4年生・女性・県外出身）
- ・ ほどよく都会。新幹線が止まる。交通のアクセスは大事。商店街もあると嬉しい。更に加えるとしたら治安のいいまち。最近、いろいろ事件があって怖いと思う。そのあたりの治安のいいところに住みたいと思う（4年生・女性・県外出身）

- 交通の便がよくて、ほどよく人がいて、買い物にも困らないけど物価、家賃が高すぎない。治安がよければいいかなと思う（3年生・女性・県外出身）
- 結婚して子どもがほしいと思っているけど、どういうまちだったら育てやすいのかあまり実感がわからない。女の人だけが家で子育てしないといけないのは嫌だなと思う。性別関係なく子どもを育てやすいまちだったらいいなと思う（4年生・女性・県外出身）
- ホールとか大きなイベント会場へのアクセスがいいことは大事だと思う（4年生・女性・県外出身）

## (2) 就職活動の実態

### ① 就職活動の状況

- 就職活動の状況については、3年生の4～6月に開始し、夏季インターンシップ、合同企業説明会への参加を経て、エントリーシートの提出、企業面談、選考というパターンが多い。
- インターンシップも含めた接触した企業数は10～40社と幅が見られる。
- 内々定の時期については4年生の4～5月と答えた学生が多い。

#### 主なコメント

##### ■ 4年生

- ・ 就職活動は3年生のはじめの頃から。3年生の4月から学校のイベントや集まりなどがあり、なあなあでやっていた。本格的に始めたのは去年の夏とか冬からだった。内定をもらったのは本当に最近。7月の頭（4年生・男性・県外出身）
- ・ 就職活動は3年生の4月から始めたが、本格的には3月から開始。宮城県企業を中心に就職活動を行い、合同説明会で説明を聞いた企業は40社程。エントリーシートは30社程書いた。本選考に進んだのは15社程度。5月頭に内定をもらった（4年生・男性・県内出身）
- ・ 3年生の6月ぐらいに夏のインターンに参加し始めて、本格的に始めたのは3年生の12月ぐらい。内定をもらったのは5月ぐらいだった。（接触した企業は）30以上ある気がする。面接を受けたのは20弱ぐらい。内定をもらったのは3社（4年生・女性・県内出身）
- ・ 3年生の5月ぐらいから始めた。20社程接触して、内定は4年生の5月から6月にかけて4社から出た（4年生・女性・県内出身）
- ・ 本格的に動き出したのは3年の6月。就職活動ナビがあってそこに参加した。4年の6月いっぱいまで就活を終えた。接触したのはインターンを含めると30～40社。面接に進んだのは20社程度だった（4年生・女性・県内出身）
- ・ 3年生の6月頃から合同企業説明会とかインターンシップに参加した。最終的に決まったのは4年生の5月の下旬。それまではずっと継続して説明会、就職セミナーを受けていた（4年生・女性・県外出身）
- ・ 就活はインターンシップをカウントすると3年生の8月から。早期選考を受けたから内定は4年生の4月ぐらいに出た（4年生・女性・県内出身）
- ・ 就職活動を本格的に始めたのは3年生の8月。内定をもらったのは4年生の6月はじめだった（4年生・男性・県内出身）
- ・ 就活は3年生の10、11月。4年生の5月の前半に終わった（4年生・男性・県外出身）
- ・ 就活を始めたのは3年生の2月で4年生の6月に内定をいただいた。接触したのは全部で12社ぐらい（4年生・男性・県内出身）
- ・ 就活を本格的に始めたのは3年生の3月から。3社から内定をいただいたがいまいち決めきれず就活を続行するか止めるか悩んでいる。その企業に入ってうまく働いていけるの

か？雇用条件や福利厚生を見て悩んでいる（4年生・女性・県内出身）

- ・ 就活は大学に入る前からずっと公務員になりたいと思っていた。公務員試験の勉強は3年生から始めたが、4年生になる3月の模試で心が折れた。これではまずいと思って4年生になった4月に初めて民間を見始め、やりたいことは決まっていなかったが就活を始めた。内定をもらったのは5月末。1カ月半で就活は終わった（4年生・女性・県外出身）

#### ■ 3年生

- ・ インターンは2年生の夏ぐらいから始めた。3年生の5、6月から業種をどうするか考えたり、短期のインターンに応募した。7月、8月に選考があって、9月実施という感じ（3年生・男性・県内出身）
- ・ 5月の末に学校で就職セミナーが始まって、本格的にサイトを見始めた。まず自分が何をやりたいのか考えている（3年生・女性・県内出身）
- ・ 3年の5月ぐらいから動き始めて、今はエントリーシートを中心に書いている（3年生・男性・県内出身）
- ・ 6月からサマーインターンの詳細を調べたり、応募したりしている（3年生・女性・県外出身）

## ② 就職したい企業の条件

- 就職したい企業の条件については、「自分が成長できること」、「ワーク・ライフ・バランスが確保できること」、「風通しの良い職場であること」、「福利厚生がしっかりしていること」などの声が多く聞かれる。
- 具体的な福利厚生制度については、「住宅手当」や「資格支援制度」など金銭的なサポートを希望する意見が多い。その他、「給料」や「休日数」、「離職率」、「残業の少なさ」も重視しているとの声もある。
- 女子学生からは「給料は20万円以上、年間休日は120日以上」といった具体的な条件も聞かれる。

### 主なコメント

- ・ まずは自分がやりたいことか。自分が成長できるのか。あとは待遇面。給料、福利厚生。新しい会社では長く働いているのか、すぐに辞めていないか。離職率を見た。会社は東京だけどほぼリモート。手当は出るのか。住宅手当、資格支援制度、リモートの手当て、必要なときにどれぐらい出るのかを重点的に見ていた（4年生・男性・県内出身）
- ・ 堅くない。伝統を守ってきたというよりは新しいことに挑戦している企業を魅力に思っている。今から伸びそうなブランドを取り扱っていたり、発掘している会社が魅力的だと思う。給料は高ければ高いにこしたことはないけど、そこはあまり意識していなかった（3年生・男性・県内出身）
- ・ この時期重視したいのは、コロナ等々の社会問題がある中、これからこれが収まらずにやっ

ていけるのかどうか。会社の持久力、業種面で影響があるのかどうかを見ないといけないだろうなと思っている（3年生・男性・県内出身）

- ・ 一番最先端の知識を得られるのかどうかを意識した。そうなる海外からの情報が素早く手に入る会社。そうなるに限られた。待遇面はあまり意識しなかった。でも新しい知識となると大きい会社になるから待遇面もそうなっていった（4年生・男性・県外出身）
- ・ 働き方として自分のプライベートの時間を大切にできる。仕事と自分の時間を両立できることを1つの軸として考えていた。社員の多様性を尊重していること。障がい者や外国人とか就職弱者と言われる人を積極的に採用し、様々な人材が活躍できるように援助している会社はワーク・ライフ・バランスと並んだもう1つの企業選びの軸だった。少数者にも目を向けられるからこそ多数の社員にも目を向けて一人一人の社員を尊重、慮って働かせてくれるのではないかと考えた（4年生・男性・県内出身）
- ・ 学んできたことを活かせること。自分は工学部で情報の学科。情報の知識とかPCスキルを活かせる企業にしたいと思って就活をした。そのほか、表向きとしては自分の知識、スキルを活かせること。裏向きにはホワイトであること。残業が多くないこと。プライベートな時間をもてること。ワーク・ライフ・バランスを考慮して調べて決めた（4年生・男性・県外出身）
- ・ 風通しのよい職場で働きたい。一緒に働く仲間や部下の声を聞けずに自分でガンガン進める職場だとどこかで壁にぶつかって限界がきてしまうと思うから一緒に働く人たちで協力できる体制のある企業がいいと思っている。給料はもろもろ含めて20万はほしい。福利厚生は仮に県外に転勤になったときは社宅や家賃補助があるところがいいと思って探している（4年生・女性・県内出身）
- ・ 過去3年間に男性と女性の採用にどれぐらい差があるのかは見た。男性が多いと女性は活躍できないのかなと思った（4年生・女性・県内出身）
- ・ 給料もそうだが福利厚生がしっかり整っているところがいい。休みはしっかり週2日あるところ。時間外勤務の手当てがあるところ。その説明がしっかりあって実績があるところがいいと思う（4年生・女性・県内出身）
- ・ 就活中にいろいろ考えて自分は趣味が大事だから休み、休日がある、年間休日が多いことを考えていた。お給料は20万ほしいと思った（4年生・女性・県内出身）
- ・ お休みがとれること。年間休日を見た。平均より上のところが絶対にいいと思った。115日以上がいいと思った。それぐらいなら週休2日で休めると思った（4年生・女性・県外出身）
- ・ ワーク・ライフ・バランスを大事にしたいから休みをとれる会社がいい。残業時間が少ない会社がいい。福利厚生がしっかりしていればなおいいと思っている。家賃補助とか金銭面のサポートが給料以外にあると充実しているなど思う（4年生・女性・県外出身）
- ・ 福利厚生と、社員の雰囲気とか社風を重視した（4年生・女性・県内出身）
- ・ まずは自分がやりたい、興味を持てる仕事内容を重視した。条件は給料と休日数を見た。あと離職率があまりにも高いところは怖い。給料のラインはとくに引いていなかったが、一

人暮らしをする前提でそのまちで暮らしていけるのかをネットで見て、それより高いか低いかを見ていた。休日数は最低 120 日はないと働いていて辛くなるかもと先輩に聞いたからそれを基準に見ていた（4 年生・女性・県内出身）

### ③ 就職活動の相談相手

- 就職活動の相談相手については、大学の先輩や卒業生などが多く、就活経験者の声を参考にしているという意見が聞かれる。
- 両親への相談は一部にとどまる。

#### 主なコメント

- ・ 学校の卒業生やバイト先で就活を終えた先輩（4 年生・女性・県内出身）
- ・ サークルの先輩や「エンカレッジ」という学生団体で知り合った先輩（4 年生・女性・県内出身）
- ・ 大学の就職支援課や学生団体「エンカレッジ」の先輩（4 年生・女性・県内出身）
- ・ ゼミの先生や部活の先輩、兄弟（3 年生・女性・県内出身）
- ・ 就活が始まる前から両親、特に母親から特定の企業を勧められた（4 年生・男性・県内出身）
- ・ 両親に相談することは多い（3 年生・男性・県内出身）
- ・ 全部自分で決めて突っ走った（4 年生・女性・県内出身）
- ・ （誰にも）相談していない（4 年生・女性・県内出身）

### ④ 希望する就職先の規模

- 希望する就職先の規模については、大企業から中小企業まで様々だが、女子学生からは規模にはこだわらないといった声も聞かれる。

#### 主なコメント

- ・ どちらかといえば大企業を見た。仙台で働ければ東京に本社があってもいい。仙台で働けて大きめな会社がいいと思った。完全に安定志向。大企業なら大丈夫だろうと思った。仙台支社があればなお最高だと思った（4 年生・男性・県外出身）
- ・ コロナ等々の社会問題があるなか会社の持久力を考えると、会社の規模は大きい方が安定している。今の時期のスタートアップは危ないところもあるのかなと思って意識している（3 年生・男性・県内出身）
- ・ 一番最先端の知識を得られるとなると大きい会社になる（4 年生・男性・県外出身）
- ・ 新しいことに挑戦できるのは小さい会社。少数の会社の方がそういうことには向いているのかなと思って魅力に感じている（3 年生・男性・県内出身）

- ・ 会社の規模自体にはこだわりはない（4年生・女性・県内出身）
- ・ （会社の規模は）結果的なもの。仙台で希望する職種（SE）を調べると中小企業が多い。中小企業がいいのではなく、中小企業の方が多かったということ（4年生・女性・県外出身）
- ・ 決まったところが中小だった。福祉関係は地域に密着していて一人一人にサービスする仕事。だからそれで大企業というのはアンバランスさがある。どちらかというとなんか小さなお店の方が地域密着でサービスを提供できるのかなと思った（4年生・女性・県外出身）

### (3) 就職活動における企業の印象

#### ① 印象の良かった企業

- 就職活動を行う中で印象の良かった企業については、学生一人一人に合わせて適切なサポート（先輩社員との座談会、社員訪問）を行ってくれる企業、説明会で社員から職場の雰囲気の良さが感じられる企業、職場の働き方の実際を包み隠さず教えてくれる担当者がある企業などとの意見が聞かれる。
- 面接において経営トップが直接対応してくれる企業や、採用担当者が対等に接してくれる企業、説明会や面接などでオンライン化が進んでいる企業も好印象につながるの声もある。

#### 主なコメント

- ・ こういうところが不安だと言ったら会社の先輩の話を聞く座談会に参加させてもらったり、そういうサポートをしてくれたところに好感を持った（4年生・女性・県内出身）
- ・ 説明会の雰囲気や社員同士の会話の雰囲気に着目していた。社員同士がフラットな関係で、リラックスした雰囲気があり、しかもそれが作りこまれていない自然な感じがしたので今の会社を選んだ。ディズニーランドのキャストのように作りこんだ対応の会社は多い（4年生・女性・県内出身）
- ・ 人事担当とのやりとりがすごく面白かった。社員訪問も気持ちよく受け入れてくれ、希望する職種の担当者との時間（1時間）を取ってもらうなど、よく対応してくれた（4年生・女性・県内出身）
- ・ 説明会で実際に働いている人の話を聞いた。福利厚生とか休日とか何も隠さず話してくれる社員がいた会社があって、そこは信用できるなと思った（4年生・女性・県内出身）
- ・ （面接の際に）相槌を打ってくれる会社さんは印象がよかった。内定をもらって決めた会社は相槌もあったし、ちゃんと話を聞いている感じがした（4年生・女性・県内出身）
- ・ 面接中でも面接官ではなく一社会人として対等に話してくれる方は印象がよかった（4年生・女性・県外出身）
- ・ 技術的な質問をしたり、されたりした。自分が話しているときにちゃんと聞いてくれる会社は印象がよかった（4年生・男性・県内出身）
- ・ 「面接上手でなくてよく、人として学生時代何をしてきたか、あなたの中身を聞きたい、普段どおりで良い」、と言ってくれた会社は印象が良かった（4年生・男性・県内出身）
- ・ 宮城だからこその特長ではないかもしれないが、東京の企業と比較して代表者との距離が近いのは魅力。インターネットや会社説明会でも社長さんが来て説明してくれるケースが多かった。社長さんが従業員と近いところまで降りてきてくれて話せる。社長さんが人を大事にしているのかなと思う。宮城だけではないかもしれないけど大企業との比較でそう感じた（4年生・男性・県外出身）
- ・ 説明する人達が楽しそうにしている会社、説明自体を工夫して、説明も手際が良く聞く側

も飽きずに聞くことが出来るような会社は、説明会が終わった後エントリーしたい、面白いと感じた（4年生・男性・県内出身）

- ・ 連絡が早い企業は印象がよかった。面接について送るとすぐに連絡がきた企業は仕事でも滞りなくやっているということだからいい印象だった（4年生・女性・県外出身）
- ・ 今はほぼオンライン。オンラインでやっていてサクサク進めていける企業はあった。会社のITスキルが見える。それがスムーズにできている企業は好印象だった（4年生・女性・県内出身）
- ・ 交通費をくれるところはよかった（4年生・女性・県外出身）

## ② 印象の悪かった企業

- 就職活動を行う中で印象の悪かった企業については、オンラインツールが使いこなせなかったり、メールではなく電話での連絡や対面での対応が中心であったり、採用におけるIT化が遅れている企業などとの声が多く聞かれる。
- また、面接やインターン中に過度な地元話で盛り上がりとうとするなど受け答えや対応が軽い企業、面接で対等に接してくれようとしめない企業、説明会や面接などの本気度が足りない企業も印象が悪いとの声がある。

### 主なコメント

- ・ （県内企業）会社説明会はZoomのオンラインで行われた。招待リンクのメールが当日の開始時間になっても送られてこない。Zoomが始まって、社員さんの説明の段取りが悪い。向こうはてんてこまい。会社説明会は会社の入り口。そこで「これはどうだったっけ？」というのを見せられたらこっちも困る。この時点でここはないなと思った（4年生・女性・県内出身）
- ・ （県内企業）オンラインの面談では接続トラブルがあった。トラブルの原因は会社だったのにこっちが原因という感じにされた（4年生・女性・県内出身）
- ・ （県内企業）もともと宮城県の企業は県内に住んでいる人が受けるものというのがあるのだと思う。こんな時期だしリモートでもよかったのではないかと思う（4年生・女性・県外出身）
- ・ （県内企業）宮城県に支社がある企業の面接は対面だった。内定承諾書を受け取る時も対面だった。そこしか受けていないけど、近いと対面になるのかなと思った。オンラインの方がよかった（4年生・女性・県内出身）
- ・ （県内企業）リモートで済むのに何で宮城県の会社はわざわざ行かないといけないんだろうと思った（4年生・男性・県内出身）
- ・ （県内企業）連絡手段が電話しかなかったこと（4年生・女性・県外出身）
- ・ （県内企業）会社のパンフレットを見るとスローガンに「オレの、、、」と書いてあった。これって男性社会だなと思った。女性の活躍にこだわりはないけど、だからといって男性が優

位に立つ会社には入りたくない（4年生・女性・県内出身）

- ・（県内企業）面接の採用担当の方の話方がラフすぎたところ。「〇〇すか？」といった口調だった（4年生・男性・県内出身）
- ・（県内企業）地元のノリみたいな感じが多かった。出身地や出身校の話がされたが、自分はあまりついていけなかった。このことも宮城県でなくてもいいと思った要因の1つだと思う（4年生・女性・県内出身）
- ・（県内企業）出身地について話すと「どのへんなの？」と聞かれた。宮城出身で宮城の会社に進む人が多いから。最初、アイスブレイクな感じで軽く聞かれるのならいいけど、就活に関係あるのか？と思うような個人情報まで聞かれると「違うな」と思った（4年生・女性・県内出身）
- ・（県内企業）インターンシップや人事の印象は良かったが、二次面接のときに直接、「うちじゃなくても良いのでは？」とか、「保険等（別な会社）の方が良いのでは？」とか言われた。自分は真剣に面接に臨んでいるのにと感じた（4年生・女性・県内出身）
- ・（県内企業）担当者がオープンスペースでオンライン面接をしていたのか、後ろから大きな笑い声が聞こえてきた。ちょうど志望理由を説明するタイミングで、笑い声を聞いて頭が真っ白になった（4年生・男性・県内出身）
- ・（県内企業）相槌がないとすごく負担を感じる。審査だけどずっと相槌もなく聞かれているとちゃんと聞いてくれているのか不安になる。就活だけどこっちが上だからという態度を出すのはどうだろうと思う（4年生・女性・県内出身）
- ・（県内企業）エントリーしたくないと感じた企業は、説明会にける本気度が低いような会社。聞く側も興ざめするし入りたい気持ちもなくなる（4年生・男性・県内出身）
- ・技術的な話などそんなの当たり前と高圧的だったところは印象が悪かった（4年生・男性・県内出身）
- ・企業の旅行などが多いところも避けたい。仕事とプライベートは分けたい。仕事の人間関係を自分の時間にまで持ち込んで考えるのは嫌（4年生・男性・県内出身）
- ・（県内企業）役員の方と面接をしたら昔ながらの飲み会を重視していた。会社の雰囲気、会社で休日集まってBBQをしたり。自分は休日はプライベートで過ごしたいから自分とは合っていないと思った（4年生・男性・県外出身）
- ・宮城県は行政の下請けの会社が多い感じがした。東京は民間の下請けだけど、宮城県は行政系の仕事が多くて堅いイメージがあった（4年生・男性・県内出身）
- ・（県内企業）一人一人の専門性が低い。1人が担当する仕事の幅が広い。営業もやって専門的なこともやって。だから深掘りしていけない感じ（4年生・男性・県外出身）

## (4) 就職活動の情報収集

### ① 情報収集の方法

- 就職活動の情報収集については、「マイナビ」「リクナビ」「キャリアタス」などの就活情報サイトを利用した学生がほとんどである。中でも「マイナビ」はコンテンツが豊富で使いやすいとの声がある。  
大学就職部・キャリアセンターのサービスを活用して就職活動に必要なスキルの習得や企業情報の入手をしたとの意見も聞かれる。
- オファー型就活サイトは、志望していない業界からのオファーによる業界選択の視野の広がりや、自身に興味を持った企業からのオファーが就活への自信につながるという声もある。

#### 主なコメント

- ・ インターネット中心でマイナビ、リクナビ、キャリアタスを使って集めた。特に、マイナビは使いやすいと思った。年収や条件を選んで、スクロールしたときに（情報が）出るようになっている。いちいち開けなくても見られる。就活会議というのを見ていた。そこで受ける予定の企業の他の人の体験談を見て対策していた（4年生・女性・県内出身）
- ・ リクナビ、マイナビ、JOBTV、ワンキャリアに登録した。ワンキャリアは面接で聞かれることが過去の傾向からわかったり、エントリーシートも自分が文章にできないときに、見本をもらって参考にした（4年生・女性・県内出身）
- ・ マイナビ、リクナビ、キャリアタス、オファーボックス、ワンキャリア、就活会議。Webもアプリも両方使用していた。大学からやるように言われていた。オファーボックスは企業からスカウトが来るもので、企業からスカウトが来ると自分に対して興味関心を抱いてくれることがうれしかった（4年生・女性・県内出身）
- ・ 企業探しの段階ではマイナビ。リクナビも見ていたけど内容は同じだから見やすいマイナビがメインだった。企業が決まってから企業のホームページも見た（4年生・女性・県内出身）
- ・ リクナビ、マイナビ、キャリアタスのアプリは入れて情報収集した。スマホでサイトを見ることが多いから、スマホ用のサイトになっていると見やすかった（4年生・女性・県外出身）
- ・ マイナビをメインに使用している。あとは興味がある企業に関しては直接ネットで調べて、企業が発信しているYouTubeを見た（4年生・女性・県内出身）
- ・ 企業が自分のプロフィールを見てオファーしてくれるオファーボックスを使った。自分はそれで内定した。自分で探すのには限界がある。知らない会社を知れたのが良かった（4年生・男性・県内出身）
- ・ 説明会予約はマイナビ、リクナビ、キャリアタスを使用。企業自体の情報収集は、就活の口コミサイトや大学にあった就活四季報をチェックしていた（4年生・男性・県内出身）
- ・ 就活のスキルを身につけるときはマイナビ2023をよく利用した。でも求人サイトはサイト

ごとに置いてある求人が様々、多岐にわたるので、1つのサイトにこだわりすぎずいろいろなサイトを見ようと心がけた。就活準備で一番コンテンツが豊富だったのはマイナビ 2023 だった（4年生・男性・県外出身）

- ・大学の就職支援の方からアドバイスを受けていた。その他にも、エンカレッジという就職支援団体の東北支部で1年上の先輩のアドバイスを活用していた（4年生・女性・県内出身）
- ・大学にも就職支援サイトがあって、そこに気になる業種を登録するとメールがきて、そこから企業に飛んでいた（4年生・女性・県内出身）
- ・就活の基本、自己分析、企業選びは大学のセミナーで情報を得た（4年生・男性・県内出身）
- ・大学に来た求人を教授とかに聞いた（4年生・男性・県内出身）
- ・一番使ったのは大学のサービスとかサイト。3年生のはじめから月1で。自己分析のやり方、企業の選び方、シートの書き方の講習があったから積極的に参加していた。4年生になってからもキャリア支援課がやっている相談があった。学校にくる求人、説明会も学校のホームページで見られた。そういった情報収集も大学のサービスが対応していた（4年生・男性・県外出身）
- ・外資就活。専門職が出ている就活情報は外資就活。理系のものもあったけど使わなかった。インターンに参加してそのあと座談会があるから、そこで企業の方から他の会社についても聞いた（4年生・男性・県外出身）

## ② 就職活動における SNS の具体的な活用方法

- SNS の具体的な活用方法については、「就活 LINE オープンチャット」は他の人の選考状況や就活の取り組み方などの情報収集に、「YouTube」は面接練習のために活用しているとの声が聞かれる。

### 主なコメント

#### ■ LINE

- ・オープンチャット機能で今受けている人の流れが見られた（4年生・女性・県内出身）
- ・就活関連のアカウントがあって、自己分析シートを配布していてそれを使った（4年生・女性・県内出身）
- ・オープンチャットは結構活用した。面接の結果はいつくるのか見えない。そこを見れば他の人がいつきたのかわかるから活用していた（4年生・男性・県外出身）
- ・LINE のオープンチャット（匿名で情報交換）で就活生同士の情報交換はしていた。具体的な企業の具体的な質問なども明記して情報交換がされていた（4年生・男性・県内出身）
- ・企業の方とやり取りすることはあった（4年生・女性・県外出身）

#### ■ Twitter

- ・内定状況がどうかや同年代の面接の感想を見るなど、どちらかというと精神的な安定のため

めに見ていた（4年生・女性・県内出身）

#### ■ Instagram

- ・企業が決まってから企業のホームページを見た。Instagramをやっている企業の場合にはInstagramも見た（4年生・女性・県内出身）
- ・オフの時間にInstagramを見ていたらすごく雰囲気のいいハウスメーカーの投稿（センスとかすごくきれいな施工例の写真）が出てきて、「会社説明会をします」と出ていてそこから申し込んだ。Instagramは出会いの場にも使えるんだと思った（4年生・女性・県内出身）
- ・就活情報を発信しているアカウントとか、エントリーシートの書き方、面接の仕方、企業分析をしているアカウントがあることを知って、正しいかどうかは置いておいて、興味本位で見ている（3年生・女性・県内出身）

#### ■ YouTube

- ・実際に面接の方法はYouTubeの面接の仕方を見て練習した（4年生・男性・県内出身）
- ・日頃からYouTubeを使っているから、面接の対策はYouTubeで調べると要点を絞ったものが出ていた（4年生・男性・県外出身）
- ・説明会の前に企業からYouTubeで限定公開している動画を見ておいてねと言われたからそれを見ていた（4年生・女性・県内出身）
- ・興味がある企業に関しては直接ネットで調べて、その企業が発信しているYouTubeを見た（4年生・女性・県内出身）

### ③ 県内企業の情報収集

- 県内企業の情報収集については、「大手就職情報サイト」の他、県内開催の「合同企業説明会」、大学主催の「企業説明会」、大学就職部・キャリアセンターを通じて行っているとの声が多く聞かれる。一方、一部の女子学生からは「大手就職情報サイトのみでの情報収集は採用活動を行っている県内企業を取りこぼしているのではないか」との不安の声が聞かれる。
- ハローワークの利用については、新卒の求人があることを知らない上、「中途採用・再就職向けのイメージしかない」、「登録したが使い方がわかりにくい」、「ネット上で応募・エントリーできない」、「平日しかやっていない」などの不満の声が多く聞かれる。

#### 主なコメント

- ・仙台市内の合同説明会に行ったり、宮城県に本社があるところで検索をかけた。宮城県だったら学校のキャリア支援に相談すればすぐに答えてくれる（4年生・女性・県内出身）
- ・マイナビなどのイベントで、宮城県中心に出展があったので、そういうところで宮城県内企業に触れる機会はあった。大学主催の説明会でも宮城県内の企業中心だったのでそういうところでも見た（4年生・女性・県内出身）

- ・ 宮城県という条件でマイナビで探したがうまく探せなかった。自分が気付かないだけでいい企業もあるのではないかと毎回思っている（4年生・女性・県内出身）
- ・ 結局選考に進んだ2社は人づてに聞いたり大学のキャリアに来たところ。それからマイナビで見るということはあったけど、見逃しているところがありそう。登録していないところもあると思った。それでリクナビも見ただけマイナビにあるような会社が多かった。抜けているところがありそうという不安感は常にあった（4年生・女性・県内出身）
- ・ 大学の合同説明会に来ていたのは宮城県の会社が多かった。あとは大学のキャリアサポート（4年生・男性・県内出身）
- ・ 情報がまとまっているサイトがあると便利。合同説明会はゼビオアリーナでよく開催されていて行ったが、マイナビ、リクナビは大企業で東京本社のところしか出てこないの、このような合同説明会も役立つ（4年生・男性・県内出身）
- ・ 自分が見た商工会議所のサイトは仙台だけの企業のサイト。そういうサイトがもっと大きくなればいい。あとはアプリができると見やすいと思う（4年生・男性・県外出身）
- ・ 仙台市内の企業はリクナビとかにはお金がなくて出せなかったりするから、仙台市がやっているサイトを見て検索をかけた。仙台市がITを促進しようとしていて「伊達なICT-WORK」というITだけのサイトがあった。そこから企業のホームページを調べるだけだった。自分はそれがすごく役に立った（4年生・女性・県外出身）
- ・ ハローワークでも新卒就活情報があるのは聞いたことはあるが、使ってはいなかった（4年生・女性・県内出身）
- ・ ハローワークに新卒のイメージはない。中途採用のイメージ。だから使用する予定もなかった（4年生・女性・県内出身）
- ・ ハローワークに新卒の情報があっても、もっと便利なところを使う。ハローワークは自分でいかないとダメなのではないか？足を運んで求人を得るぐらいだったら、家で寝転がりながらアプリを開く方が就活生にとっては手軽（4年生・女性・県内出身）
- ・ ハローワークも利用しようと思って登録したが使い方がわかりづらかった。ハローワークは（ある企業が）いいと思ったらそのままエントリーしたいのにできなかった。1回来てくださいとなると面倒。せっかくネットで見ているのに、そこはアナログなの？と思う（4年生・女性・県外出身）
- ・ ハローワークを利用しようと思ったが、利用の仕方がわからなくて使えなかった。ハローワークを知ったのも4年生の4月から。もっとあることを知っていたら利用していたのかなと思う（4年生・女性・県外出身）
- ・ 就活生の一般的認識として、ハローワークで新卒就職を考えようという頭はない。LINEなどでは、「ハローワークは本当の最後の手段」という話がされていた（4年生・男性・県内出身）
- ・ 自分行ってみようと思ったことはあった。でもやはりインターネットの方が自宅でできるし情報を集められるスピードが早い。だからインターネットでいいと思った。行くのは手間。実際に行こうと思ったことがあるけど土日はやっていない。土日が開いていないのは不便。それで利用しなかった（4年生・男性・県外出身）

## (5) 働き方・暮らし方に関する考え方

### ① 希望する働き方・生き方（ロールモデル）とそれらに影響を与えたもの

- 学生が希望する働き方・生き方については、「ワーク・ライフ・バランスを大事にすること」、「成長・キャリアアップができること」、「結婚後も仕事が続けられること」などの声が聞かれる。
- 働き方・生き方に影響を与えたものについては、親の働き方や生き方、インターネットの情報などが挙げられる。両親の勧めや意見に従って就職先や働き方を決めたケースは少ないが、親から直接言われなくても、親の姿を見て自身の働き方や生き方、就職先を考える姿が伺われる。

#### 主なコメント

- ・ 職場での成長、働き方を大事にしながら自分の趣味も大切に生きていけたらいいと思う。両親は共働き。両親とも非常に忙しそう。休みのときも疲れたとよく口にかけている。働くことは大切だけど、自分の時間をきちんともつということも大切にしたいと小さい頃から思っていた。インターネットのいろいろな記事、口コミ、SNS、ニュースなど。ブラック企業とか働きすぎという記事はよく目にしていて、こうはなりたくないと思っていた（4年生・男性・県内出身）
- ・ ワーク・ライフ・バランスはすごく考えた。特にバリバリ働くことも自分の時間を持つこともそうだが、転職が多くないことを考えている。自分の友人は東京の金融系、総合商社に入って他を出し抜いていく人生の人もいるけどそれは自分には合わない。競争すること自体が好きではない。それよりは自分や仲間の輪を大切にしたい（4年生・男性・県外出身）
- ・ ワーク・ライフ・バランス、仕事と私生活どちらも楽しんで力を入れる生活ができる企業で働きたいと思っていた。父が仙台本社の大手企業で仕事をしており、最近は趣味を楽しんだりしているので、それが自然とロールモデルになっていると思う（4年生・男性・県内出身）
- ・ 働くことでお金を稼ぐということより働くことが苦にならない働き方をしたい（4年生・女性・県内出身）
- ・ とりあえず若いうちはバリバリ働きたい。年を取ってきたらワーク・ライフ・バランスを重視した生活にゆっくりシフトしていきたい（4年生・女性・県外出身）
- ・ まだ現実味がないから具体的な考えはないが、ワーク・ライフ・バランスを大事にしていきたいと考えている。プライベートの時間もとれる、仕事と両立して充実させられるように生活していきたいと思っている。父親が休日を犠牲にして働いていて、そういう働き方は自分には向いていないと思った（3年生・女性・県外出身）
- ・ 今のところは仕事は熱心に取り組みたいと思っている。自分の好きな趣味にも仕事もしっかり時間を使いたいタイプ。多少頑張りすぎてもいいぐらいの気持ちで考えている。仕事はしっかりバリバリ働きたいと思っている。中学校の担任の先生（独身女性）が平日は教員

- の仕事、休日は好きなアーティストのライブに行くなど、仕事もプライベートも充実していて憧れた（3年生・女性・県内出身）
- ・バリバリ、プライベートの時間を削りながらやっていく。就いた仕事も自分の趣味みたいなもの。技術を身につけながら働いていきたい。将来は独立して会社を創りたいという夢もある（4年生・男性・県内出身）
  - ・働き方は全力を投じられるところがいい。自分の働き方は専門性を重視している大学での教育がきっかけ。自分が学んだ専門性を活かして全力投球できたら楽しいだろうと思った（4年生・男性・県内出身）
  - ・20代はキャリア優先で働きたいと考えている。家庭を持ったら家庭を優先したいと思うが、そうでなければ休日でも仕事に関することをやっていたいと思う。テレビドラマで観たバリバリ働いて役職に就くような仕事の仕方、暮らし方が良いなと思った（4年生・女性・県内出身）
  - ・仕事は結婚しても続けたいと思っている。結婚前は仕事に力を入れたいし昇進もしたいと思う。結婚前にスキルを高めるために仕事に注力したい。母親の働き方、出産・結婚をした後の働き方は参考になる。自分もそうしたい（4年生・女性・県内出身）
  - ・結婚後もどちらかの収入に頼る生活はしたくない。自分で自由に使えるお金もほしいから働きたい。両親とも働いていて財布は別々、自分もそういう働き方がしたい（4年生・女性・県内出身）
  - ・結婚しても仕事を続け、自立してやっていきたい。大学でジェンダー学を学んだ。趣味の宝塚では結婚して退団する人が多かったけど、今は結婚ではなく退団している人が増えている。「自分も結婚するから退職」というのではなくなるといい（4年生・女性・県外出身）
  - ・若いうちは頑張ってお金を貯めたいと思っている。将来自分がどうなるのかわからない。離職したり、働けない体になったときのために安心できるお金をもっておきたい（4年生・女性・県内出身）
  - ・実家に暮らして貯金しようと思っている。一人暮らししたい気持ちもあるが、昔から宮城県内で就職するのなら家から通いなさいと言われていた。親も祖母からそう言われてきて、そうしたからお金を貯められた（4年生・女性・県内出身）
  - ・これから先何があるのかわからない。年金が本当にもらえるのか心配。老後もある程度1人で生活して生きていけるお金はつくりたいと思っている。就職しても実家がいいと思っている。宮城県内にいるのであれば。一人暮らしだと光熱費とかいろいろかかるので。（親とは）県内で就職するなら実家からでいいんじゃないかというのは結構前から話していた（4年生・女性・県内出身）
  - ・今よりも稼げるようになったら自分の好きなものを買ったり、趣味のライブにお金を使いたい。今の社会では年金をもらうのは難しいと言われてしている。将来設計で老後の貯金かなと思う。今のアルバイトのお給料は非常に少ないので、自分で満足に買い物をした経験がない。親から「実家から通えるところにしなさい」というのは前から言われていた（4年生・女性・県内出身）

- ・新しいことにどんどんチャレンジして働いていきたいと思っている。お金に関してはあまり稼ぎたいとは思っていない。働くことで得ることがあったり、誰かを助けたいというのがある。今アルバイトをしているところは新しい動きにすぐためらいがあると感じている。だからどんどん新しいことを試していこうとしているところに魅力を感じて内定をもらった会社にした（4年生・女性・県内出身）
- ・働き方は自分が好きなことを仕事にしたい。仕事は人生の長い時間を過ごす。その中で自分がやっていて楽しいとか、趣味か仕事かわからないこと。仕事とプライベートを区別するより、本当に好きなことがたまたま仕事になっているという働き方をしたいと思っている。結婚で苦労した母を身近に見て、自分のことを優先して自分の生活を満たしたいという考え方になったのかなと思う。好きなことを仕事にしたいと思ったのは（衣料品店での）バイトの経験（3年生・男性・県内出身）
- ・仕事をバリバリして昇進を目指すよりはプライベートを大事にしていきたい。出張や転勤があるより、安定。言葉は悪いが、なあなあと生きていきたい。YouTube を見て人気の動画にあったのは月何百時間残業していますという社畜の動画。まだ 20 代、仕事で体を壊したくないと思った。お金を稼ぎに行くのに、体を壊してまで働くというのは共感できなかった（4年生・男性・県外出身）

## ② 県内出身県内就職希望女子学生が考える暮らし方について

- 県内で就職する県内出身女子学生の就職後の暮らし方については、一人暮らしをしたい気持ちはあるものの、金銭的な余裕のなさから実家暮らしを選択するといった意見が聞かれる。

### 主なコメント

- ・両親が好きだから離れたくない。できれば家から県内に通いたい（4年生・女性・県内出身）
- ・就職しても実家暮らし。県内にいるのなら無駄になるから一人暮らしは許さないと言われた。一人暮らしをしたい気持ちもある。自分で自立して生きていけるようにならないといけないのではないかという不安もあって一人暮らしをしたい（4年生・女性・県内出身）
- ・就職しても実家がいいと思っている。宮城県内にいるのであれば。一人暮らしだと光熱費とかいろいろかかるので。一人暮らしに憧れた時期もあったけど、今は家に帰ってきたら人がいるという方が安心する。勤め先で何年か働いて余裕ができたなら 1 人暮らしをしてもいいと思うけど、最初の 2、3 年は実家にいて仕事に力を入れたい（4年生・女性・県内出身）
- ・一応就職しても実家から職場に通おうと思っている。職場で誰かと出会いがない限りは実家で生活すると思う。一人暮らしに対する憧れはある。自由だからというのもある。でも一人暮らしをするのにもお金がかかる。光熱費、家具に出す元手がない。家族に頼るのは申し訳ない。現実的に一人暮らしは難しい、したいけどできない状況。将来、結婚するとき、相

手が転勤となったときはついて行かないといけないからそのときはここから離れないといけないと思うけど、それ以外だったら宮城にいたい（4年生・女性・県内出身）

### ③ 男子学生が考える結婚や育児について

- 男子学生からは結婚や育児について具体的なイメージが抱けていないという声が多く聞かれる。しかし、将来的には結婚を望んでおり、育児については、妻の働き方は問わず、自身も前向きに参加したいとの意見がある。

#### 主なコメント

- ・ 自分の人生設計を考えたことはないが、結婚とか子どもを持ちたいという考えはない。自分のペースで働きつつ自分の時間を持てたらいいなと思っている（4年生・男性・県内出身）
- ・ 結婚については正直あまり考えたことがない。今は就職1年目に向けてどうするかを考えている。いずれ結婚はしたいと漠然とは考えている（4年生・男性・県内出身）
- ・ 自分はよい方がいいれば結婚はしたい。でも子どもについては前向きな感情は持っていない。育児、子どもを持つことで幸せなこともあると思うけど、両親を見ていてもそうだけど日本の社会は教育、育児には適していないと思う。男性の育児、育休も最近是一般化してきたけど、まだ取りにくかったりする。女性も育休で会社を辞めたり、戻りにくかったりする。子どもの教育にも何百万、何千万というお金がかかる（4年生・男性・県外出身）
- ・ 30歳までに結婚できればいい。子どもは1人、2人ほしい。自分は仕事をバリバリするタイプではないから奥さんの仕事には口出しはせず共働きでもいいし、専業主婦でもいい。お互いのことを尊重しながらやっていきたい。どう育児に関与できるのか想像がつかないが、できる範囲でやっていきたい（4年生・男性・県外出身）
- ・ （育児について）お金だけ入れるのではなく、どっちも働いているかもしれないから、一緒に子どもを育てていく。協力してやっていきたい。大変なこともあると思うけどそれを経験したからこそ見えてくるものもあるのかなと思う（4年生・男性・県内出身）
- ・ 結婚して子どもが産まれたら育児には参加したいと思う。それは奥さんと平等とか社会的な平等を意識するより、自分が起こしたことへの責任としてやりたい。奥さんに全部預けっぱなしでお金だけ入れていたら自分の子どもだという思いが湧きづらいのではないかと思う（4年生・男性・県外出身）

企業編

# 企業等女性活躍実態調査

---

## 1 調査の概要

### ■ 調査目的

企業の女子学生の採用意向や採用活動、職場の女性活躍やワーク・ライフ・バランスの取り組み状況などを調査し、企業の女性採用や女性活躍の推進に資する行政施策の検討のための基礎資料とする。

### ■ 調査対象

従業者数 10 名以上の宮城県内企業 1,525 社

「平成 28 年経済センサスー活動調査（事業所に関する集計）」（総務省）の産業中分類別の構成比をもとに無作為抽出

### ■ 調査方法

紙面アンケート調査

### ■ 主な質問項目

- ・ 女子学生の採用の現状
- ・ 採用活動の状況
- ・ 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取り組み状況

### ■ 調査期間

令和 4 年 6 月 6 日（月）から 6 月 26 日（日）

### ■ 回答率

35.6%（回答数 543 件）

### ■ 記述などについて

- ・ 構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計値が 100%にならない場合がある。
- ・ 変数から欠損値を除いて分析を行っていることから、属性ごとの合計値と全体の合計値（n = 543）が一致しない場合がある。

## (参考) アンケート調査の対象

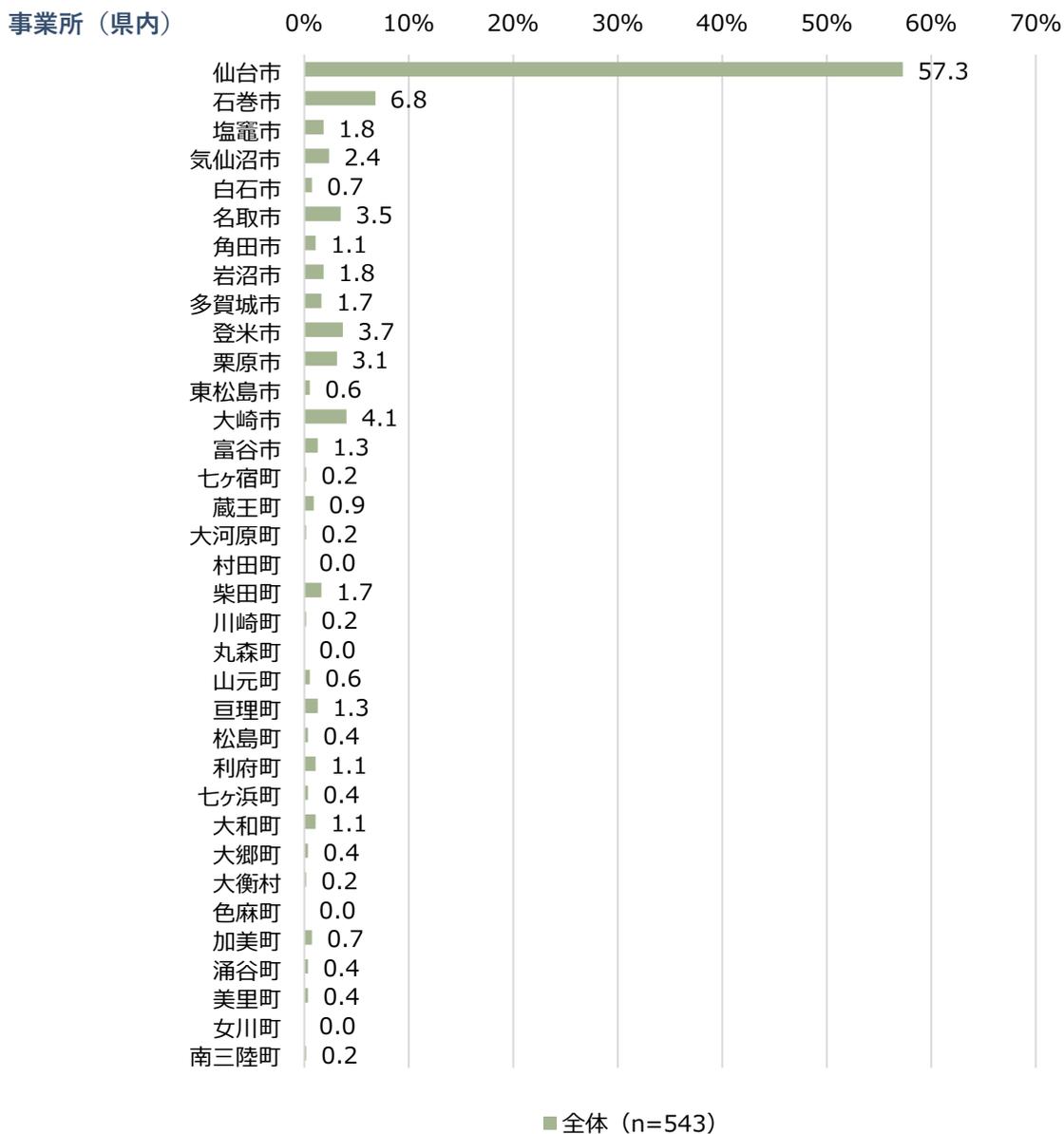
産業中分類	経済センサス		配布先企業数	
	事業所数	業種割合	事業所数	業種割合
A～R 全産業（S公務を除く）	24,145	100.0%	1,525	100.0%
A～B 農林漁業	272	1.1%	18	1.2%
C 鉱業、採石業、砂利採取業	22	0.1%	1	0.1%
D 建設業	2,736	11.3%	172	11.3%
E 製造業	2,149	8.9%	148	9.7%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	48	0.2%	3	0.2%
G 情報通信業	350	1.4%	24	1.6%
H 運輸業、郵便業	1,514	6.3%	97	6.4%
I 卸売業、小売業	—	—	—	—
I1 卸売業	2,200	9.1%	138	9.0%
I2 小売業	4,065	16.8%	256	16.8%
J 金融業、保険業	707	2.9%	38	2.5%
K 不動産業、物品賃貸業	495	2.1%	33	2.2%
L 学術研究、専門・技術サービス業	696	2.9%	43	2.8%
M 宿泊業、飲食サービス業	2,632	10.9%	164	10.8%
N 生活関連サービス業、娯楽業	943	3.9%	59	3.9%
O 教育、学習支援業	699	2.9%	43	2.8%
P 医療、福祉	2,811	11.6%	175	11.5%
Q 複合サービス事業	165	0.7%	12	0.8%
R サービス業（他に分類されないもの）	1,641	6.8%	101	6.6%

※ 総務省「平成28年経済センサス—活動調査（事業所に関する集計）」。従業者数10人以上の事業所

## 2 調査結果

### (1) 回答企業属性

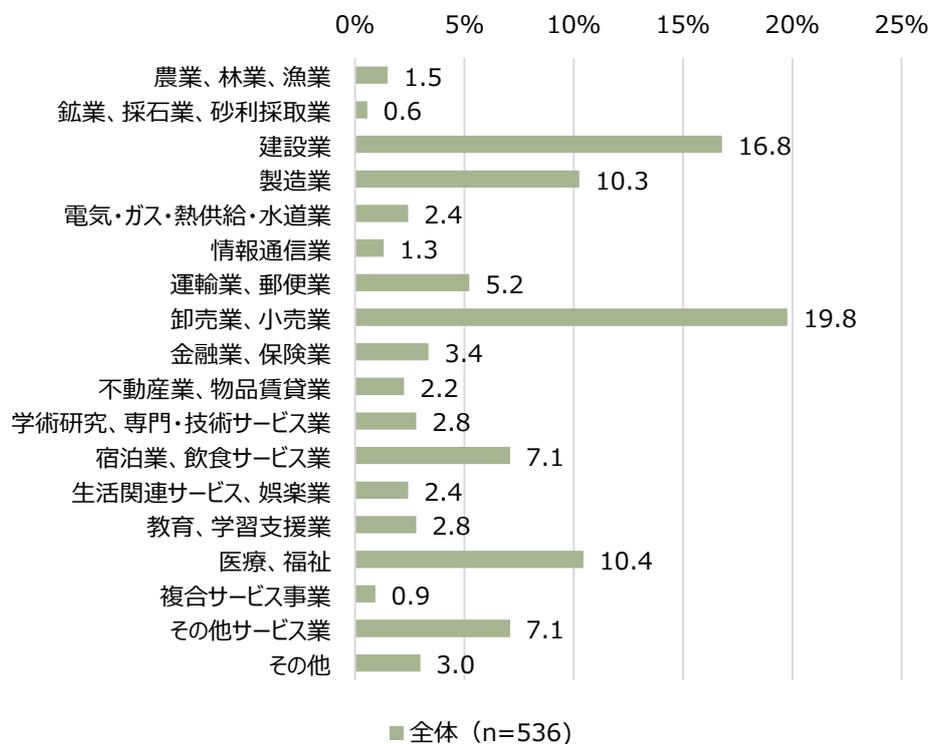
問1 事業所及び本社（事業所が本社と異なる場合）の所在地名をご記入ください。



本社（県外） 埼玉県（1）、東京都（1）

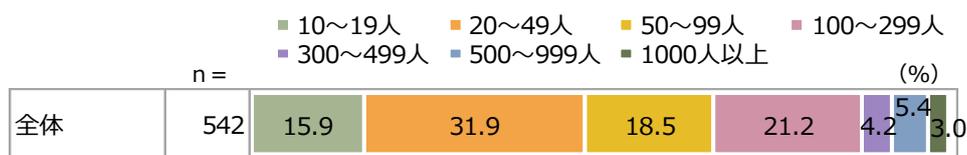
■ 回答企業の所在地をみると、事業所（県内）については「仙台市」（57.3%）が最も多く、「石巻市」（6.8%）、「大崎市」（4.1%）が続いている。また、本社（県外）については、「埼玉県」「東京都」が2社ある。

問2 業種について教えてください。(○は1つ。複数該当する場合は、最も売上げが大きいものを1つ)



■ 回答企業の業種をみると、「卸売業・小売業」(19.8%)が最も多く、「建設業」(16.8%)、「医療、福祉」(10.4%)が続いている。

問3 全従業員数について教えてください。(令和4年4月1日時点)(○は1つ)



- 回答企業の従業員数をみると、従業員数「20~49人」(31.9%)が最も多く、「100~299人」(21.2%)、「50~99人」(18.5%)が続いている。

問4 正社員に占める女性の割合について教えてください。(令和4年4月1日時点)(○は1つ)



- 回答企業の正社員に占める女性の割合をみると、「10%以上30%未満」(40.7%)が最も多く、「50%以上」(24.0%)、「10%未満」(16.9%)が続いている。

問5 管理職(課長相当職以上)に占める女性の割合について教えてください。(令和4年4月1日時点)(○は1つ)



- 回答企業の管理職に占める女性の割合をみると、「0% (いない)」(35.2%)が最も多く、「5%未満」(22.1%)、「30%以上」(15.3%)が続いている。

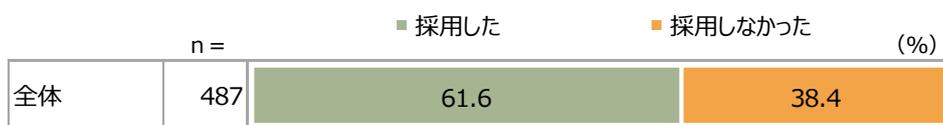
(2) 女子学生の採用の現状

問6 直近5年間（平成29年度から令和3年度）の女性の採用状況についてそれぞれ教えてください。

(ア) 新規学卒者（大学・短期大学）採用

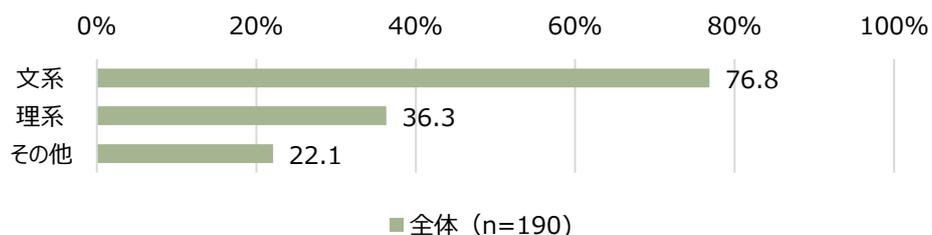


(イ) 中途採用・キャリア採用



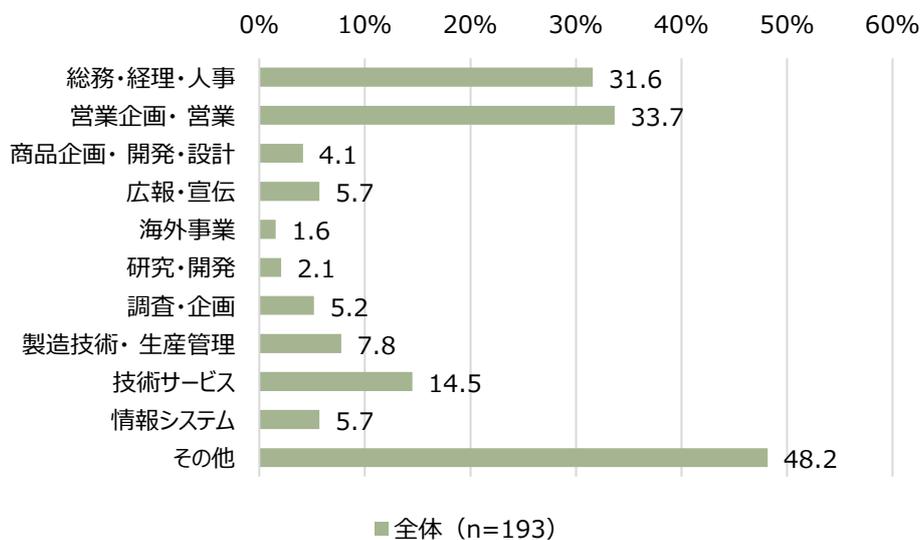
■ 女性の採用状況についてみると、(ア) 新規学卒者（大学・短期大学）は「採用した」が37.3%、「採用しなかった」が62.7%となっている。(イ) 中途・キャリアは「採用した」が61.6%、「採用しなかった」が38.4%となっている。

問7 直近5年間（平成29年度から令和3年度）に採用した女子学生の専攻分野を教えてください。（○はいくつでも）



■ 問6で新規学卒者を採用したと回答した企業に直近5年間に採用した女性の学生時代の専攻について尋ねたところ、「文系」(76.8%)が最も多く、「理系」(36.3%)、「その他」(22.1%)の順となっている。

問 8 直近 5 年間の女子学生（大学・短期大学）の配属部門について教えてください。（○はいくつでも）



[問 8 「その他」自由記述回答]

医師・衛生士・助手	資材管理
医療技術	事務
医療技術職	事務職・施工管理
医療系専門職、事務職	児童養育
医療職・大学事務	社会福祉
営業事務	獣医職
営業窓口	障害者の支援スタッフ
営業店	障害福祉現場
栄養士	審査部門
介護	スポーツ指導、施設管理
介護士、栄養士	制作
介護職員	製造
各営業所事務	接客・調理
各専門職	接客販売（店頭）
学校教育、教員・事務・助手	設計、デザイン
教育	専門
教育・保育	窓口事務
教育事務	地域支援室
教育職	調理
教員	販売（小売）、卸売
教務・学生支援他	番組制作など
教諭	福祉
業務部	フィットネス
金融事務	フロントサービス
金融窓口	保育
契約業務・査定	保育園
経営企画	保育教諭
検針業務	保育士
サービススタッフ	保育施設

指導業務	ホテルサービス
施工管理	旅客サービス
施工管理（土木・建築）	その他

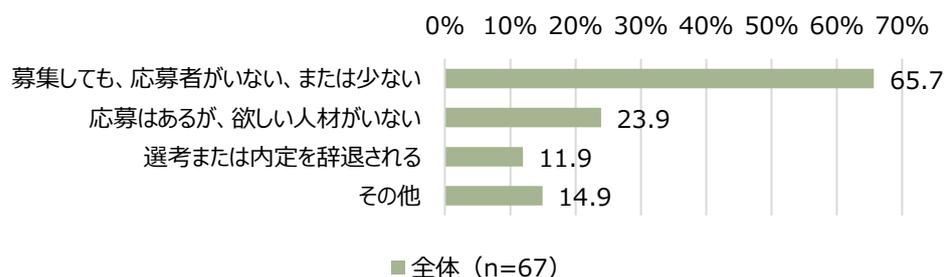
- 問6で新規学卒者を採用したと回答した企業に直近5年間に採用した女性の配属部門について尋ねたところ、「その他」（48.2%）を除き、「営業企画・営業」（33.7%）が最も多く、「総務・経理・人事」（31.6%）、「技術サービス」（14.5%）が続いている。

問9 これまで女子学生（大学・短期大学）の採用は思い通り進んでいますか。（○は1つ）



- 問6で新規学卒者を採用したと回答した企業に女子学生の採用状況について尋ねたところ、「進んでいる」（「進んでいる」「まあまあ進んでいる」の合計）と回答した企業は64.9%、「進んでいない」（「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計）と回答した企業は12.1%、「どちらでともいえない」と回答した企業は23.0%となっている。

付問 9\_1 女子学生の採用が進んでいない理由について教えてください。(○はいくつでも)

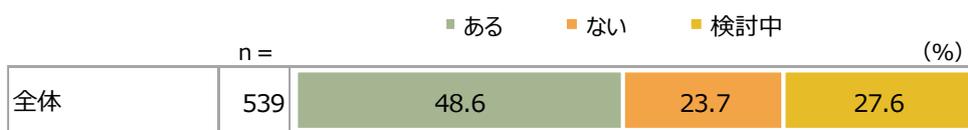


[付問 9\_1 「その他」自由記述回答]

性別で募集を行っていない
募集予定がない
女性に限定していないため、進んでいるともいないともいえない。
元々女性の採用の方が多い業種
募集をしていない (今は)
募集をかけない
保育士不足が深刻です。

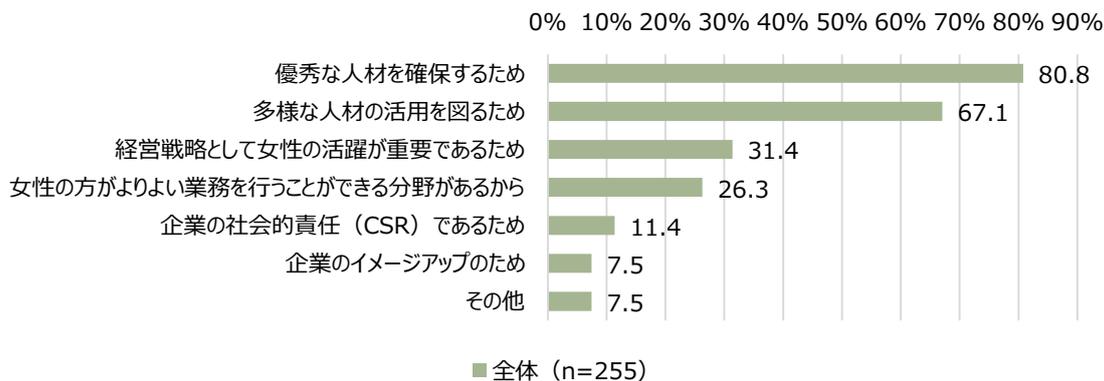
- 問 9 で「どちらともいえない」「あまり進んでいない」「進んでいない」と回答した企業に進んでいない理由を尋ねたところ、「募集しても、応募者がいない、または少ない」(65.7%) が最も多く、「応募はあるが、欲しい人材がない」(23.9%)、「その他」(14.9%) が続いている。

問 12 女子学生 (大学生・短期大学) を採用していく意向について教えてください。(○は 1 つ)



- 女子学生の採用意向についてみると、採用意向が「ある」と回答した企業は 48.6%、「ない」と回答した企業は 23.7%、「検討中」と回答した企業は 27.6%となっている。

付問 12\_1 採用したいと思う理由について教えてください。(〇はいくつでも)

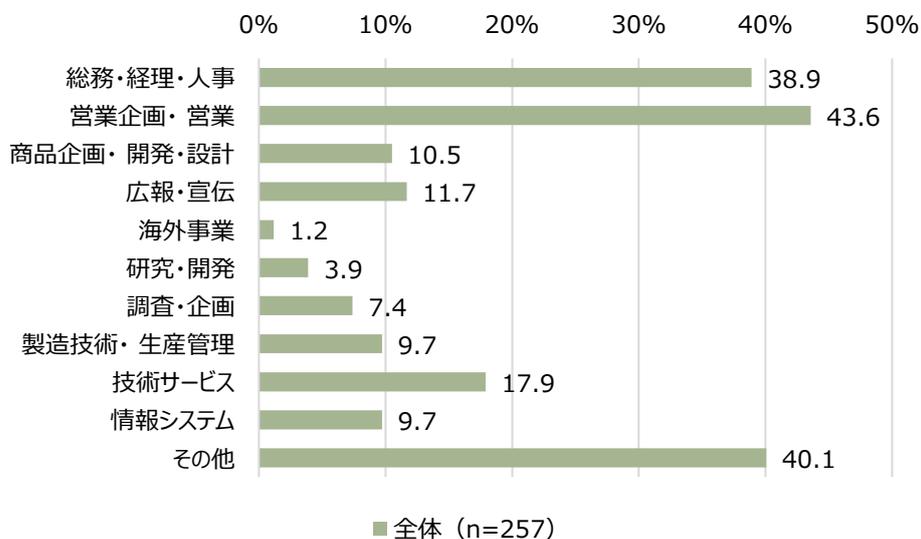


[付問 12\_1 「その他」自由記述回答]

女性だからという視点ではなく性別に関らず優秀な人材を確保するため
男女関係なく募集・採用する
性別は基準にしていない。良い方がいれば男女問わず採用する。
性別については特別にこだわっていない
男女の区別はつけていない
専門職確保のため
必要資格取得者が多い
職業柄男性が少なすぎるので
退職に伴う採用
女性専用フィットネスの場合はスタッフは女性に限られている
企業存続のため

- 問 12 で採用意向があると回答した企業に採用したい理由について尋ねたところ、「優秀な人材を確保するため」(80.8%) が最も多く、「多様な人材の活用を図るため」(67.1%)、「経営戦略として女性の活躍が重要であるため」(31.4%) が続いている。

付問 12\_2 女子学生（大学・短期大学）の配置予定の部門について教えてください。（○はいくつでも）

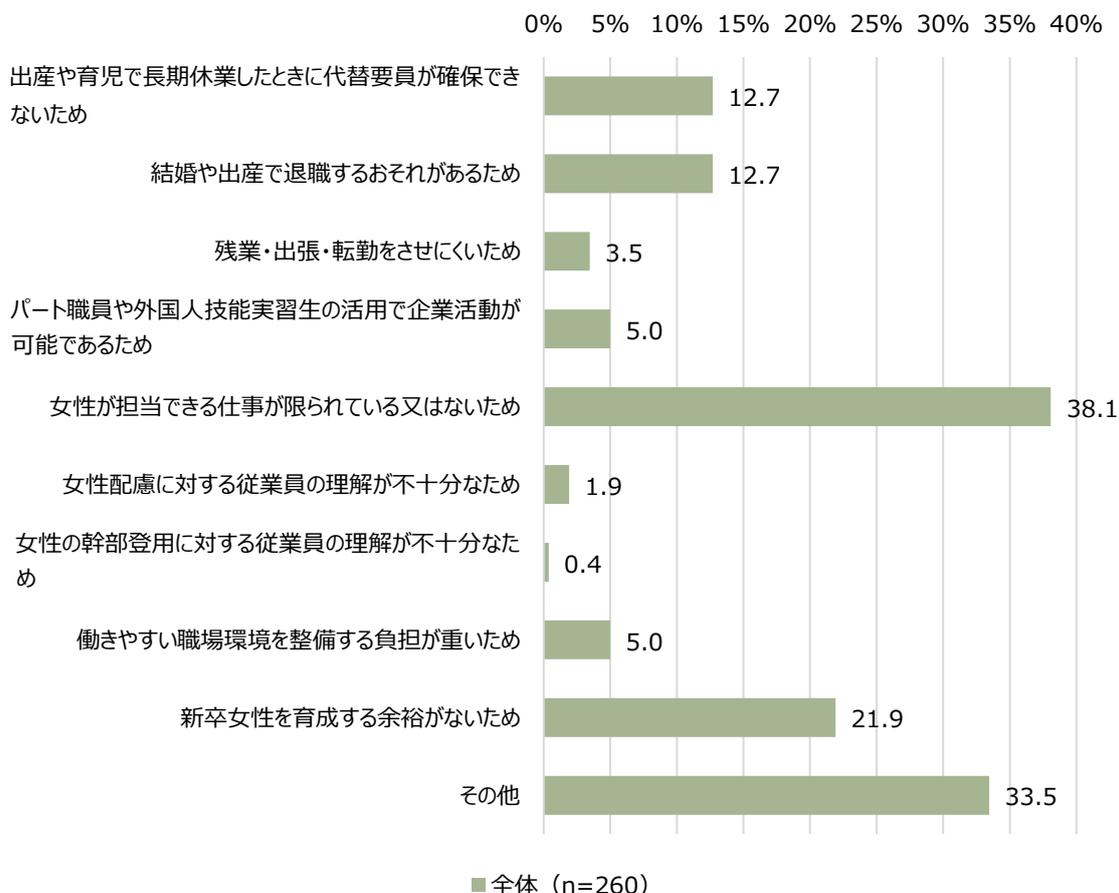


[付問 12\_2 「その他」自由記述回答]

インストラクター	教習指導員	専門職
医療（歯科）	教務・学生支援他	窓口事務
医療・看護部門	教諭	窓口販売
医療技術	金融事務	調理
医療技術職	現場→マネージャ	適材適所
医療系専門職、事務職	サービス	土木技術者
医療職・大学事務	サービススタッフ	特定の部門はない
運行管理	指導事業	配属計画は未定
運転士	施工管理	販売
営業窓口	施工管理技術者	フィットネス
営業店、その他未定	事務職・施工管理・設計	福祉関係
卸売、小売、販売	児童養育	福祉施設のクラス担当
介護	社会福祉	複合サービス
介護士、相談員、栄養士	獣医職	物流MG
介護職	障害者の支援スタッフ	保育
介護職員	障害福祉、生活支援	保育園
各専門職	障害福祉現場	保育教諭
学校教育、教員・事務・助手	審査部門、管理部門	保育士
技術者	スポーツ指導、施設管理	保育施設、他
教育	清掃業務	未定
教育事務	接客	旅客サービス
教育職	接客・事務	その他
教員	接客・調理	

- 問 12 で採用意向があると回答した企業に配置予定の部門について尋ねたところ、「その他」(40.1%)を除き、「営業企画・営業」(43.6%)が最も多く、「総務・経理・人事」(38.9%)、「技術サービス」(17.9%)が続いている。「その他」(14.1%)の自由記述回答では、「保育士」「介護士」「医療」など専門職の配置部門が多い。

付問 12\_3 採用したいと思わない理由について教えてください。(〇はいくつでも)



[付問 12\_3 「その他」 自由記述回答]

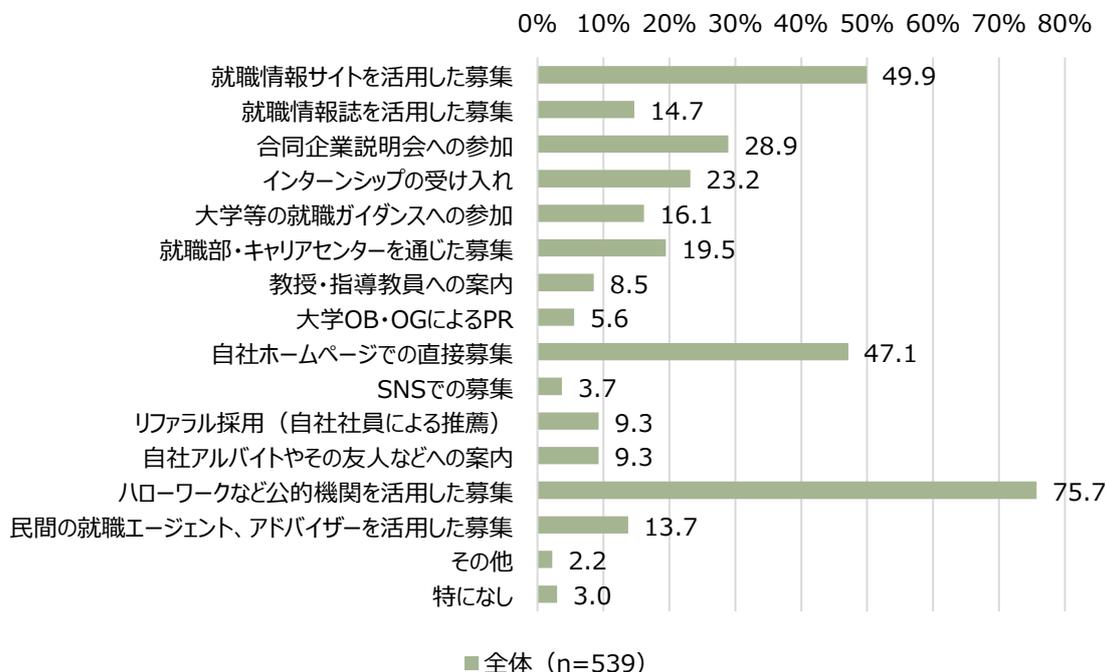
募集しても応募がない
大卒・短大卒の方の希望が少ない
職場が地方で建設業は敬遠されてる。
新卒自体検討中
大卒者の採用が未定のため
女子学生採用について諸事情を検討中
採用全体を検討中
高卒者を採用するため
高卒者・専門学校生を採用するため
専門学校生を採用
社員が必要な時はアルバイトから登用しているから
大卒・短大卒は採用しない
性別問わず現時点で採用計画がない
性別問わず新卒募集をしていない
基本的に中途採用
即戦力を採用
業績が下降見込である為
経営状況の悪化
人員が充足している・増員を検討していない

若い女性には重労働で大変
学歴に見合ったスキルが活かせないと思う
業界・業種的に応募に対して抵抗感があるのではないかと思うから
職種がマッチしない
深夜勤務等があるため安全衛生の観点から
工事現場での女性受入態勢が整っていないため
技術職のため事務職では2~3名である
採用は考えているが、具体的なポジションが今はない。
現状女性比率が高いため
近年、女性の雇用に偏っているため
時限組織のため
生協本体で採用する
全体のバランス
近隣に大学が少ない為
建築を専攻している女子学生が少ない為
現場仕事が大半の為、希望する者が少ない
学歴は問わない
新卒にこだわらない
定期採用をしていない
退職があった場合に募集することになっている
性別を限定した採用を行っていない
有資格者等、応募条件を満たせば男女関係なく常に門戸を開けており、「都度判断する」意味で「3.検討中」としました。

- 問12で採用意向が「ない」または採用を「検討中」と回答した企業に女子学生を採用したいと思わない理由について尋ねたところ、「その他」(33.5%)を除き、「女性が担当できる仕事に限られている又はないため」(38.1%)が最も多く、「新卒女性を育成する余裕がないため」(21.9%)、「出産や育児で長期休業したときに代替要員が確保できないため」「結婚や出産で退職するおそれがあるため」(12.7%)が続いている。
- 「その他」(33.5%)の回答では、「そもそも採用の予定がない」、「大卒ではなく高卒・専門学校卒、中途者の採用を行っている」という自由記述が多い。

(3) 採用活動の状況

問 10 採用活動で活用している手段を教えてください。(〇はいくつでも)



[問 10 「SNS での募集（活用しているもの）」自由記述回答]

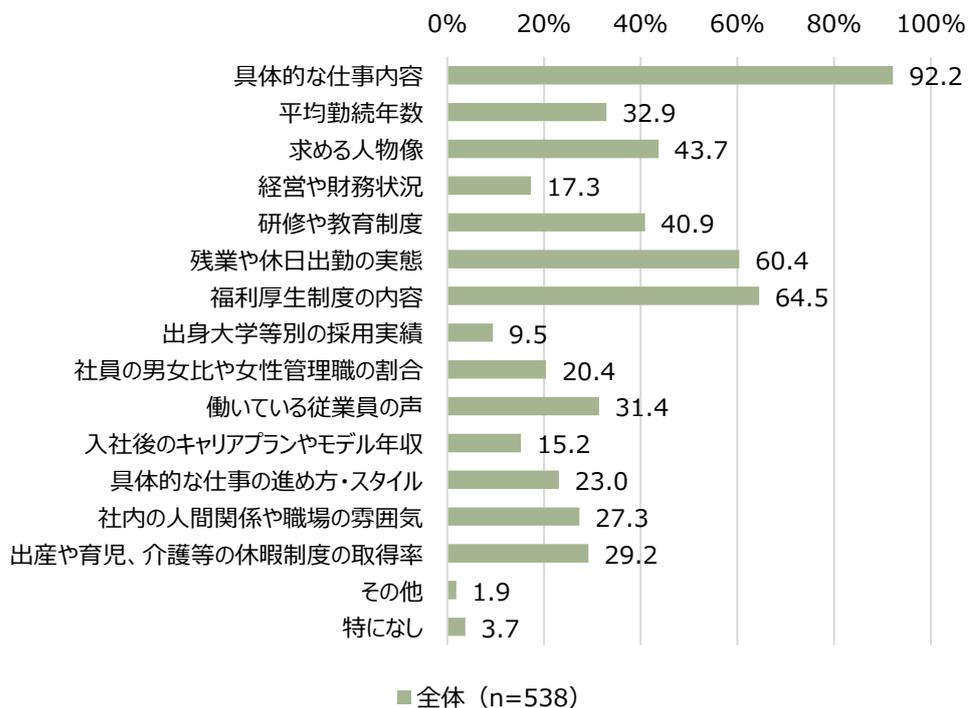
Facebook,Instagram
Instagram
LINE
SNS
Twitter
YouTube

[問 10 「その他」自由記述回答]

高卒採用中心	地方新聞紙での広告
専門学校に求人を出す	新聞広告
近年採用活動を行っていない	求人受付 NAVI への登録
関連会社への案内	業界紙、業界 HP での求人掲載
派遣会社からの紹介	広報誌
実習受け入れ	仙台市（自治体）イベント参加

- 採用活動で活用している手段についてみると、「ハローワークなどの公的機関を活用した募集」（75.7%）が最も多く、「就職情報サイトを活用した募集」（49.9%）、「自社ホームページでの直接募集」（47.1%）が続いている。

問 11 採用活動を行う上で、貴社が公表している情報を教えてください。(○はいくつでも)



[問 11 「その他」自由記述回答]

賃金	中途採用比率
新卒者の給与額	縁故
賞与支給実績	先輩情報
通勤費、駐車場	理念等
採用実績数	近年採用活動を行っていない

- 採用活動に伴い公表している情報についてみると、「具体的な仕事の内容」(92.2%)が最も多く、「福利厚生制度の内容」(64.5%)、「残業や休日出勤の実態」(60.4%)が続いている。

(4) 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取り組み状況

問 13 女性活躍を推進する取り組みについて教えてください。(○はそれぞれ1つ)

	n=	■ 行っている	■ 今後予定	■ 予定なし	(%)
ア	女性活躍に関する行動計画の策定	520	30.8	26.0	43.3
イ	女性の配置実績が少ない職種への女性の積極採用や登用	520	24.4	30.0	45.6
ウ	女性人材の育成のための教育訓練	518	32.8	30.9	36.3
エ	女性の能力発揮の重要性についての社員への啓発	514	26.1	32.9	41.1
オ	出産や育児等による休業はハンディとならないような人事制度の導入	524	55.3	24.8	19.8
カ	女性管理職の登用	523	48.9	32.7	18.4
キ	仕事と家庭の両立支援制度の整備	521	46.4	33.8	19.8

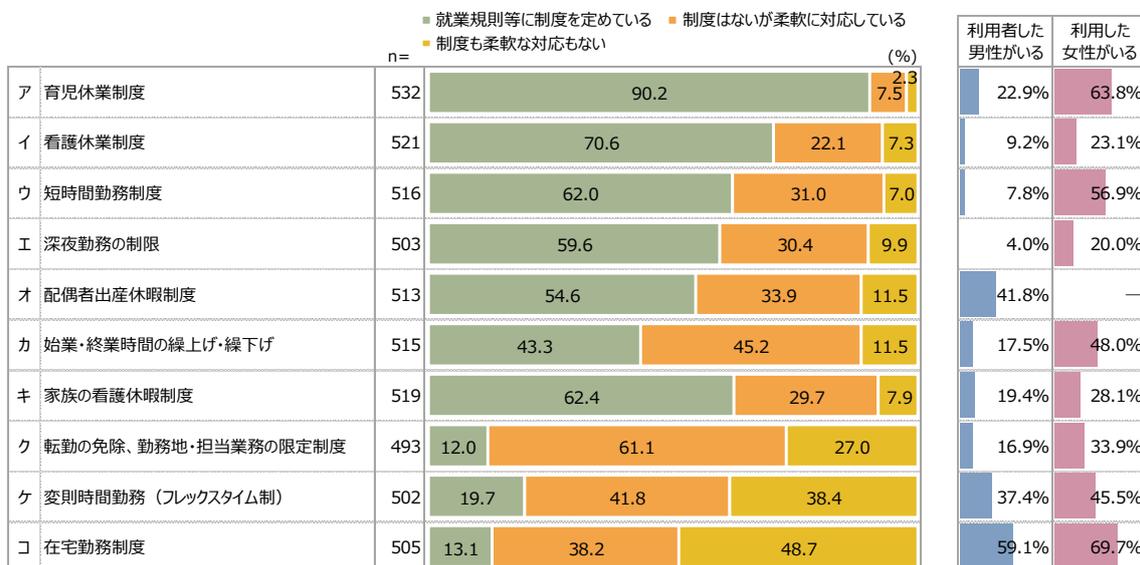
[問 13 「ク」 その他] 自由記述回答]

男女均等の教育訓練
男女で賃金・仕事内容を区別していない
アについては男女の差を元々つけていない
法定外の育児に関する休暇の導入
女性目線での職場内設備環境の整備
男性・女性、関係なく行っております。
女性役員の登用
育休中の社員へのフォロー
元々旅館業なため女性中心

- 女性活躍推進に向けた取り組みについてみると、「行っている」取り組みは「オ）出産や育児等による休業はハンディとならないような人事制度の導入」（55.3%）が最も多く、「カ）女性管理職の登用」（48.9%）、「キ）仕事と家庭の両立支援制度の整備」（46.4%）が続いている。
- 一方、「予定なし」の取り組みは、「イ）女性の配置実績が少ない職種への女性の積極採用や登用」（45.6%）が最も多く、「ア）女性活躍に関する行動計画の策定」（43.3%）、「エ）女性の能力発揮の重要性についての社員への啓発」（41.1%）が続いている。

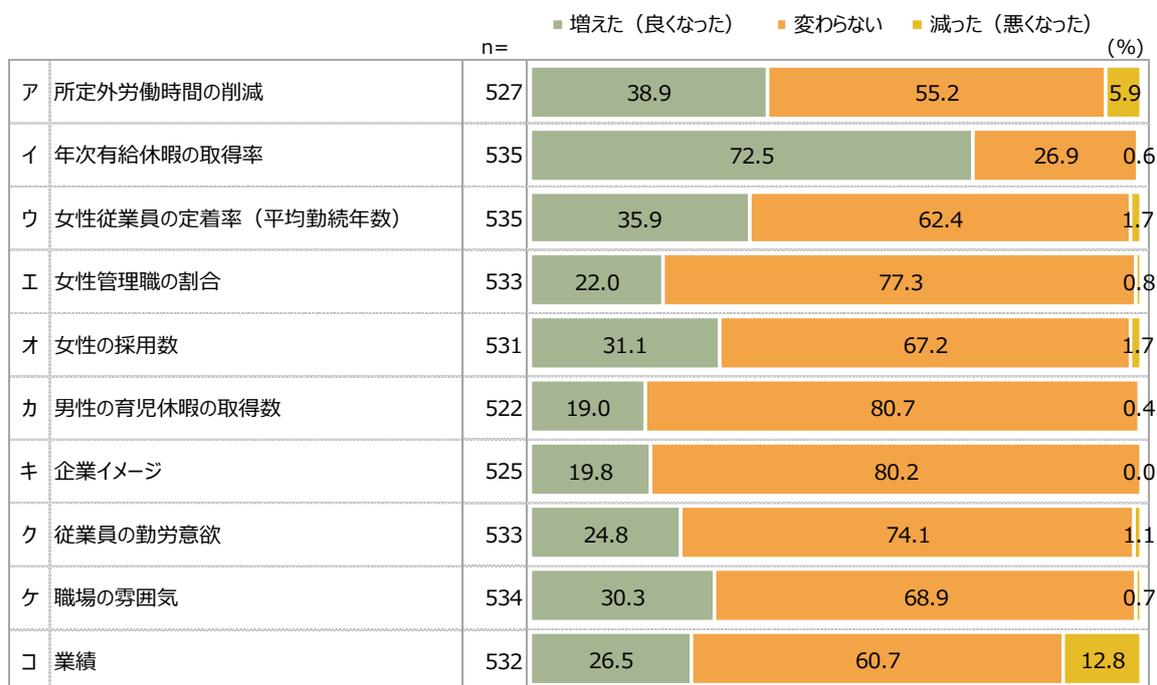
問 14 ワーク・ライフ・バランス（WLB）を推進する取組みについて教えてください。（(1)は1つ。（2）は直近3年間（令和元年度から令和3年度）について該当するものをすべて、該当がなければ空欄）

(1) 制度の有無、及び (2) 利用の有無



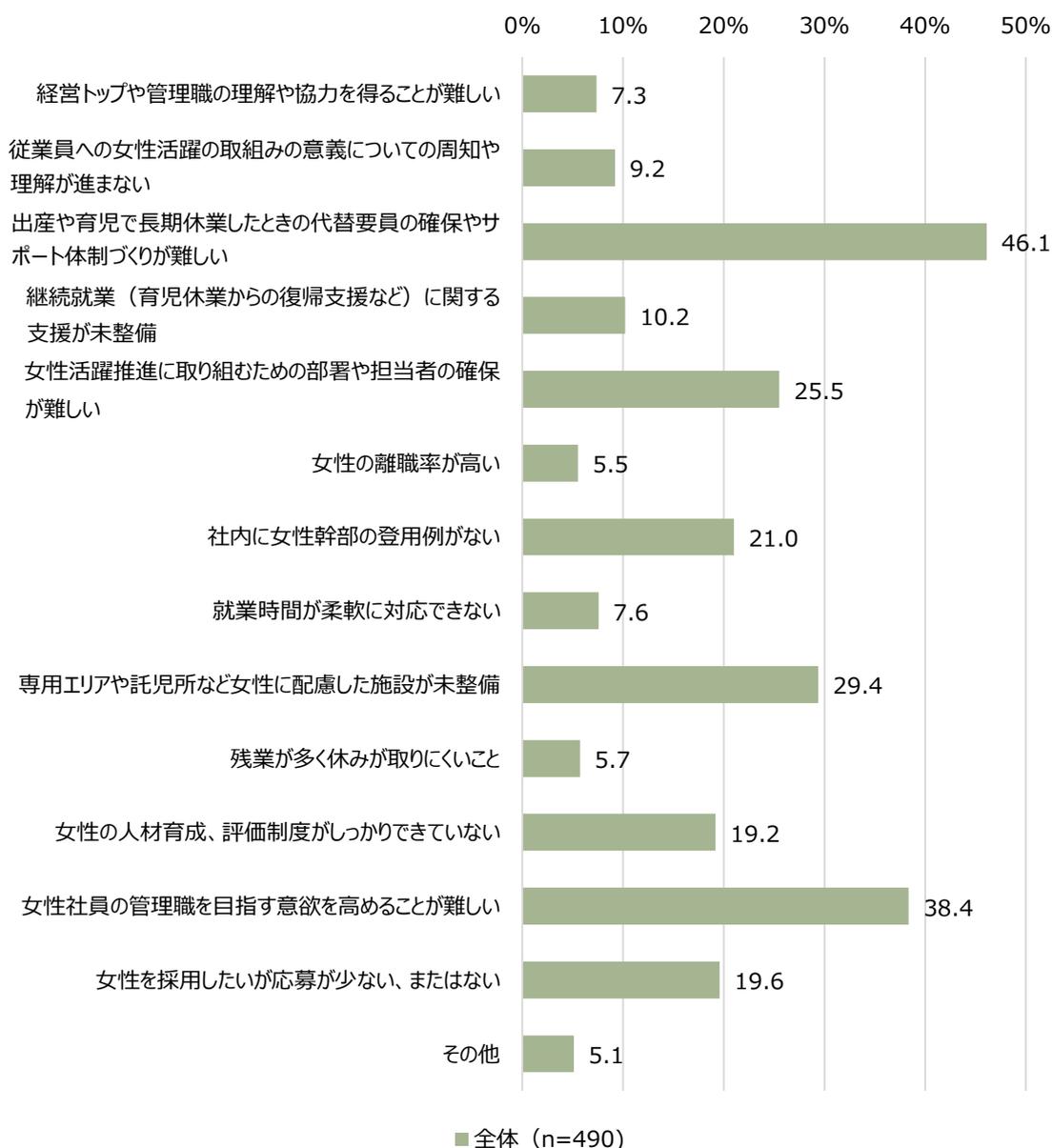
- ワーク・ライフ・バランスを推進する制度の状況についてみると、「就業規則等に制度を定めている」割合は「ア）育児休業制度」（90.2%）が最も多く、「イ）看護休業制度」（70.6%）、「キ）家族の看護休暇制度」（62.4%）が続いている。
- 一方「制度も柔軟な対応もない」割合は「コ）在宅勤務制度」（48.7%）が最も多く、「ケ）変則時間勤務（フレックスタイム制）」（38.4%）、「ク）転勤の免除、勤務地・担当業務の限定制度」（27.0%）が続いている。
- 「就業規則等に制度を定めている」と回答した企業に制度の利用の有無について尋ねたところ、利用した男性がいる制度では「コ）在宅勤務制度」（59.1%）が最も多く、「オ）配偶者出産休暇制度」（41.8%）、「ケ）変則時間勤務（フレックスタイム制）」（37.4%）が続いている。利用した女性がいる制度では「コ）在宅勤務制度」（69.7%）が最も多く、「ア）育児休業制度」（63.8%）、「ウ）短時間勤務制度」（56.9%）が続いている。

問 15 女性活躍やWLBを推進した結果、直近3年間（令和元年度から令和3年度）で以下の項目について、どのように変化したと感じていますか。3段階でお答えください。※貴社が創設して3年に満たない場合は創設後の状況についてお答えください。（○はそれぞれ1つつつ）



- 直近3年間の女性活躍やワーク・ライフ・バランスを推進した結果についてみると、「増えた（良くなった）」と回答した割合は「イ）年次有給休暇の取得率」（72.5%）が最も多く、「ア）所定外労働時間の削減」（38.9%）、「ウ）女性従業員の定着率（平均勤続年数）」（35.9%）が続いている。
- 一方、「変わらない」と回答した割合は「カ）男性の育児休暇の取得数」（80.7%）が最も多く、「キ）企業イメージ」（80.2%）、「エ）女性管理職の割合」（77.3%）が続いている。
- なお、「減った（悪くなった）」と回答した割合は「コ）業績」（12.8%）が最も多く、「ア）所定外労働時間の削減」（5.9%）、「ウ）女性従業員の定着率（平均勤続年数）」「オ）女性の採用数」（1.7%）が続いている。

問 16 貴社における女性活躍を推進する上での課題について教えてください。(〇はいくつでも)



[問 16 「その他」 自由記述回答]

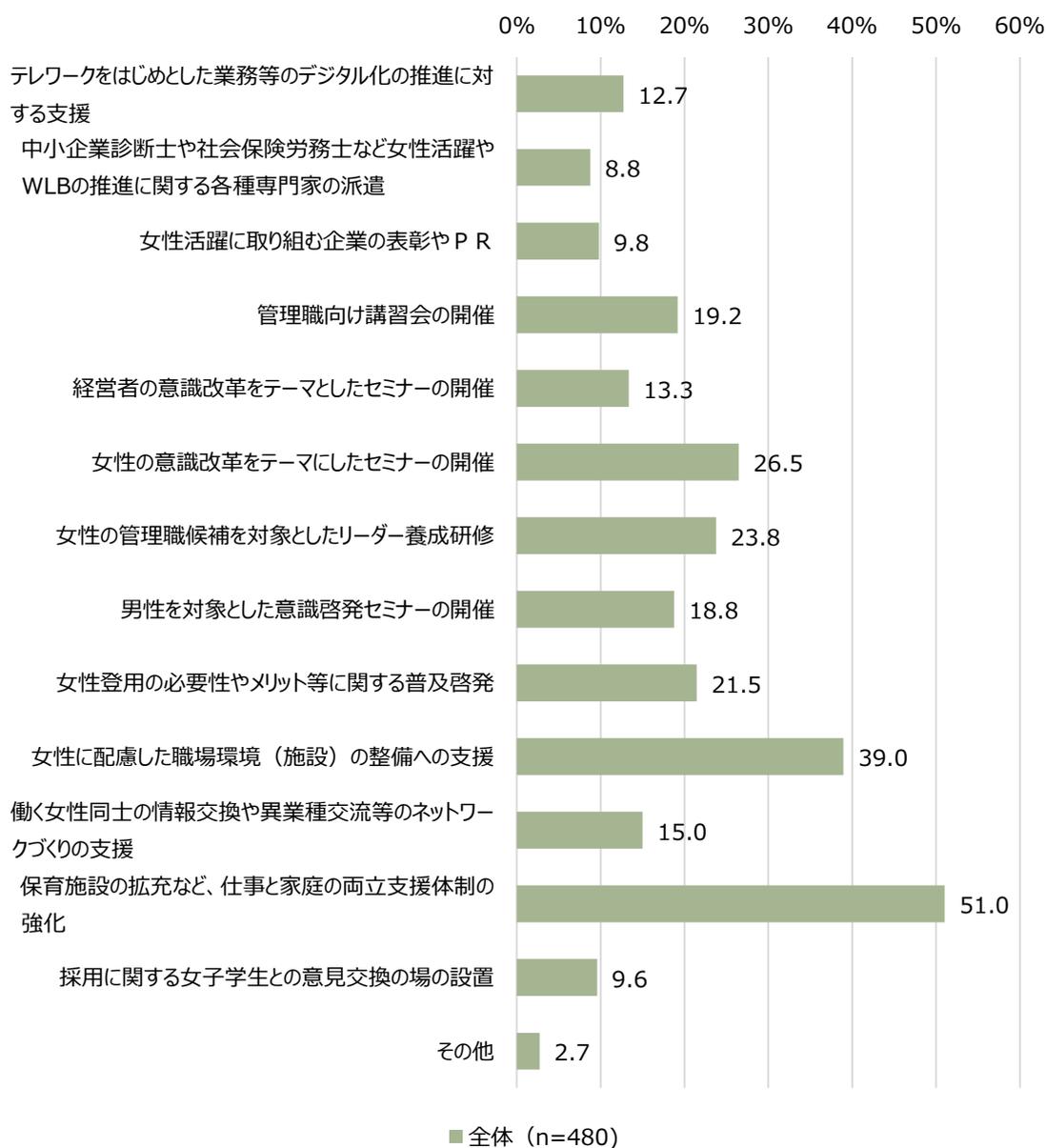
女性社員が少ない
管理職を目指す女性が少ない
女性のできる仕事限定される
責任と給与を求める女性社員が少ない、休みと自由を求める方が大事。
ジェンダーロールの意識
理系のスキル
技術部への女性の登用例がない。
女性が担当できる仕事に限られている
現場担当者としての女性受入態勢が未整備
現在の年功序列では、女性管理職が5年以上不在となる

土日を休みにできない
勤務エリアが広範囲であり、配置および体制整備が難しい
業種（建設業）の特性上、女性社員の割合が低い
宿泊を伴う講習会に参加できない
建設業の現場にもっと女性を作業員もならないとムリ
ドライバー雇用が難しく事務の枠も空いていない。
女性が希望する業種でない
まだ男性側のキャリアを優先する傾向が強く、配偶者の勤務などでの離職が一定数発生する
女性が活躍しているため
元々女性職員数が半数を占め活躍中
男性社員も活躍できるようにしたい
生協本体の決まりに従う
何もありません

- 女性活躍を推進する上での課題についてみると、「出産や育児で長期休業したときの代替要員の確保やサポート体制づくりが難しい」（46.1％）が最も多く、「女性社員の管理職を目指す意欲を高めることが難しい」（38.4％）、「専用エリアや託児所など女性に配慮した施設が未整備」（29.4％）が続いている。

問 17 今後、貴社における女性活躍を推進するために、行政に期待する施策を教えてください。

(○はいくつでも)



[問 17 「その他」自由記述回答]

採用推進
女性に限らない施策だと思います。
病児童の保育体制拡充・PR、預かり料金の無料化
介護職への処遇改善
政治家の意識改革
女性だけでなく男性も働きやすい社会の実現
これ以上女性を優遇する法をつくるのはどうかと。法人の場合、男性が1名であり、逆にトイレも更衣室もなく、力仕事やよれ仕事は全てわたしにくる。ジェンダー差別をうけているのは男性の方であると思う。
こういう調査にいくらかかり費用対効果がどれだけあったのかを公表してほしい
必要ありません

- 女性活躍を推進する上で行政に期待する支援についてみると、「保育施設の拡充など、仕事と家庭の両立支援体制の強化」(51.0%)が最も多く、「女性に配慮した職場環境(施設)の整備への支援」(39.0%)、「女性の意識改革をテーマにしたセミナーの開催」(26.5%)が続いている。

資料編

# アンケート調査票

---

## 宮城県内大学・短期大学学生就職等調査

## 宮城県内への就職ならびに定着に関するアンケート

選択肢記号の説明

- 複数選択（チェックボックス）
- 単一選択（ラジオボタン）
- 単一選択（プルダウン）

Q1

「個人情報のお取扱いについて」の内容にご同意いただき、本アンケートにご参加いただけますか。

- 1. 同意する
- 2. 同意しない

Q2

あなたの大学名をお教えてください。

- 1. 石巻専修大学
- 2. 尚絅学院大学
- 3. 仙台白百合女子大学
- 4. 仙台大学
- 5. 東北学院大学
- 6. 東北工業大学
- 7. 東北生活文化大学
- 8. 東北大学
- 9. 東北福祉大学
- 10. 東北文化学園大学
- 11. 東北医科薬科大学
- 12. 宮城学院女子大学
- 13. 宮城教育大学
- 14. 宮城大学
- 15. 聖和学園短期大学
- 16. 仙台赤門短期大学
- 17. 仙台青葉学院短期大学
- 18. 東北生活文化大学短期大学部
- 19. 宮城誠真短期大学

Q3

あなたの学部の分野を教えてください。

- 1. 法律・政治
- 2. 経済・経営・商学
- 3. 社会・メディア
- 4. 国際関係
- 5. 文学・人文・人間・心理
- 6. 外国語
- 7. 教育・福祉
- 8. 家政・生活

- 9. 芸術・表現
- 10. 健康・スポーツ
- 11. 教養・総合
- 12. 理・工
- 13. 農・獣・畜産・水産
- 14. 医・歯・薬
- 15. 看護・保健・衛生・リハビリテーション
- 16. この中にあてはまるものはない

Q4

あなたの学年を教えてください。

- 1. 4年制大学の4年生
- 2. 4年制大学の3年生
- 3. 6年制大学の6年生
- 4. 6年制大学の5年生
- 5. 2年制短期大学の2年生
- 6. 2年制短期大学の1年生
- 7. 3年制短期大学の3年生
- 8. 3年制短期大学の2年生
- 9. その他

Q5

あなたの性別を教えてください。

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. 答えたくない

Q6

あなたの出身地を教えてください。

※生まれてから入学までに、最も長く過ごした場所を出身地としてください。

- 1. 宮城県（仙台市内）
- 2. 宮城県（仙台市外）
- 3. 北海道
- 4. 青森県
- 5. 岩手県
- 6. 秋田県
- 7. 山形県
- 8. 福島県
- 9. 茨城県
- 10. 栃木県
- 11. 群馬県
- 12. 埼玉県
- 13. 千葉県
- 14. 東京都
- 15. 神奈川県
- 16. 新潟県
- 17. 富山県
- 18. 石川県

- 19. 福井県
- 20. 山梨県
- 21. 長野県
- 22. 岐阜県
- 23. 静岡県
- 24. 愛知県
- 25. 三重県
- 26. 滋賀県
- 27. 京都府
- 28. 大阪府
- 29. 兵庫県
- 30. 奈良県
- 31. 和歌山県
- 32. 鳥取県
- 33. 島根県
- 34. 岡山県
- 35. 広島県
- 36. 山口県
- 37. 徳島県
- 38. 香川県
- 39. 愛媛県
- 40. 高知県
- 41. 福岡県
- 42. 佐賀県
- 43. 長崎県
- 44. 熊本県
- 45. 大分県
- 46. 宮崎県
- 47. 鹿児島県
- 48. 沖縄県
- 49. その他【FA】

Q6\_49FA

Q7

現時点で希望する就職先の場所をお選びください。

- 1. 宮城県内
- 2. 宮城県外
- 3. どちらでもよい

Q8

(Q7\_「2.宮城県外」回答者)  
 就職先の場所として宮城県外を選ぶ理由を教えてください。  
 以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. 宮城県内に就職したい業種・職種・雇用形態の求人がない
- 2. 宮城県内の事業所等を知る機会がない
- 3. 給料や福利厚生などの待遇がよい
- 4. 通勤が便利である（公共交通機関が充実している）
- 5. 宮城県外に住んでみたい（親元から離れたい、一人暮らしがしたい等）
- 6. 地元・実家に戻る
- 7. 趣味や娯楽が充実している
- 8. その他【FA】

Q8\_8FA

Q9

(Q7\_「2.宮城県外」回答者)  
あなたは一旦宮城県を出た場合、いつかは宮城県に戻りたいと思いますか。

- 1. 思う
- 2. どちらかといえば思う
- 3. どちらかといえば思わない
- 4. 思わない
- 5. まだわからない

Q10

(Q9\_「1.思う」「2.どちらかといえば思う」回答者)  
一旦宮城県を出た後に戻りたいと思う理由を教えてください。  
以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. 家族の近くで生活したい
- 2. 生活する上で家族の援助が受けられる
- 3. 親などから宮城県に戻るよう勧められている
- 4. 宮城県内にやりたい仕事がある（希望する就職先がある）
- 5. 家業を継ぐ
- 6. 自分の育った環境で子育てしたい
- 7. 宮城県での生活に慣れ親しんでいる
- 8. 県外の経験やスキルを宮城県に戻って活かしたい
- 9. 地域の人とのつながりがある
- 10. 宮城県に貢献したい
- 11. 宮城県内に自分の土地や家がある
- 12. 宮城県内に友人や交際相手がいる
- 13. 奨学金の返済免除等の支援がある
- 14. その他【FA】

Q10\_14FA

Q11

(Q7\_「1.宮城県内」回答者)  
就職先の場所として宮城県内を選ぶ理由を教えてください。  
以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. 家族の近くで生活したい
- 2. 生活する上で家族の援助が受けられる
- 3. 親などから宮城県にいるよう勧められている
- 4. 宮城県内にやりたい仕事がある（希望する就職先がある）
- 5. 家業を継ぐ
- 6. 自分の育った環境で子育てしたい
- 7. 宮城県での生活に慣れ親しんでいる
- 8. 地域の人とのつながりがある
- 9. 宮城県に貢献したい
- 10. 宮城県に自分の土地や家がある
- 11. 宮城県に友人や交際相手がいる
- 12. 奨学金の返済免除等の支援がある
- 13. その他【FA】

Q11\_13FA

## Q12

あなたはどのようなまちに住みたい（住み続けたい）と思いますか。  
以下の中から、あてはまるものを5つまでお選びください。

- 1. 自然環境や気候に恵まれている
- 2. 自然災害が少ない
- 3. 買い物が便利
- 4. 通勤や通学など移動がしやすい
- 5. 近所づきあいがよい
- 6. 物価が安い
- 7. 教育環境が充実している
- 8. 子育てがしやすい
- 9. 医療や福祉サービスが充実している
- 10. 通信インフラが整っている
- 11. 治安がよい
- 12. 街並みがよい
- 13. 娯楽施設（映画館、遊園地等）が多い
- 14. 祭りやイベントが多い
- 15. 文化施設（図書館、美術館等）が充実している
- 16. 趣味活動がしやすい
- 17. 地域の人とのつながりがある
- 18. 食べ物おいしい
- 19. その他【FA】

Q12\_19FA

## Q13

社会人になったときに、あなたの考えで近いものを教えてください。  
以下の中から、あてはまるものを3つまでお選びください。

- 1. 出世したい
- 2. 高収入を得たい
- 3. 人のためや社会のために働きたい
- 4. 自分の夢のために働きたい
- 5. 自分や家族の生活のために働きたい
- 6. 私生活を優先したい
- 7. 仕事を優先したい
- 8. 仕事とプライベートを両立させたい
- 9. 一人で働きたい（起業など）
- 10. その他【FA】
- 11. わからない

Q13\_10FA

## Q14

あなたが就職先を選ぶときに重視するポイントを教えてください。  
以下の中から、あてはまるものを5つまでお選びください。

- 1. 将来性や成長性があること
- 2. 経営が安定していること
- 3. 給料が高いこと
- 4. 自分のやりたい仕事ができること
- 5. 知名度があること
- 6. 休日や休暇が多いこと（産前産後休業・育児休業を除く）
- 7. 産前産後休業・育児休業が充実していること
- 8. 産前産後休業・育児休業後も復帰しやすい支援や職場の理解があること

- 9. 家庭との両立のための支援制度が充実していること
- 10. 在宅勤務や時差出勤など柔軟な働き方ができる制度が充実していること
- 11. 残業や休日出勤がないこと
- 12. 福利厚生制度が充実していること
- 13. 転勤がないこと
- 14. いろいろな職種を経験できること
- 15. 自分の能力や専門性を活かせること
- 16. 学歴や男女の差別がないこと
- 17. 若い人が活躍していること
- 18. 女性が活躍していること
- 19. やりがいを感じられること
- 20. 職場の雰囲気や人間関係が良いこと
- 21. 長く働き続けられること
- 22. 研修や教育制度が充実していること
- 23. SDGsに取り組んでいること
- 24. その他【FA】 Q14\_24FA

## Q15

あなたの就職関連情報の入手先を教えてください。  
以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. 就職情報サイト
- 2. 就職情報誌
- 3. 合同企業説明会
- 4. インターンシップ参加先
- 5. 大学等の就職ガイダンス
- 6. 大学等の就職部・キャリアセンター
- 7. 教授・指導教員
- 8. 先輩
- 9. 事業所等のホームページ
- 10. SNS
- 11. ネット上の口コミや評判
- 12. 家族
- 13. 友人
- 14. ハローワーク
- 15. 民間の就職エージェント、アドバイザー
- 16. その他【FA】 Q15\_16FA
- 17. 入手していない

## Q16

あなたが就職活動でよく使用している（使用する予定の）SNSを教えてください。  
以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. LINE
- 2. YouTube
- 3. Twitter
- 4. Instagram
- 5. Facebook
- 6. その他【FA】 Q16\_6FA
- 7. SNSは利用していない

## Q17

あなたが就職先を選ぶときに知りたい情報を教えてください。  
以下の中から、あてはまるものを5つまでお選びください。

- 1. 人間関係や職場の雰囲気
- 2. 具体的な仕事内容
- 3. 残業や休日出勤の実態
- 4. 平均勤続年数
- 5. 出産や育児、介護等の休暇制度の取得率
- 6. 求める人物像
- 7. 具体的な仕事の進め方・スタイル
- 8. 働いている従業員の声
- 9. 研修や教育制度
- 10. 社員の男女比や女性管理職の割合
- 11. 入社後のキャリアプランやモデル年収
- 12. 経営や財務状況
- 13. 福利厚生制度の内容
- 14. 出身大学等別の採用実績
- 15. その他【FA】

Q17\_15FA

## Q18

あなたが希望する就職先の規模について教えてください。

- 1. どちらかといえば大企業
- 2. どちらかといえば中小企業
- 3. 規模はこだわらない

## Q19

あなたが希望する就職先の業種について教えてください。  
以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. 農業、林業、漁業
- 2. 鉱業、採石業、砂利採取業
- 3. 建設業
- 4. 製造業
- 5. 電気・ガス・熱供給・水道業
- 6. 情報通信業
- 7. 運輸業、郵便業
- 8. 卸売業、小売業
- 9. 金融業、保険業
- 10. 不動産業、物品賃貸業
- 11. 学術研究、専門・技術サービス業
- 12. 宿泊業、飲食サービス業
- 13. 生活関連サービス業、娯楽業
- 14. 教育、学習支援業
- 15. 医療、福祉
- 16. 複合サービス事業
- 17. サービス業（他に分類されないもの）
- 18. 公務
- 19. その他【FA】
- 20. わからない

Q19\_19FA

## Q20

あなたが希望する職種を教えてください。  
以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. 総務・経理・人事等の管理系
- 2. 営業企画・営業系
- 3. 商品企画・開発・設計系
- 4. 広報・宣伝系
- 5. 海外営業等の海外事業系
- 6. 研究・開発系
- 7. 調査・企画系
- 8. 製造技術・生産管理系
- 9. 技術サービス系
- 10. 情報システム系
- 11. その他【FA】 Q20\_11FA
- 12. わからない

## Q21

あなたは宮城県内の事業所等への就職に関する必要な情報を得られていますか。

- 1. 必要な情報は十分得られている
- 2. 必要な情報はある程度は得られている
- 3. 必要な情報が全く得られていない
- 4. 情報収集は行っていない

## Q22

あなたが就職先として宮城県内の事業所等に持っているイメージを教えてください。  
以下の中から、あてはまるものを5つまでお選びください。

- 1. 将来性や成長性がある
- 2. 経営が安定している
- 3. 給料が高い
- 4. 自分のやりたい仕事ができる
- 5. 知名度がある
- 6. 休日や休暇が多い（産前産後休業・育児休業を除く）
- 7. 産前産後休業・育児休業が充実している
- 8. 産前産後休業・育児休業後も復帰しやすい支援や職場の理解がある
- 9. 家庭との両立のための支援制度が充実している
- 10. 在宅勤務や時差出勤など柔軟な働き方ができる制度が充実している
- 11. 残業や休日出勤がない
- 12. 福利厚生制度が充実している
- 13. 転勤がない
- 14. いろいろな職種を経験できる
- 15. 自分の能力や専門性を活かせる
- 16. 学歴や男女の差別がない
- 17. 若い人が活躍している
- 18. 女性が活躍している
- 19. やりがいを感じられる
- 20. 職場の雰囲気や人間関係が良い
- 21. 長く働き続けられる
- 22. 研修や教育制度が充実している
- 23. SDGsに取り組んでいる

- |                                      |          |
|--------------------------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> 24. その他【FA】 | Q22_24FA |
| <input type="checkbox"/> 25. イメージがない |          |

## Q23

宮城県内への就職を促す上で、合同説明会等で提供すると効果的と思われる情報を教えてください。

以下の中から、あなたが効果的だと思う情報をすべてお選びください。

- |   |         |
|---|---------|
| <input type="checkbox"/> 1. 観光（自然、レジャー等）                            |         |
| <input type="checkbox"/> 2. 食・グルメ                                   |         |
| <input type="checkbox"/> 3. スポーツ関連（プロスポーツ情報、サーフィン・サイクリング・スキー等スポット等） |         |
| <input type="checkbox"/> 4. 県内にゆかりのある漫画・アニメ                         |         |
| <input type="checkbox"/> 5. アウトドアスポット（釣り、登山等）                       |         |
| <input type="checkbox"/> 6. その他【FA】                                 | Q23_6FA |
| <input type="checkbox"/> 7. 特になし                                    |         |

## Q24

就職先として宮城県内の事業所等を選ぶ学生を増やすために、県や市町村に取り組んで欲しい支援について教えてください。

以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。

- |  |         |
|--|---------|
| <input type="checkbox"/> 1. 気軽に相談できる窓口         |         |
| <input type="checkbox"/> 2. 県内事業所等に関する情報提供     |         |
| <input type="checkbox"/> 3. 県内の就職支援に関する情報提供    |         |
| <input type="checkbox"/> 4. 求人情報の収集に関する支援      |         |
| <input type="checkbox"/> 5. 資格取得等に対する支援        |         |
| <input type="checkbox"/> 6. 身近で活躍している人に関する情報発信 |         |
| <input type="checkbox"/> 7. 奨学金返還補助（免除）制度      |         |
| <input type="checkbox"/> 8. その他【FA】            | Q24_8FA |
| <input type="checkbox"/> 9. 特になし、わからない         |         |

## Q25

あなたは宮城県内の農林水産業、食品加工業への就業を検討していますか（検討しましたか）。

- |   |  |
|---|--|
| <input type="radio"/> 1. 検討している（既に決まっている）             |  |
| <input type="radio"/> 2. 検討したが、他の業種を選んだ               |  |
| <input type="radio"/> 3. 興味・関心はあるが、まだ検討したことはない        |  |
| <input type="radio"/> 4. 興味・関心はないが、検討してみてもよい          |  |
| <input type="radio"/> 5. 興味・関心はなく、検討するつもりはない（検討しなかった） |  |

## Q26

宮城県では県内の農林水産業、食品加工業への就業支援や産業への理解を深める様々な取り組みを実施しています。

農林水産業や食品加工業に関して、あなたが知っていることをすべてお選びください。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 就業する方法の一つとして、法人への就職がある                     |  |
| <input type="checkbox"/> 2. 県内には先進技術が導入され、大規模化している法人が多い                |  |
| <input type="checkbox"/> 3. 大学等で学んだ知識を生かせる多様な業務がある（企画、開発、営業、品質管理、輸出など） |  |

- |                          |    |   |
|--------------------------|----|---|
| <input type="checkbox"/> | 4. | 高度衛生管理型の施設などを有する経営体がある                        |
| <input type="checkbox"/> | 5. | ヨーグルトやワイン、クレープなどの加工、販売を行っている農家がある             |
| <input type="checkbox"/> | 6. | 未経験者の就業に向けた相談窓口やプログラムがある（「漁師カレッジ」「漁業就業フェア」など） |
| <input type="checkbox"/> | 7. | いずれも知らない                                      |

## Q27

あなたが宮城県に持っているイメージについて教えてください。  
以下の中から、あてはまるものを5つまでお選びください。

- |                          |     |                       |
|--------------------------|-----|-----------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1.  | 自然環境や気候に恵まれている        |
| <input type="checkbox"/> | 2.  | 自然災害が少ない              |
| <input type="checkbox"/> | 3.  | 買い物が便利                |
| <input type="checkbox"/> | 4.  | 通勤や通学など移動がしやすい        |
| <input type="checkbox"/> | 5.  | 近所づきあいがよい             |
| <input type="checkbox"/> | 6.  | 物価が安い                 |
| <input type="checkbox"/> | 7.  | 教育環境が充実している           |
| <input type="checkbox"/> | 8.  | 子育てがしやすい              |
| <input type="checkbox"/> | 9.  | 医療や福祉サービスが充実している      |
| <input type="checkbox"/> | 10. | 通信インフラが整っている          |
| <input type="checkbox"/> | 11. | 治安がよい                 |
| <input type="checkbox"/> | 12. | 街並みがよい                |
| <input type="checkbox"/> | 13. | 娯楽施設（映画館、遊園地等）が多い     |
| <input type="checkbox"/> | 14. | 祭りやイベントが多い            |
| <input type="checkbox"/> | 15. | 文化施設（図書館、美術館等）が充実している |
| <input type="checkbox"/> | 16. | 趣味活動がしやすい             |
| <input type="checkbox"/> | 17. | 地域の人とのつながりがある         |
| <input type="checkbox"/> | 18. | 食べ物がおいしい              |
| <input type="checkbox"/> | 19. | その他【FA】               |
| <input type="checkbox"/> | 20. | イメージがない               |

Q27\_19FA

## Q28

（Q5\_「2.女性」回答者）  
あなたが将来希望する生き方について教えてください。

- |                       |    |  |
|-----------------------|----|--|
| <input type="radio"/> | 1. | 結婚せず、仕事を続ける（「ワーキングシングル」＝非婚就業）                        |
| <input type="radio"/> | 2. | 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産を機に一旦退職し、子育て後に再び仕事（正規）を持つ（「再就職」）  |
| <input type="radio"/> | 3. | 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産を機に一旦退職し、子育て後に再び仕事（非正規）を持つ（「再就職」） |
| <input type="radio"/> | 4. | 結婚し子どもを持つが、産休や育休を活用しながら仕事も続ける（「DEWKs」＝両立）            |
| <input type="radio"/> | 5. | 結婚あるいは出産を機に退職し、その後は仕事を持たない（「専業主婦」）                   |
| <input type="radio"/> | 6. | 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける（「DINKs」）                         |
| <input type="radio"/> | 7. | その他、わからない  |

Q29

(Q5「1.男性」回答者)  
あなたが将来希望する生き方について教えてください。

- 1. 結婚せず、仕事を続ける（「ワーキングシングル」=非婚就業）
- 2. 結婚し子どもを持つが、子育てはパートナー（妻）に任せて、仕事を中心とした生活を送る（「仕事中心」）
- 3. 結婚し子どもを持ち、仕事を続けながら、できるだけ子育てに参加する（「DEWKs」=両立）
- 4. 結婚し子どもを持ち、仕事を続けながら、育休を活用して積極的に子育てに参加する（「DEWKs」=両立）
- 5. 結婚し子どもを持つが、仕事はパートナー（妻）に任せて、仕事を辞めて家庭を中心とした生活を送る（「専業主夫」）
- 6. 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける（「DINKs」）
- 7. その他、わからない

## 企業等女性活躍実態調査

## 「企業等女性活躍実態調査」アンケート

貴企業名	お名前	電話番号
------	-----	------

## I. 貴社の概要について

問1 事業所及び本社（事業所が本社と異なる場合）の所在地名をご記入ください。

事業所 (県内)	<input type="text"/> 市・町・	本社 (県外)	<input type="text"/> 都・道・府・県
-------------	---------------------------	------------	------------------------------

問2 業種について教えてください。(○は1つ。複数該当する場合は、最も売上げが大きいものを1つ)

1. 農業、林業、漁業	7. 運輸業、郵便業	13. 生活関連サービス、娯楽業
2. 鉱業、採石業、砂利採取業	8. 卸売業、小売業	14. 教育、学習支援業
3. 建設業	9. 金融業、保険業	15. 医療、福祉
4. 製造業	10. 不動産業、物品賃貸業	16. 複合サービス事業
5. 電気・ガス・熱供給・水道業	11. 学術研究、専門・技術サービス業	17. その他サービス業
6. 情報通信業	12. 宿泊業、飲食サービス業	18. その他 ( )

問3 全従業員数について教えてください。(令和4年4月1日時点) (○は1つ)

1. 10~19人	3. 50~99人	5. 300~499人	7. 1000人以上
2. 20~49人	4. 100~299人	6. 500~999人	

問4 正社員に占める女性の割合について教えてください。(令和4年4月1日時点) (○は1つ)

1. 0% (いない)	3. 10%以上 30%未満	5. 50%以上
2. 10%未満	4. 30%以上 50%未満	

問5 管理職（課長相当職以上）に占める女性の割合について教えてください。(令和4年4月1日時点) (○は1つ)

1. 0% (いない)	3. 5%以上 10%未満	5. 30%以上
2. 5%未満	4. 10%以上 30%未満	

## II. 女子学生（大学及び短期大学）の採用の現状について

問6 直近5年間（平成29年度から令和3年度）の女性の採用状況についてそれぞれ教えてください。

(ア) 新規学卒者（大学・短期大学）採用

(イ) 中途採用・キャリア採用

1. 採用した	2. 採用しなかった	1. 採用した	2. 採用しなかった
---------	------------	---------	------------

((ア)「1.」は問7~9へ)

((ア)「2.」、(イ)「1.」「2.」は問10へ)

※ 問6で(ア)新規学卒者を「1.採用した」と回答した企業様にうかがいます。

問7 直近5年間に採用した女子学生の専攻分野を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 文系	2. 理系	3. その他
-------	-------	--------

※ 問6で(ア)新規学卒者を「1.採用した」と回答した企業様にうかがいます。

問8 直近5年間の女子学生(大学・短期大学)の配属部門について教えてください。(〇はいくつでも)

1. 総務・経理・人事	4. 広報・宣伝	7. 調査・企画	10. 情報システム
2. 営業企画・営業	5. 海外事業	8. 製造技術・生産管理	11. その他
3. 商品企画・開発・設計	6. 研究・開発	9. 技術サービス	( )

※ 問6で(ア)新規学卒者を「1.採用した」と回答した企業様にうかがいます。

問9 これまで女子学生(大学・短期大学)の採用は思い通り進んでいますか。(〇は1つ)

1. 進んでいる	3. どちらともいえない	5. 進んでいない
2. まあまあ進んでいる	4. あまり進んでいない	

(「3.」「4.」「5.」は付問9-1へ)

※ 問9で「3.どちらともいえない」「4.あまり進んでいない」「5.進んでいない」を選択した企業様にうかがいます。

付問9-1 女子学生の採用が進んでいない理由について教えてください。(〇はいくつでも)

1. 募集しても、応募者がいない、または少ない	3. 選考または内定を辞退される
2. 応募はあるが、欲しい人材がいない	4. その他
	( )

※ すべての企業様にうかがいます。

問10 採用活動で活用している手段を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 就職情報サイトを活用した募集	10. SNSでの募集
2. 就職情報誌を活用した募集	(活用しているもの: )
3. 合同企業説明会への参加	11. リファラル採用(自社社員による推薦)
4. インターンシップの受け入れ	12. 自社アルバイトやその友人などへの案内
5. 大学等の就職ガイダンスへの参加	13. ハローワークなどの公的機関を活用した募集
6. 就職部・キャリアセンターを通じた募集	14. 民間の就職エージェント、アドバイザーを活用した募集
7. 教授・指導教員への案内	15. その他( )
8. 大学OB・OGによるPR	16. 特になし
9. 自社ホームページでの直接募集	

問11 採用活動を行う上で、貴社が公表している情報を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 具体的な仕事内容	6. 残業や休日出勤の実態	11. 入社後のキャリアプランやモデル年収
2. 平均勤続年数	7. 福利厚生制度の内容	12. 具体的な仕事の進め方・スタイル
3. 求める人物像	8. 出身大学等別の採用実績	13. 社内の人間関係や職場の雰囲気
4. 経営や財務状況	9. 社員の男女比や女性管理職の割合	14. 出産や育児、介護等の休暇制度の取得率
5. 研修や教育制度	10. 働いている従業員の声	15. その他( )
		16. 特になし



## IV. 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組みの状況について

※すべての企業様にうかがいます。

問13 女性活躍を推進する取組みについて教えてください。(○はそれぞれ1つ)

質問項目	行っている	今後行う予定	行う予定なし
ア 女性活躍に関する行動計画の策定	1	2	3
イ 女性の配置実績が少ない職種への女性の積極採用や登用	1	2	3
ウ 女性人材の育成のための教育訓練	1	2	3
エ 女性の能力発揮の重要性についての社員への啓発	1	2	3
オ 出産や育児等による休業はハンディとならないような人事制度の導入	1	2	3
カ 女性管理職の登用	1	2	3
キ 仕事と家庭の両立支援制度を整備	1	2	3
ク その他 ( )	1	2	3

問14 ワーク・ライフ・バランス(WLB)を推進する取組みについて教えてください。((1)は1つ。(2)は直近3年間(令和元年度から令和3年度)について該当するものをすべて、該当がなければ空欄)

質問項目	(1) 制度の有無			→	(2) 利用の有無	
	就業規則等に制度を定めている	制度はないが柔軟に対応している	制度も柔軟な対応もない		利用した男性がいる	利用した女性がいる
ア 育児休業制度	1	2	3	→	4	5
イ 看護休業制度	1	2	3	→	4	5
ウ 短時間勤務制度	1	2	3	→	4	5
エ 深夜勤務の制限	1	2	3	→	4	5
オ 配偶者出産休暇制度	1	2	3	→	4	5
カ 始業・終業時間の繰上げ・繰下げ	1	2	3	→	4	5
キ 家族の看護休暇制度	1	2	3	→	4	5
ク 転勤の免除、勤務地・担当業務の限定制度	1	2	3	→	4	5
ケ 変則時間勤務(フレックスタイム制)	1	2	3	→	4	5
コ 在宅勤務制度	1	2	3	→	4	5

※ すべての企業様にうかがいます。

問15 女性活躍やWLBを推進した結果、直近3年間（令和元年度から令和3年度）で以下の項目について、どのように変化したと感じていますか。3段階でお答えください。※貴社が創設して3年に満たない場合は創設後の状況についてお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

質問項目	この3年間で		
	増えた (良くなった)	変わらない	減った (悪くなった)
ア 所定外労働時間の削減	1	2	3
イ 年次有給休暇の取得率	1	2	3
ウ 女性従業員の定着率（平均勤続年数）	1	2	3
エ 女性管理職の割合	1	2	3
オ 女性の採用数	1	2	3
カ 男性の育児休暇の取得数	1	2	3
キ 企業イメージ	1	2	3
ク 従業員の勤労意欲	1	2	3
ケ 職場の雰囲気	1	2	3
コ 業績	1	2	3

問16 貴社における女性活躍を推進する上での課題について教えてください。（○はいくつでも）

1. 経営トップや管理職の理解や協力を得ることが難しい	7. 社内に女性幹部の登用例がない
2. 従業員への女性活躍の取組みの意義についての周知や理解が進まない	8. 就業時間が柔軟に対応できない
3. 出産や育児で長期休業したときの代替要員の確保やサポート体制づくりが難しい	9. 専用エリアや託児所など女性に配慮した施設が未整備
4. 継続就業（育児休業からの復帰支援など）に関する支援が未整備	10. 残業が多く休みが取りにくいこと
5. 女性活躍推進に取り組むための部署や担当者の確保が難しい	11. 女性の人材育成、評価制度がしっかりできていない
6. 女性の離職率が高い	12. 女性社員の管理職を目指す意欲を高めることが難しい
	13. 女性を採用したいが応募が少ない、またはない
	14. その他（ ）



令和4年度 みやぎ女性応援プロジェクト実態調査業務  
宮城県内大学・短期大学学生就職等調査  
企業等女性活躍実態調査  
報 告 書

令和4年10月

発 行：宮城県環境生活部共同参画社会推進課  
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号  
TEL：022-211-2568 FAX：022-211-2392  
URL：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/  
E-mail：danjyo@pref.miyagi.jp  
調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター